

酒類製造業及び酒類卸売業の概況
(令和2年調査分)

令和3年10月

国税庁課税部酒税課

目次

「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」について	
1 酒類業実態調査の概要	1
2 「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」の活用にあたっての留意事項	3
I 酒類製造者等及び酒類卸売業者の実態	
1 酒類製造者等及び酒類卸売業者の概況	5
2 酒類の取引状況	12
3 輸出取引の状況	18
II 個別調査項目	
1 清酒製造業	29
2 単式蒸留焼酎製造業	37
3 ワイン製造業	45
(参考) ワイン製造業に関する用語について	66
III アンケート調査結果	
1 酒類製造者等及び酒類卸売業者に対するアンケート調査結果	67
2 酒類製造者に対するアンケート調査結果	75
付録 令和2年酒類業実態調査表	76

「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」について

1 酒類業実態調査の概要

「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」は、酒類業界の状況、課題及び個々の酒類業者の状況を把握するため、酒類製造者等及び酒類卸売業者（以下「酒類業者」という。）を対象に、アンケート調査（酒類業実態調査）を行い、その集計結果を取りまとめたものである。

(1) 調査対象者

調査対象者は次表のとおりである。

酒類製造者等	対象者	令和2年1月1日現在、酒類製造免許（蔵置場設置許可含む。）を有する全ての者 なお、蔵置場については以下のいずれかの理由により設置許可を受けている者に限る。 ① 輸出酒類の蔵置場 ② びん詰等のための蔵置場 ③ 果実酒集荷のための蔵置場
	対象外	上記のうち、免許（許可）を受けている全ての酒類の品目が以下のいずれかに該当する者（製造場） ① 試験製造免許 ② 祭し用のための免許 ③ 休造中の免許 ④ 調査対象期間（平成31年1月1日～令和元年12月31日）において酒類の製造に係る売上高がない免許
酒類卸売業者	対象者	令和2年1月1日現在、以下のいずれかの免許を有している者 ① 全酒類卸売業免許 （販売方法に条件が付されていないものを含む。） ② ビール卸売業免許 ③ 洋酒卸売業免許 ④ 輸出酒類卸売業免許
	対象外	上記のうち、その免許が以下のいずれかに該当する者（販売場） ① 休業中の販売場 ② 調査対象期間（平成31年1月1日～令和元年12月31日）において酒類の卸売に係る売上高がない販売場 ③ 協同組合員等を対象とする卸売のみである販売場 ④ 取り扱う酒類が薬用酒のみである販売場

(2) 調査対象期間

調査対象期間は、平成31年1月1日～令和元年12月31日とした。

なお、決算に係る項目は、法人については令和2年1月1日直前終了事業年度分、個人については平成31年分（令和元年分）とした。また、ワインの個別調査項目（外国産ワインの輸入、ワインの移出数量等、ワインの製造状況及びワイン原料用国産ぶどうの受入状況）については平成31年4月1日～令和2年3月31日とした。

また、法人の決算に係る項目以外の項目について暦年での記載が困難な場合は、事業年度分で記入している場合がある。

(3) 調査方法

「酒類業実態調査表」（以下「調査表」という。）を全調査対象者に配付し、調査対象者が作成・提出した調査表を、税務署においてデータ入力及び補正作業を行い、国税庁において全国分の調査表を集約し集計を行った。

(4) 調査結果

調査対象者 5,245 者のうち、4,018 者から回答があった（回答率 76.6%）。

局名	都道府県別	酒類製造者等				酒類卸売業者				合計			
		事業者数	対象者数	回答者数	回答率 %	事業者数	対象者数	回答者数	回答率 %	事業者数	対象者数	回答者数	回答率 %
札幌	北海道	91	90	69	76.7	85	85	60	70.6	176	175	129	73.7
仙台	青森	40	35	32	91.4	53	18	16	88.9	93	53	48	90.6
	岩手	52	49	47	95.9	34	18	18	100.0	86	67	65	97.0
	宮城	50	46	42	91.3	58	36	32	88.9	108	82	74	90.2
	秋田	58	54	46	85.2	40	8	8	100.0	98	62	54	87.1
	山形	87	79	73	92.4	54	20	16	80.0	141	99	89	89.9
	福島	103	78	74	94.9	64	35	35	100.0	167	113	109	96.5
	計	390	341	314	92.1	303	135	125	92.6	693	476	439	92.2
関東信越	茨城	57	46	45	97.8	88	43	37	86.0	145	89	82	92.1
	栃木	50	43	40	93.0	81	38	35	92.1	131	81	75	92.6
	群馬	39	36	25	69.4	53	18	13	72.2	92	54	38	70.4
	埼玉	58	53	35	66.0	179	61	32	52.5	237	114	67	58.8
	新潟	134	127	121	95.3	135	58	53	91.4	269	185	174	94.1
	長野	180	157	147	93.6	114	51	45	88.2	294	208	192	92.3
	計	518	462	413	89.4	650	269	215	79.9	1,168	731	628	85.9
東京	千葉	69	67	45	67.2	148	64	36	56.3	217	131	81	61.8
	東京	123	113	59	52.2	1,405	626	328	52.4	1,528	739	387	52.4
	神奈川	45	45	23	51.1	332	139	60	43.2	377	184	83	45.1
	山梨	97	90	73	81.1	99	45	35	77.8	196	135	108	80.0
	計	334	315	200	63.5	1,984	874	459	52.5	2,318	1,189	659	55.4
金沢	富山	35	31	28	90.3	58	28	22	78.6	93	59	50	84.7
	石川	60	48	29	60.4	70	30	14	46.7	130	78	43	55.1
	福井	41	36	31	86.1	24	13	13	100.0	65	49	44	89.8
	計	136	115	88	76.5	152	71	49	69.0	288	186	137	73.7
名古屋	岐阜	79	68	61	89.7	84	31	24	77.4	163	99	85	85.9
	静岡	71	62	52	83.9	94	40	33	82.5	165	102	85	83.3
	愛知	82	70	47	67.1	207	106	65	61.3	289	176	112	63.6
	三重	47	42	36	85.7	55	31	25	80.6	102	73	61	83.6
	計	279	242	196	81.0	440	208	147	70.7	719	450	343	76.2
大阪	滋賀	57	40	33	82.5	45	18	13	72.2	102	58	46	79.3
	京都	75	68	53	77.9	133	48	28	58.3	208	116	81	69.8
	大阪	59	48	42	87.5	548	220	157	71.4	607	268	199	74.3
	兵庫	114	96	84	87.5	273	130	80	61.5	387	226	164	72.6
	奈良	45	37	35	94.6	53	19	16	84.2	98	56	51	91.1
	和歌山	51	41	36	87.8	91	32	26	81.3	142	73	62	84.9
	計	401	330	283	85.8	1,143	467	320	68.5	1,544	797	603	75.7
広島	鳥取	33	28	25	89.3	31	17	16	94.1	64	45	41	91.1
	島根	46	40	37	92.5	30	10	9	90.0	76	50	46	92.0
	岡山	70	59	49	83.1	56	28	23	82.1	126	87	72	82.8
	広島	75	63	52	82.5	124	53	45	84.9	199	116	97	83.6
	山口	47	37	34	91.9	63	22	19	86.4	110	59	53	89.8
	計	271	227	197	86.8	304	130	112	86.2	575	357	309	86.6
高松	徳島	36	34	25	73.5	18	14	11	78.6	54	48	36	75.0
	香川	19	15	14	93.3	14	10	8	80.0	33	25	22	88.0
	愛媛	56	49	44	89.8	18	16	16	100.0	74	65	60	92.3
	高知	40	40	39	97.5	16	15	15	100.0	56	55	54	98.2
	計	151	138	122	88.4	66	55	50	90.9	217	193	172	89.1
福岡	福岡	91	61	59	96.7	303	73	55	75.3	394	134	114	85.1
	佐賀	29	22	22	100.0	32	8	8	100.0	61	30	30	100.0
	長崎	36	28	27	96.4	42	13	12	92.3	78	41	39	95.1
	計	156	111	108	97.3	377	94	75	79.8	533	205	183	89.3
熊本	熊本	51	50	41	82.0	34	34	21	61.8	85	84	62	73.8
	大分	52	51	45	88.2	17	17	13	76.5	69	68	58	85.3
	宮崎	55	54	44	81.5	21	18	15	83.3	76	72	59	81.9
	鹿児島	118	118	108	91.5	41	38	26	68.4	159	156	134	85.9
	計	276	273	238	87.2	113	107	75	70.1	389	380	313	82.4
沖縄	沖縄	64	62	60	96.8	44	44	43	97.7	108	106	103	97.2
全国計		3,067	2,706	2,288	84.6	5,661	2,539	1,730	68.1	8,728	5,245	4,018	76.6

2 「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」の活用にあたっての留意事項

(1) 各表等の留意事項

- ① 「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」の公表内容については、個別に記載があるものを除き、令和2年酒類業実態調査による。
- ② 都道府県別の集計結果については、果実酒の製造免許場に関する計表を除き、事業者の本店所在地（個人については住所地）により区分した。
- ③ 各調査項目の集計に際しては、提出された調査者の調査項目が空欄であった場合や規定外数値等が記載された場合などのデータを除外していることから、令和2年酒類業実態調査の回答者数と各集計表の事業者数等が一致しない場合がある。
なお、図中の「n」は、データを除外した後の有効回答数を示している。
- ④ 各集計結果の計数は、単位未満を四捨五入しているため、図表の内容と計又は合計が一致しない場合がある。
- ⑤ 酒類製造者等と酒類卸売業者の双方に該当する場合は、売上高に占める金額が大きい業態（売上高が不明の場合は酒類製造者等）に1者として計上している。
- ⑥ 表中の「X」は、情報を保護する観点から数値を秘匿するものである。
- ⑦ 本調査の結果は、調査対象者の任意回答を集計したものであり、他の統計調査の結果とは必ずしも一致しない。

(2) 用語

「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」で使用している用語の意味は、次表のとおりである。

用語	意 味
大企業	次のいずれかの法人 ①酒類製造者等であって、資本金3億円超かつ年平均従業員数が300人超の法人 ②酒類卸売業者であって、資本金1億円超かつ年平均従業員数が100人超の法人
中小企業	大企業以外の法人
個人事業者	個人で事業を行う者
欠損事業者	税引前当期純利益額が赤字の法人及び個人事業者
低収益事業者	税引前当期純利益額が50万円未満の法人及び個人事業者
G I 酒類	地理的表示 (Geographical Indication : G I) として指定された酒類 (注) 1 令和元年12月31日現在の指定状況は、「(参考) 令和元年12月31日現在のG I 指定状況」のとおり。 2 清酒のうち、「G I 日本酒」は含まない。
ワイン	酒税法に規定する果実酒に該当するもののうち、ぶどう (ぶどう果汁を含む。以下同じ。) を原料とするもの。
日本ワイン	国産ぶどうのみを原料として、国内で製造されたワイン (平成27年10月30日国税庁告示第18号「果実酒等の製法品質表示基準」)

(参考) 令和元年12月31日現在のGI指定状況

名称	産地	指定日	酒類区分
舌岐	長崎県舌崎市	平成7年6月30日	蒸留酒
球磨	熊本県球磨郡及び人吉市	平成7年6月30日	蒸留酒
琉球	沖縄県	平成7年6月30日	蒸留酒
薩摩	鹿児島県（奄美市及び大島郡を除く。）	平成17年12月22日	蒸留酒
白山	石川県白山市	平成17年12月22日	清酒
山梨	山梨県	平成25年7月16日	ぶどう酒
日本酒	日本国	平成27年12月25日	清酒
山形	山形県	平成28年12月16日	清酒
灘五郷	兵庫県神戸市灘区、東灘区、芦屋市、西宮市	平成30年6月28日	清酒
北海道	北海道	平成30年6月28日	ぶどう酒

(注) 1 「ぶどう酒」とは、酒類の品目のうち、果実酒及び甘味果実酒であって、原料とする果実がぶどうのみのものをいう。

2 「蒸留酒」とは、酒類の品目のうち、連続式蒸留焼酎、単式蒸留焼酎、ウイスキー、ブランデー、原料用アルコール及びスピリッツをいう。

I 酒類製造者等及び酒類卸売業者の実態

1 酒類製造者等及び酒類卸売業者の概要

(1) 酒類業者数

酒類業者数について、事業者区分ごとに各企業区分の数を集計すると、表1のとおりとなった。酒類製造者等、酒類卸売業者ともに中小企業及び個人事業者が8割以上を占める結果となった。

表1 事業者区分別の事業者数

事業者区分	企業区分			
	合計	大企業	中小企業	個人事業者
酒類業者	4,018	125	3,557	336
酒類製造者等	2,288	25	2,037	226
清酒	1,130	4	1,083	43
合成清酒	-	-	-	-
連続式蒸留焼酎	22	2	20	-
単式蒸留焼酎	274	1	265	8
みりん	15	-	15	-
ビール	201	6	177	18
果実酒	249	3	222	24
甘味果実酒	3	-	1	2
ウイスキー ブランデー	22	1	21	-
発泡酒	54	-	34	20
その他の醸造酒	133	-	43	90
原料用アルコール スピリッツ	12	2	10	-
リキュール	83	4	69	10
粉末酒 雑酒	3	-	3	-
酒類卸売業者	1,730	100	1,520	110

- (注) 1 事業者区分の品目別の事業者数は、酒類製造者等で、複数の品目を製造している場合は、売上高に占める割合が最も大きい品目の酒類に1者として計上している。
- 2 調査表Aに記載がない者については、個別の事業者区分（清酒、合成清酒など）には含めていないが、酒類業者及び酒類製造者等の合計には含めているため、個別の事業者区分の事業者数と、酒類業者及び酒類製造者等の合計者数は一致しない。

(参考) 酒類製造者等の品目別の事業者数 (売上有る品目を全て集計)

品目	企業区分	合計			
		大企業	中小企業	個人事業者	
清酒		1,235	8	1,184	43
合成清酒		41	5	36	—
連続式蒸留焼酎		80	7	73	—
単式蒸留焼酎		616	12	592	12
みりん		67	5	61	1
ビール		273	11	239	23
果実酒		330	10	294	26
甘味果実酒		99	7	90	2
ウイスキー ブランデー		155	20	135	—
発泡酒		196	5	156	35
その他の醸造酒		213	5	116	92
原料用アルコール スピリッツ		151	16	133	2
リキュール		708	17	672	19
粉末酒 雑酒		42	1	41	—

(注) 酒類製造者等で複数の品目を製造している場合は、製造している全ての品目の酒類に1者として計上している。

(2) 酒類業者の従業員数

酒類業者の年平均従業員数について、事業者区分ごとに各企業区分の従業員数の1者平均を集計すると、表2のとおりとなった。全従業員数に占める酒類事業に携わる従事者の割合について、酒類製造者等については、全ての企業区分においておおよそ5割から6割程度であった。酒類卸売業者については企業の規模が大きくなるに従い、酒類事業に携わる従業員の割合が低くなった。

表 2 酒類業者の年平均従業員数（1者平均）

企業区分 事業者区分	事業者数	全体							
		大企業		中小企業		個人事業者			
		従業員数	酒類事業	従業員数	酒類事業	従業員数	酒類事業	従業員数	酒類事業
酒類業者	3,889	76	20	1,342	232	39	15	3	2
酒類製造者等	2,267	41	20	1,292	673	30	14	3	2
酒類卸売業者	1,622	125	21	1,354	120	51	16	2	2

(3) 酒類業者の経営状況及び業績

酒類業者の経営状況について、企業区分ごとに売上高等の1者平均を集計すると表3のとおりとなった。酒類事業に係る営業利益について、酒類製造者等全体ではプラスとなり、酒類卸売業者ではマイナスとなった。

事業者区分ごとの経営状況について集計した結果が表4である。酒類製造者等中ウイスキー及びブランデーについて、営業利益が他の品目に比して高い結果となった。

企業区分別の欠損又は低収益となっている事業者数を集計すると表5、事業者区分ごとに欠損又は低収益となっている事業者数を集計すると表6のとおりとなった。酒類製造者等については、中小企業又は個人事業者の半数以上が欠損又は低収益となっている。酒類卸売業者については、中小企業又は個人事業者の40%前後が欠損又は低収益となっている。

表 3 企業区分別の経営状況（1者平均）

企業区分	事業者数	売上高		売上総利益		営業利益	
		酒類事業	酒類事業	酒類事業	酒類事業	酒類事業	酒類事業
酒類業者	3,806	12,205	2,453	1,563	438	190	85
酒類製造者等	2,222	2,591	1,596	1,006	558	281	160
大企業	23	153,748	114,559	62,744	42,628	21,719	13,988
中小企業	1,983	1,118	458	398	130	63	18
個人事業者	216	25	14	12	6	1	△ 0
酒類卸売業者	1,584	25,691	3,655	2,346	269	63	△ 22
大企業	93	388,717	42,694	33,721	2,721	599	△ 497
中小企業	1,392	3,260	1,303	416	124	32	8
個人事業者	99	62	46	11	7	2	1

表 4 事業者区別の経営状況（1者平均）

事業者区分	区分	事業者数	売上高		売上総利益		営業利益	
			酒類事業	酒類事業	酒類事業	酒類事業	酒類事業	酒類事業
		者	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
酒類業者		3,806	12,205	2,453	1,563	438	190	85
	酒類製造者等	2,222	2,591	1,596	1,006	558	281	160
	清酒	1,110	532	356	183	120	13	9
	合成清酒	-	-	-	-	-	-	-
	連続式蒸留焼酎	21	10,960	10,118	3,745	3,525	435	589
	単式蒸留焼酎	271	1,124	1,000	366	320	49	51
	みりん	13	12,603	1,051	6,020	169	1,447	1
	ビール	190	11,844	9,995	4,448	3,300	1,398	757
	果実酒	245	875	451	248	151	4	37
	甘味果実酒	3	214	12	74	6	△ 3	△ 1
	ウイスキー	21	31,548	17,471	15,298	10,268	4,966	7,964
	ブランデー							
	発泡酒	52	246	19	133	11	11	△ 0
	その他の醸造酒	127	101	10	44	4	1	1
	原料用アルコールスピリッツ	11	10,523	939	2,105	227	474	28
	リキュール	81	13,837	3,468	5,793	865	2,224	99
	粉末酒	3	6,863	157	1,938	45	1,037	21
	酒類卸売業者	1,584	25,691	3,655	2,346	269	63	△ 22

- (注) 1 事業者区分の品目別の事業者数は、酒類製造者等で、複数の品目を製造している場合は、売上高に占める割合が最も大きい品目の酒類に1者として計上している。
- 2 事業者区別の品目別売上金額等は、事業者の事業全体の計数であり、品目ごとの売上高等を計上したものではない。
- 3 「酒類事業」は、酒類事業全体の数値であり、各主要売上品目に係る酒類に係るものではない。

表 5 酒類業者の欠損及び低収益事業者数

事業者区分	企業区分	事業者数									
		大企業				中小企業			個人事業者		
		者	欠損者	低収益者	者	欠損者	低収益者	者	欠損者	低収益者	
酒類業者		3,997	125	11	1	3,539	1,268	308	333	102	71
	酒類製造者等	2,277	25	5	1	2,028	831	185	224	70	54
	酒類卸売業者	1,720	100	6	-	1,511	437	123	109	32	17

表6 事業者区分別の欠損及び低収益事業者数

事業者区分	企業区分		
	事業者数	欠損	低収益
酒 類 業 者	3,997	1,381	380
酒 類 製 造 者 等	2,277	906	240
清 酒	1,128	473	111
合 成 清 酒	-	-	-
連 続 式 蒸 留 焼 酎	22	7	1
単 式 蒸 留 焼 酎	273	121	15
み り ん	15	4	1
ビ ー ル	199	75	21
果 実 酒	247	89	30
甘 味 果 実 酒	3	X	X
ウ イ ス キ ー ブ ラ ン デ ー	22	3	-
発 泡 酒	54	28	4
そ の 他 の 醸 造 酒	131	45	35
原 料 用 ア ル コ ー ル ス ピ リ ッ ツ	12	3	-
リ キ ュ ー ル	83	21	5
粉 末 酒 雑 酒	3	X	X
酒 類 卸 売 業 者	1,720	475	140

(注) 事業者区分の品目別の事業者数は、酒類製造者等で、複数の品目を製造している場合は、売上高に占める割合が最も大きい品目の酒類に1者として計上している。

(4) 輸出事業者及び非輸出事業者の経営状況の比較

輸出事業者と非輸出事業者ごとに、売上高等の1者平均額を算出したものが表7、事業者区分ごとに、輸出事業者と非輸出事業者の欠損又は低収益事業者数を集計した結果が表8である。酒類製造者等について1者当たりの売上高及び売上総利益を比較すると、輸出事業者の方が非輸出事業者よりも売上高、売上総利益及び営業利益が高い結果となった。酒類卸売業者では、営業利益については一部の大企業の営業損益が影響し非輸出事業者の方が高くなった一方、売上高及び売上総利益については輸出事業者の方が高い結果となった。

輸出事業者と非輸出事業者の欠損又は低収益となる事業者数を比較すると、中小企

業及び個人事業者では、輸出事業者の方が欠損又は低収益となっている割合が低い結果となった。

表7 輸出事業者及び非輸出事業者別の経営状況（1者平均）

事業者区分	区分	事業者数	売上高	売上総利益	営業利益
		者	百万円	百万円	百万円
輸出事業者		1,034	22,106	1,999	126
	酒類製造者等	765	4,631	1,687	356
	酒類卸売業者	269	71,802	2,885	△ 528
非輸出事業者		2,963	9,684	1,474	210
	酒類製造者等	1,512	1,560	684	277
	酒類卸売業者	1,451	18,149	2,297	140

表8 輸出事業者及び非輸出事業者別の欠損及び低収益事業者数

事業者区分	企業区分	合計	大企業		中小企業			個人事業者			
			欠損	低収益	欠損	低収益	欠損	低収益			
		者	者	者	者	者	者	者	者	者	
輸出事業者		1,034	32	5	1	981	336	64	21	8	1
	酒類製造者等	765	13	4	-	739	271	45	13	5	-
	酒類卸売業者	269	19	1	1	242	65	19	8	3	1
非輸出事業者		2,963	93	6	1	2,558	932	244	312	94	70
	酒類製造者等	1,512	12	1	1	1,289	560	140	211	65	54
	酒類卸売業者	1,451	81	5	-	1,269	372	104	101	29	16

(4) リベートの受取、支払状況

酒類業者の酒類事業に係る受取又は支払リベートについて、1者平均を集計したものが表9である。酒類製造者等については、支払リベートがある事業者の割合は19.1%となった。

酒類卸売業者については、受取りリベートがある事業者の割合が27.5%、支払リベートがある事業者の割合は18.2%となった。

表9 企業区分別の受取（支払）リポートの状況（1者平均）

区分 企業区分	事業者数	受取リポートが ある事業者数	受取リポート	支払リポートが ある事業者数	支払リポート
	者	者	千円	者	千円
酒類製造者等	2,366	54	X	453	231,119
大企業	102	9	607,821	25	3,101,753
中小企業	2,037	44	103,030	422	64,302
個人事業者	227	1	X	6	2,967
酒類卸売業者	1,826	503	387,520	333	345,448
大企業	194	41	4,038,780	36	2,993,646
中小企業	1,520	449	65,269	292	24,869
個人事業者	112	13	2,064	5	188

（注） 同一の者が酒類製造者等と酒類卸売業者の双方に該当する場合は、受取（支払）リポートの事業者数及びリポート金額について、酒類製造者等の取引と酒類卸売業者としての取引を区分し集計している。

2 酒類の取引状況

(1) 品目別取引状況

品目別に、売上数量及び売上金額並びに輸出数量及び輸出金額について集計したものが図1である（国内取引については酒類製造者等及び酒類卸売業者に区分）。国内における酒類製造者等の売上数量は8,696,988kl、売上金額は3兆3,459億円となった。売上数量ではリキュールが最も多かったが、売上金額ではビールが最も多くなった。

酒類卸売業者の売上数量及び売上金額には、日本産酒類の取引に加え、卸売業者が輸入した酒類の売上数量及び売上金額が含まれる。その結果、酒類製造者等においては取引数量割合が2.2%であった果実酒が、酒類卸売業者の取引数量割合では高い割合（21.0%）を占めている。

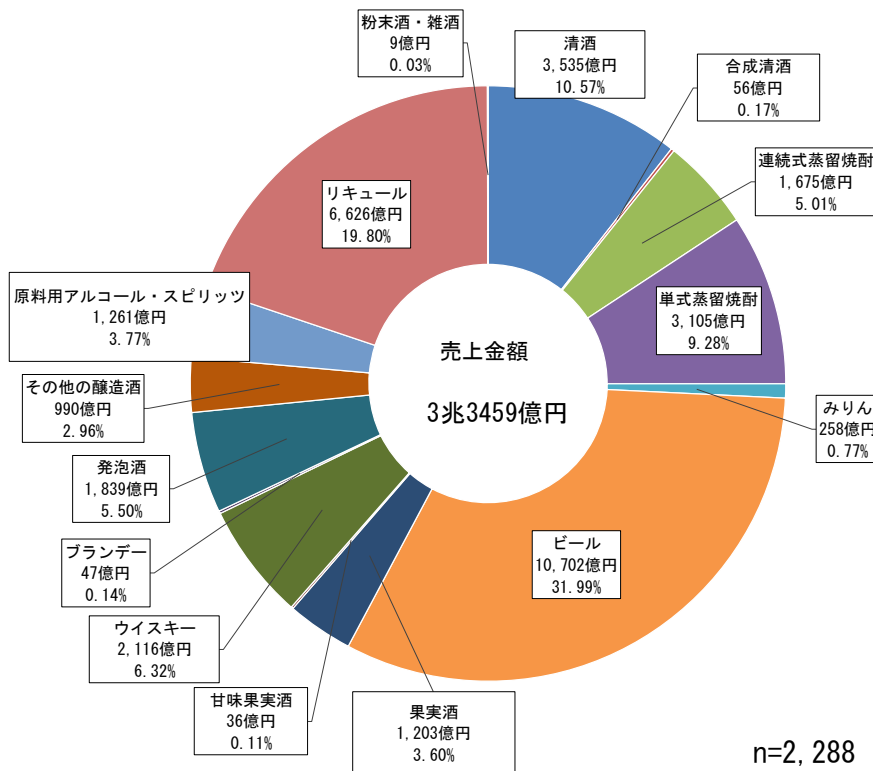
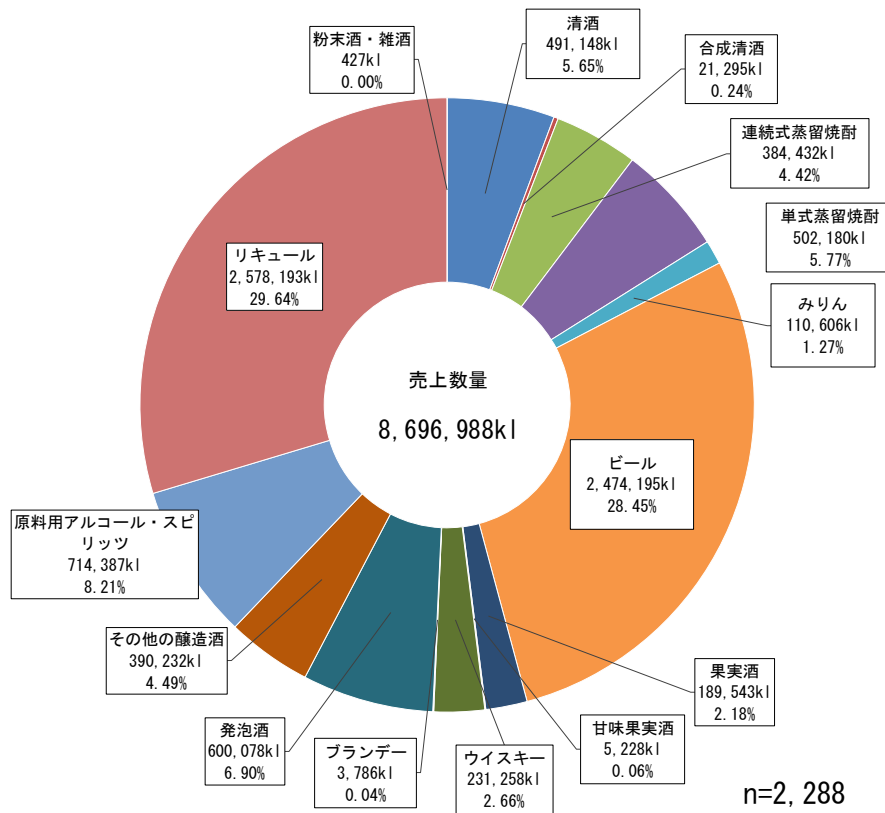
輸出取引については、輸出数量の64.1%をビールが占めている一方、輸出金額については清酒（213億円、34.0%）と、ウイスキー（187億円、29.9%）が上位2品目となっている。

なお、輸出取引には、いわゆる間接輸出は含まれておらず、酒類製造者等が輸出用酒類を酒類卸売業者に販売する取引は国内取引として集計している。

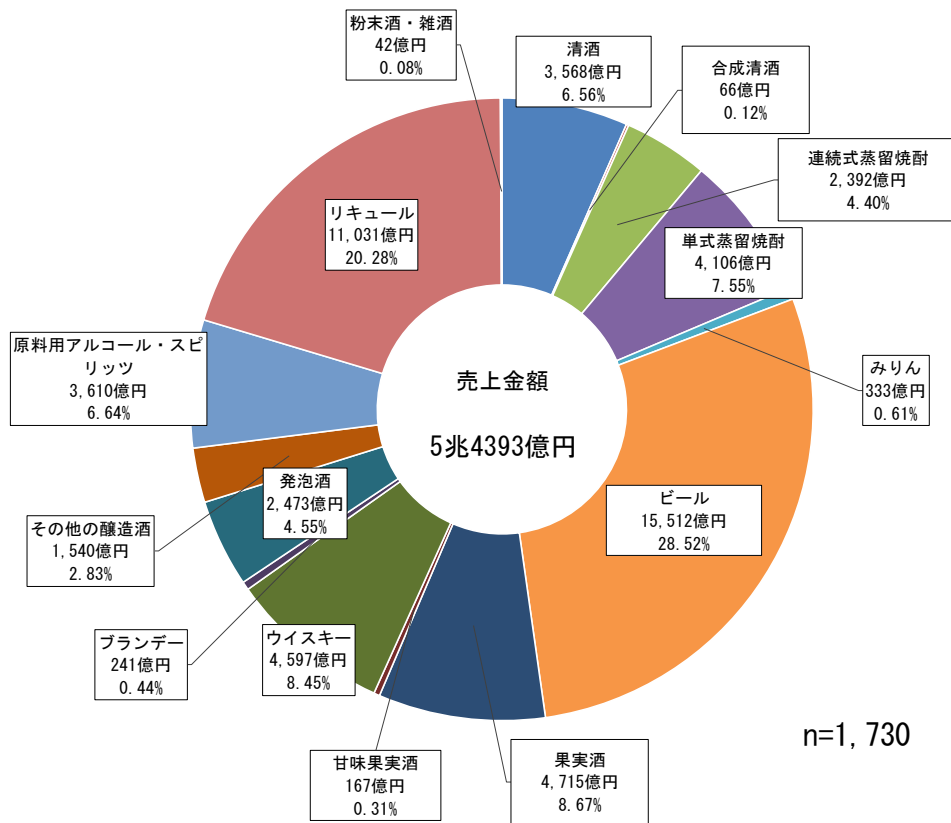
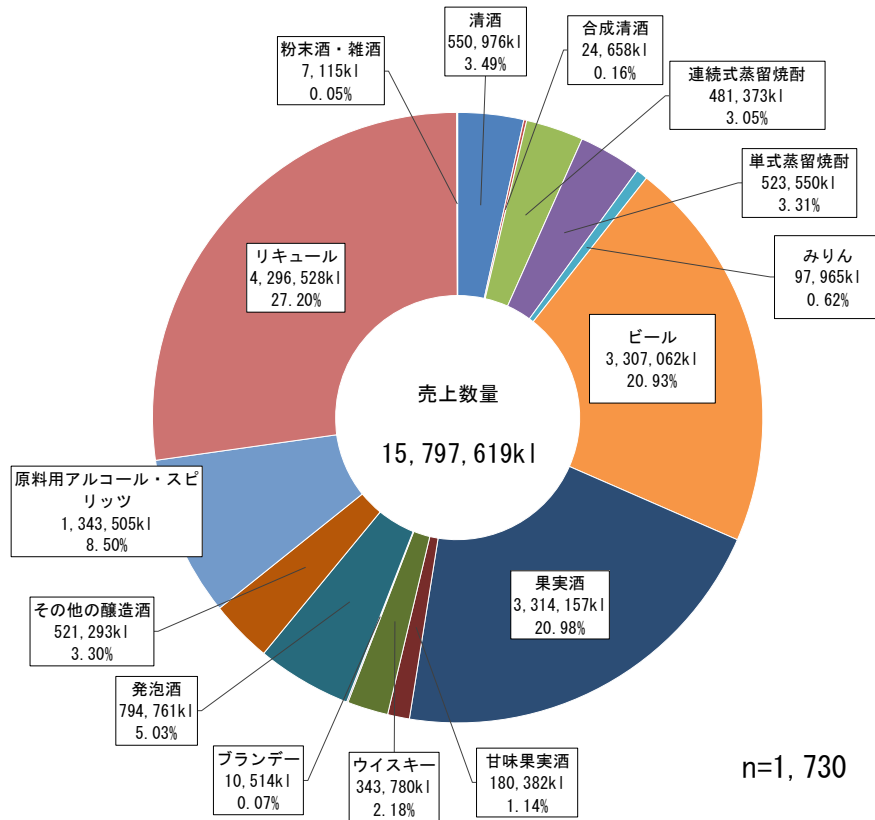
図 1

品目別売上（輸出）数量及び売上（輸出）金額構成比

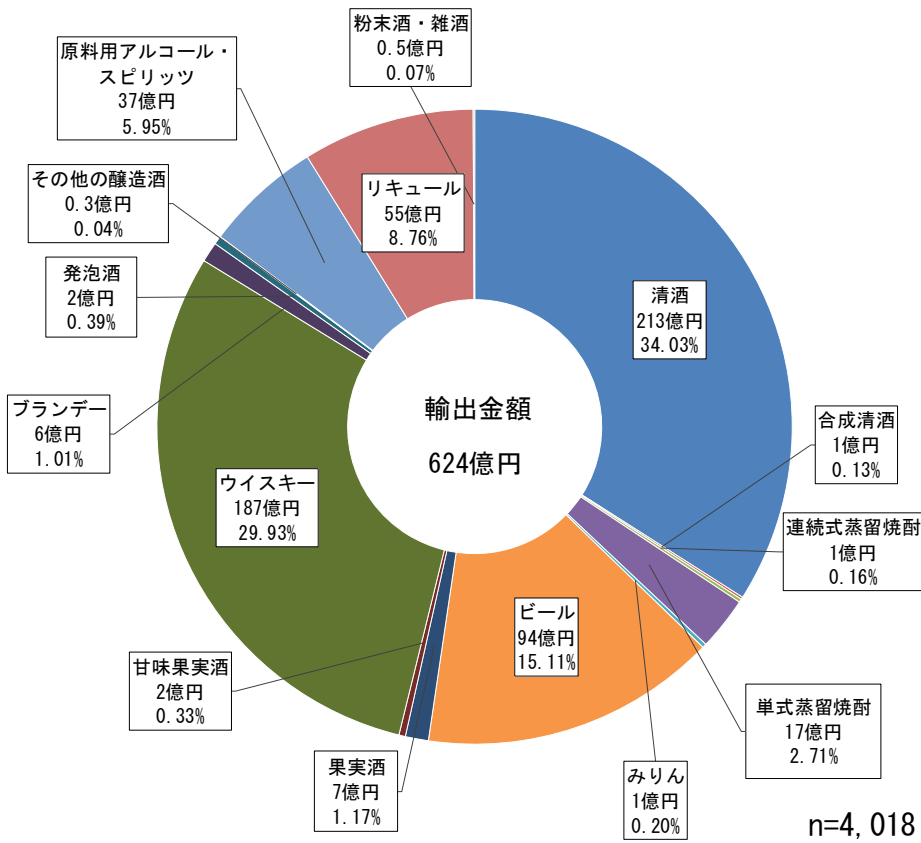
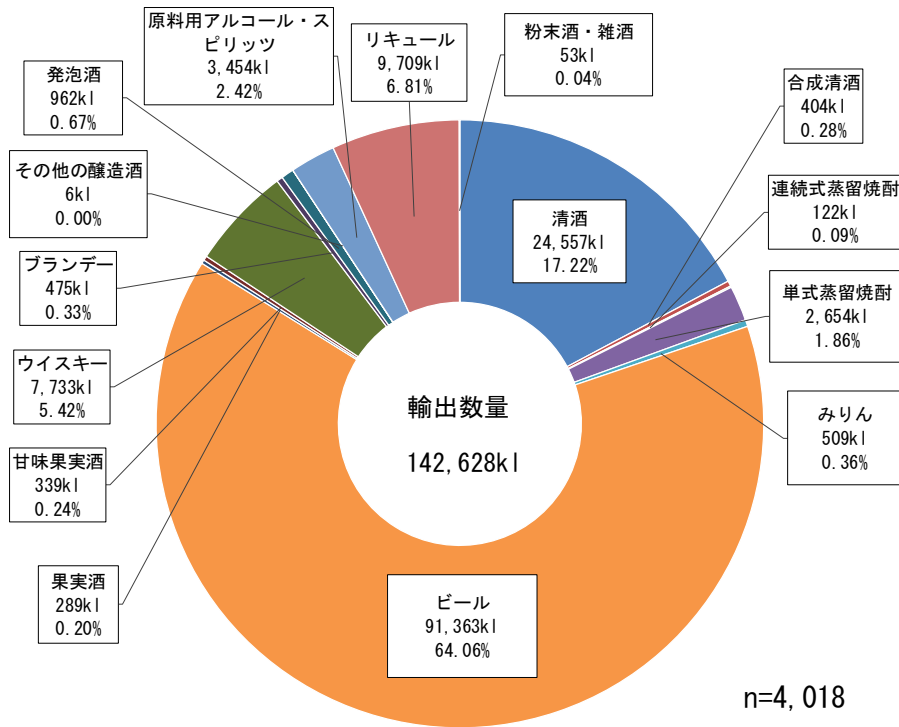
【国内取引（酒類製造者等）】



【国内取引（酒類卸売業者）】



【輸出取引】



(2) GI酒類の取引状況

GI酒類について、品目別の国内の売上数量及び輸出数量並びに品目別の国内の売上金額及び輸出金額について集計したものがそれぞれ表10及び表11である。清酒については、数量及び金額ともに、国内取引及び輸出取引全体に占める割合は2%に満たないが、輸出取引ではそれぞれ5.3%を占めた。

単式蒸留焼酎については、GI酒類の国内の取引金額に占める割合は18.2%となった一方、輸出金額に占める割合は8.5%となった。

日本ワインについては、GI酒類の輸出金額に占める割合は2割超となった。

表10 GI酒類の品目別売上（輸出）数量

酒類及び取引区分		取引全体	GI酒類	GI酒類割合
清酒	国内数量 (酒類製造者等)	488,600	5,449	1.1%
	輸出数量	24,557	1,301	5.3%
単式蒸留焼酎	国内数量 (酒類製造者等)	501,812	82,188	16.4%
	輸出数量	2,654	317	11.9%
日本ワイン	国内数量 (酒類製造者等)	23,569	1,582	6.7%
	輸出数量	164	9	5.6%

表11 GI酒類の品目別売上（輸出）金額

酒類及び取引区分		取引全体	GI酒類	GI酒類割合
清酒	国内金額 (酒類製造者等)	353,520	6,009	1.7%
	輸出金額	21,251	1,133	5.3%
単式蒸留焼酎	国内金額 (酒類製造者等)	310,535	56,635	18.2%
	輸出金額	1,694	145	8.5%
日本ワイン	国内金額 (酒類製造者等)	29,130	2,952	10.1%
	輸出金額	176	42	24.0%

(3) GI酒類の取引単価

国内取引及び輸出取引ごとにGI酒類全体の売上数量、売上金額及び売上単価を集

計した結果が表 12 である。G I 酒類については、G I 酒類以外の酒類よりも 2 倍弱取引単価が高い結果となった。

表 12 G I 酒類及びG I 酒類以外の売上単価

取引区分		G I 酒類	G I 酒類の 売上単価①	G I 酒類以外	G I 酒類以外の 売上単価②	①/②
国内取引	数量	kl 89,219	円/L 735	kl 8,607,769	円/L 381	192.9%
	金額	百万円 65,596		百万円 3,280,349		
輸出取引	数量	kl 1,627	円/L 811	kl 141,001	円/L 434	187.1%
	金額	百万円 1,320		百万円 61,136		

3 輸出取引の状況

(1) 輸出事業者数

企業区分ごとに、輸出に取り組んでいる事業者の数を集計したものが表 13、輸出数量規模別に輸出事業者数を集計（酒類業全体に加え、農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略の重点品目とされた清酒、ウイスキー、本格焼酎・泡盛）したものが表 14 である。酒類事業者全体では輸出に取り組んでいる酒類事業者の割合は、25.7%となった。

また、品目別に酒類製造者等の輸出状況を見ると、清酒では 46.9%、単式蒸留焼酎では 29.7%、ウイスキーでは 62.3%が輸出に取り組んでいる結果となった。

表 13 企業区分別の輸出事業者数

企業区分	事業者区分	事業者数	輸出事業者		
			酒類製造者等	酒類卸売業者	
合計		4,018	1,034	765	269
	大企業	125	32	13	19
	中小企業	3,557	981	739	242
	個人事業者	336	21	13	8

表 14 輸出数量規模別の輸出事業者数

【全酒類】				【清酒】					
輸出数量規模	事業者区分	事業者数			輸出数量規模	事業者区分	事業者数		
		事業者数	酒類製造者等	酒類卸売業者			事業者数	酒類製造者等	酒類卸売業者
輸出事業者 (酒類事業者に占める割合)		1,034 (25.7%)	765 (33.4%)	269 (15.5%)	輸出事業者 (酒類事業者に占める割合)		779 (26.3%)	579 (46.9%)	200 (11.6%)
1k l未満		361	283	78	1k l未満		298	226	72
1k l以上5k l未満		276	206	70	1k l以上5k l未満		219	175	44
5k l以上10k l未満		110	79	31	5k l以上10k l未満		78	50	28
10k l以上100k l未満		208	145	63	10k l以上100k l未満		146	103	43
100k l以上		79	52	27	100k l以上		38	25	13
【単式蒸留焼酎】				【ウイスキー】					
輸出数量規模	事業者区分	事業者数			輸出数量規模	事業者区分	事業者数		
		事業者数	酒類製造者等	酒類卸売業者			事業者数	酒類製造者等	酒類卸売業者
輸出事業者 (酒類事業者に占める割合)		281 (12.0%)	183 (29.7%)	98 (5.7%)	輸出事業者 (酒類事業者に占める割合)		117 (6.5%)	48 (62.3%)	69 (4.0%)
1k l未満		161	113	48	1k l未満		51	18	33
1k l以上5k l未満		80	43	37	1k l以上5k l未満		18	6	12
5k l以上10k l未満		15	13	2	5k l以上10k l未満		14	3	11
10k l以上100k l未満		20	14	6	10k l以上100k l未満		25	13	12
100k l以上		5	0	5	100k l以上		9	8	1

(注) 1 「全酒類」の酒類事業者に占める割合は、表 1 の事業者数を母数としている。例えば、「酒類製造者等」に係る酒類事業者に占める割合については、表 1 の「酒類製造者等」の合計値を母数としている。

2 「清酒」、「単式蒸留焼酎」及び「ウイスキー」の酒類事業者に占める割合は、表 1 の参考（各品目について売上有る酒類製造者等を全て集計した表）に記載した事業者数を母数としている。例えば、清酒の「酒類製造者等」に係る酒類事業者に占める割合については、表 1（参考）の清酒の酒類製造者等の合計値を母数として

いる。

(2) 主要品目（清酒、単式蒸留焼酎、ビール・発泡酒、ウイスキー、日本ワイン、スピリッツ及びリキュール）の輸出状況

イ 輸出先地域圏別の輸出状況

輸出先地域圏別に、輸出事業者数を集計したものが表 15 である。アジア向けに輸出する事業者数が最も多く、輸出事業者数に占める割合は 88.1%となっている。続いて西欧及び北米向けがほぼ同数であり、割合としてはそれぞれ 39.5%、38.3%となっている。

輸出先地域圏別に、輸出数量及び品目別構成を集計したものが図 2、輸出金額及び品目別構成を集計したものが図 3 である。輸出数量について見ると、アジア、大洋州及び中東欧・ロシア等向けにはビール・発泡酒が、北米や西欧については、清酒やウイスキーが占める割合が高くなっている。

輸出金額については、アジア向けではビール・発泡酒に加え、清酒及びウイスキーの占める割合が高い。北米向けでは、清酒及びウイスキーの割合が高くなっており、また西欧については、ウイスキーの輸出金額が、西欧向け全体の 62.9%を占めている。

表 15 輸出先地域圏別の輸出事業者数及び企業区分別構成

地域圏 企業区分	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ ロシア等	中南米	アフリカ	中東	輸出 事業者数
大企業	者 24	者 13	者 10	者 12	者 5	者 8	者 4	者 6	者 26
中小企業	858	375	253	385	73	91	44	53	975
個人事業者	18	3	4	6	1	—	—	3	20
合計	900	391	267	403	79	99	48	62	1,021

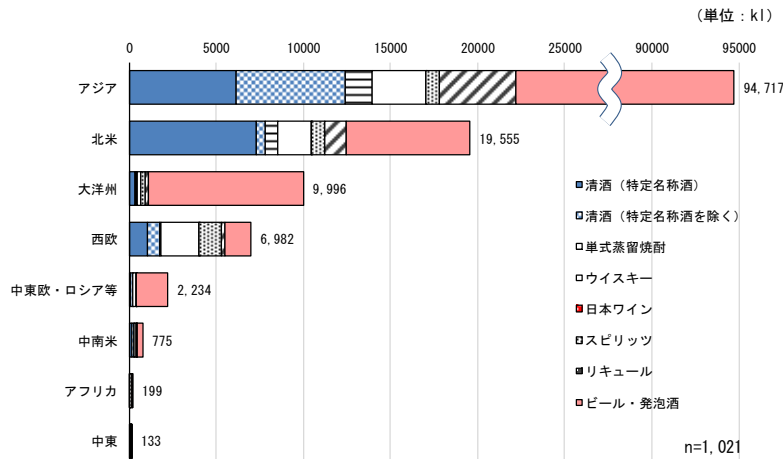
輸出事業者数に占める輸出先地域圏ごとの事業者割合

地域圏 企業区分	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ ロシア等	中南米	アフリカ	中東
大企業	92.3%	50.0%	38.5%	46.2%	19.2%	30.8%	15.4%	23.1%
中小企業	88.0%	38.5%	25.9%	39.5%	7.5%	9.3%	4.5%	5.4%
個人事業者	90.0%	15.0%	20.0%	30.0%	5.0%	—	—	15.0%
合計	88.1%	38.3%	26.2%	39.5%	7.7%	9.7%	4.7%	6.1%

(注) 輸出事業者数は、調査表 C～F について回答した事業者の合計であり、企業区分ごとの合計値ではない。

図2

輸出先地域圏別の輸出数量及び品目構成



品目	地域圏									合計
	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	アフリカ	中東		
清酒(特定名称酒)	6,176	7,330	355	1,055	79	162	8	44	15,210	
清酒(特定名称酒を除く)	6,199	501	76	729	112	91	13	30	7,749	
単式蒸留焼酎	1,569	675	18	42	8	11	0	2	2,326	
ビール・発泡酒	72,544	7,099	8,876	1,511	1,807	328	36	30	92,232	
ウイスキー	3,066	1,970	213	2,209	206	157	11	6	7,836	
日本ワイン	56	4	1	14	0	1	0	0	76	
スピリッツ	765	780	271	1,240	12	19	130	1	3,219	
リキュール	4,341	1,195	186	183	10	7	1	21	5,943	
合計	94,717	19,555	9,996	6,982	2,234	775	199	133	134,591	

地域圏ごとの品目別輸出割合

品目	地域圏								
	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	アフリカ	中東	
清酒(特定名称酒)	6.5%	37.5%	3.6%	15.1%	3.5%	20.9%	4.0%	33.4%	
清酒(特定名称酒を除く)	6.5%	2.6%	0.8%	10.4%	5.0%	11.7%	6.5%	22.3%	
単式蒸留焼酎	1.7%	3.5%	0.2%	0.6%	0.4%	1.5%	0.2%	1.3%	
ビール・発泡酒	76.6%	36.3%	88.8%	21.6%	80.9%	42.4%	17.9%	22.7%	
ウイスキー	3.2%	10.1%	2.1%	31.6%	9.2%	20.2%	5.4%	4.3%	
日本ワイン	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	
スピリッツ	0.8%	4.0%	2.7%	17.8%	0.5%	2.4%	65.6%	0.5%	
リキュール	4.6%	6.1%	1.9%	2.6%	0.5%	0.9%	0.4%	15.5%	

品目ごとの各地域圏向け輸出割合

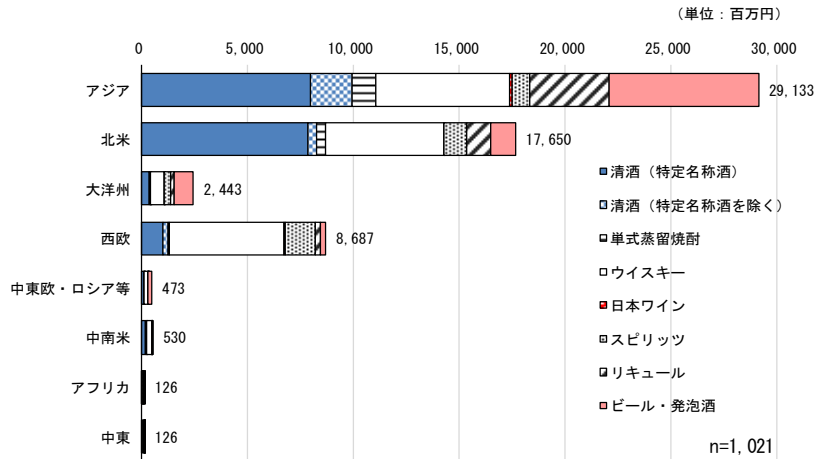
品目	地域圏							
	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	アフリカ	中東
清酒(特定名称酒)	40.6%	48.2%	2.3%	6.9%	0.5%	1.1%	0.1%	0.3%
清酒(特定名称酒を除く)	80.0%	6.5%	1.0%	9.4%	1.4%	1.2%	0.2%	0.4%
単式蒸留焼酎	67.5%	29.0%	0.8%	1.8%	0.3%	0.5%	0.0%	0.1%
ビール・発泡酒	78.7%	7.7%	9.6%	1.6%	2.0%	0.4%	0.0%	0.0%
ウイスキー	39.1%	25.1%	2.7%	28.2%	2.6%	2.0%	0.1%	0.1%
日本ワイン	73.8%	5.1%	1.7%	17.9%	0.4%	0.9%	0.2%	0.1%
スピリッツ	23.8%	24.2%	8.4%	38.5%	0.4%	0.6%	4.0%	0.0%
リキュール	73.0%	20.1%	3.1%	3.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.3%
合計	70.4%	14.5%	7.4%	5.2%	1.7%	0.6%	0.1%	0.1%

(注) 1 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュールには新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

2 調査表Aと調査表C～Fの回答者が異なるため、図1の輸出数量とは一致しない。

図3

輸出先地域圏別の輸出金額及び品目構成



品目	地域圏									合計
	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	アフリカ	中東	百万円	
清酒(特定名称酒)	7,933	7,826	316	975	80	148	5	60	17,343	
清酒(特定名称酒を除く)	2,013	397	57	238	26	43	6	14	2,794	
単式蒸留焼酎	1,074	474	17	48	7	14	0	2	1,635	
ビール・発泡酒	7,095	1,200	890	265	171	68	8	10	9,708	
ウイスキー	6,348	5,578	634	5,462	165	237	12	13	18,449	
日本ワイン	91	8	2	15	1	1	0	0	118	
スピリッツ	834	1,080	340	1,470	11	8	94	2	3,838	
リキュール	3,745	1,088	188	213	13	12	1	25	5,284	
合計	29,133	17,650	2,443	8,687	473	530	126	126	59,169	

地域圏ごとの品目別輸出割合

品目	地域圏								
	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	アフリカ	中東	合計
清酒(特定名称酒)	27.2%	44.3%	12.9%	11.2%	17.0%	27.9%	4.0%	47.5%	29.3%
清酒(特定名称酒を除く)	6.9%	2.3%	2.3%	2.7%	5.5%	8.1%	4.5%	10.8%	4.7%
単式蒸留焼酎	3.7%	2.7%	0.7%	0.5%	1.5%	2.6%	0.2%	1.2%	2.8%
ビール・発泡酒	24.4%	6.8%	36.4%	3.1%	36.1%	12.9%	6.7%	8.2%	16.4%
ウイスキー	21.8%	31.6%	25.9%	62.9%	34.8%	44.8%	9.6%	10.2%	31.2%
日本ワイン	0.3%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.2%
スピリッツ	2.9%	6.1%	13.9%	16.9%	2.3%	1.5%	74.2%	1.9%	6.5%
リキュール	12.9%	6.2%	7.7%	2.4%	2.7%	2.2%	0.5%	20.0%	8.9%

品目ごとの各地域圏向け輸出割合

品目	地域圏								
	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	アフリカ	中東	合計
清酒(特定名称酒)	45.7%	45.1%	1.8%	5.6%	0.5%	0.9%	0.0%	0.3%	
清酒(特定名称酒を除く)	72.1%	14.2%	2.0%	8.5%	0.9%	1.5%	0.2%	0.5%	
単式蒸留焼酎	65.7%	29.0%	1.0%	2.9%	0.4%	0.8%	0.0%	0.1%	
ビール・発泡酒	73.1%	12.4%	9.2%	2.7%	1.8%	0.7%	0.1%	0.1%	
ウイスキー	34.4%	30.2%	3.4%	29.6%	0.9%	1.3%	0.1%	0.1%	
日本ワイン	76.6%	6.7%	1.9%	12.8%	0.7%	0.8%	0.3%	0.1%	
スピリッツ	21.7%	28.1%	8.8%	38.3%	0.3%	0.2%	2.4%	0.1%	
リキュール	70.9%	20.6%	3.5%	4.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.5%	
合計	49.2%	29.8%	4.1%	14.7%	0.8%	0.9%	0.2%	0.2%	

(注) 1 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュールには新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

2 調査表Aと調査表C～Fの回答者が異なるため、図1の輸出金額とは一致しない。

ロ 輸出先国（地域）別の輸出状況

輸出数量上位 10 か国（地域）について、輸出事業者数を集計したものが表 16 である。輸出先国（地域）として事業者数が多いのは香港をはじめ、台湾、中華人民共和国、シンガポール、大韓民国などアジア圏の国（地域）が上位 10 か国（地域）の半分を占めた。

輸出数量上位 10 か国（地域）について、輸出数量及び品目構成を集計したものが図 4 である。アジア圏の国（地域）に対しては、ビール・発泡酒が占める割合が高く、特に輸出数量が最も多い大韓民国に対しては、91.8%を占めている。アメリカ合衆国向けについては、40.2%が清酒となっている。

輸出数量上位 10 か国（地域）について、輸出金額及び品目構成を集計したものが図 5 である。輸出金額ではアメリカ合衆国向けが最も多く、輸出金額のうち 43.8%を清酒が占めている。また、輸出数量上位 10 か国（地域）に対する清酒（特定名称酒）のうち 46.9%がアメリカ合衆国向けとなっている。輸出金額で 2 番目に多いのは中華人民共和国であり、清酒の他ウイスキーの割合が高くなっている。

表 16 輸出先国（地域）別の輸出事業者数及び企業区分別構成（輸出数量上位 10 か国）

企業区分	輸出先国（地域）										輸出事業者数
	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国	オーストラリア	シンガポール	香港	フランス	ロシア	カナダ	
大企業	12	13	12	17	8	13	18	6	3	7	26
中小企業	238	404	320	339	221	340	481	207	35	132	975
個人事業者	—	6	3	5	4	6	7	3	—	1	20
合計	250	423	335	361	233	359	506	216	38	140	1,021

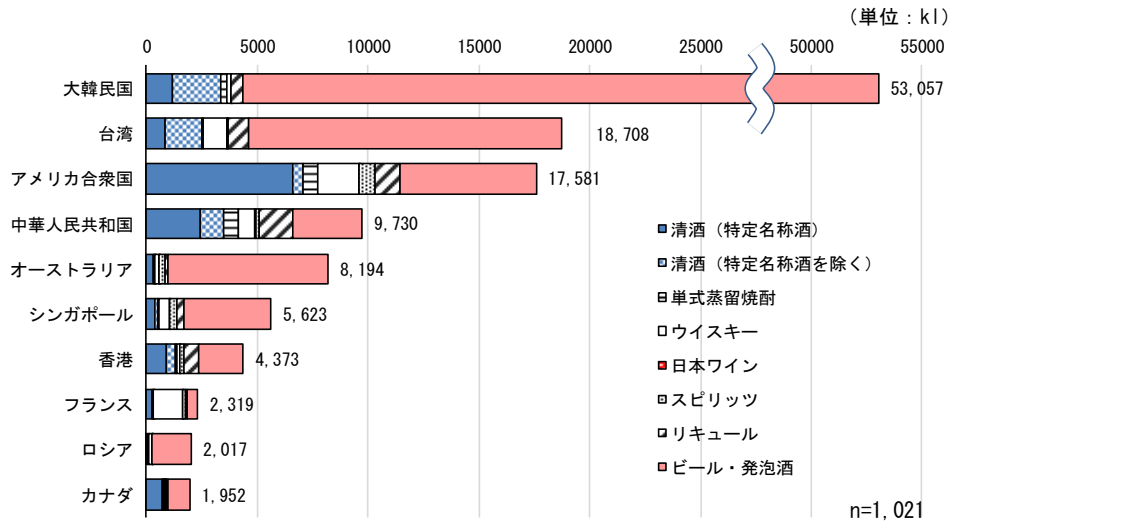
輸出事業者数に占める輸出先国（地域）ごとの事業者割合

企業区分	輸出先国（地域）									
	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国	オーストラリア	シンガポール	香港	フランス	ロシア	カナダ
大企業	46.2%	50.0%	46.2%	65.4%	30.8%	50.0%	69.2%	23.1%	11.5%	26.9%
中小企業	24.4%	41.4%	32.8%	34.8%	22.7%	34.9%	49.3%	21.2%	3.6%	13.5%
個人事業者	—	30.0%	15.0%	25.0%	20.0%	30.0%	35.0%	15.0%	—	5.0%
合計	24.5%	41.4%	32.8%	35.4%	22.8%	35.2%	49.6%	21.2%	3.7%	13.7%

（注） 輸出事業者数は、調査表 C～F について回答した事業者の合計であり、企業区分ごとの合計値ではない。

図 4

輸出先国（地域）別の輸出数量及び品目構成（輸出数量上位 10 か国）



品目	輸出先国（地域）										合計
	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国	オーストラリア	シンガポール	香港	フランス	ロシア	カナダ	
清酒（特定名称酒）	1,167	812	6,598	2,439	303	362	877	220	28	724	13,530
清酒（特定名称酒を除く）	2,193	1,660	465	1,018	44	131	400	60	50	35	6,055
単式蒸留焼酎	260	102	661	720	8	102	68	11	2	7	1,940
ビール・発泡酒	48,681	14,114	6,116	3,145	7,230	3,923	2,024	512	1,769	983	88,496
ウイスキー	214	1,039	1,869	731	197	466	125	1,338	148	99	6,226
日本ワイン	2	8	3	20	0	2	7	0	0	0	43
スピリッツ	2	35	741	121	255	311	221	140	12	39	1,877
リキュール	538	938	1,128	1,536	156	327	651	37	9	65	5,386
合計	53,057	18,708	17,581	9,730	8,194	5,623	4,373	2,319	2,017	1,952	123,555

地域圏ごとの品目別輸出割合

品目	輸出先国（地域）										合計
	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国	オーストラリア	シンガポール	香港	フランス	ロシア	カナダ	
清酒（特定名称酒）	2.2%	4.3%	37.5%	25.1%	3.7%	6.4%	20.1%	9.5%	1.4%	37.1%	11.0%
清酒（特定名称酒を除く）	4.1%	8.9%	2.6%	10.5%	0.5%	2.3%	9.1%	2.6%	2.5%	1.8%	4.9%
単式蒸留焼酎	0.5%	0.5%	3.8%	7.4%	0.1%	1.8%	1.6%	0.5%	0.1%	0.4%	1.6%
ビール・発泡酒	91.8%	75.4%	34.8%	32.3%	88.2%	69.8%	46.3%	22.1%	87.7%	50.4%	71.6%
ウイスキー	0.4%	5.6%	10.6%	7.5%	2.4%	8.3%	2.9%	57.7%	7.3%	5.1%	5.0%
日本ワイン	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
スピリッツ	0.0%	0.2%	4.2%	1.2%	3.1%	5.5%	5.1%	6.1%	0.6%	2.0%	1.5%
リキュール	1.0%	5.0%	6.4%	15.8%	1.9%	5.8%	14.9%	1.6%	0.5%	3.3%	4.4%

品目ごとの各輸出先国（地域）向け輸出割合

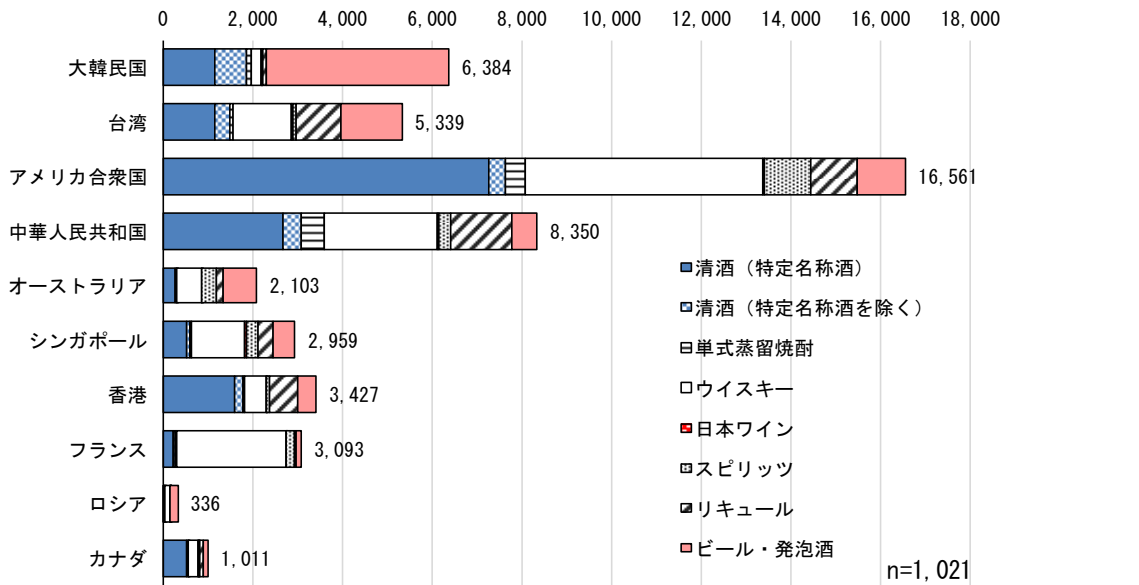
品目	輸出先国（地域）									
	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国	オーストラリア	シンガポール	香港	フランス	ロシア	カナダ
清酒（特定名称酒）	8.6%	6.0%	48.8%	18.0%	2.2%	2.7%	6.5%	1.6%	0.2%	5.4%
清酒（特定名称酒を除く）	36.2%	27.4%	7.7%	16.8%	0.7%	2.2%	6.6%	1.0%	0.8%	0.6%
単式蒸留焼酎	13.4%	5.3%	34.1%	37.1%	0.4%	5.2%	3.5%	0.5%	0.1%	0.4%
ビール・発泡酒	55.0%	15.9%	6.9%	3.6%	8.2%	4.4%	2.3%	0.6%	2.0%	1.1%
ウイスキー	3.4%	16.7%	30.0%	11.7%	3.2%	7.5%	2.0%	21.5%	2.4%	1.6%
日本ワイン	5.6%	18.3%	6.6%	46.4%	0.5%	5.5%	15.9%	0.9%	0.1%	0.0%
スピリッツ	0.1%	1.8%	39.5%	6.4%	13.6%	16.6%	11.8%	7.5%	0.6%	2.1%
リキュール	10.0%	17.4%	20.9%	28.5%	2.9%	6.1%	12.1%	0.7%	0.2%	1.2%
合計	42.9%	15.1%	14.2%	7.9%	6.6%	4.6%	3.5%	1.9%	1.6%	1.6%

（注） 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュールには新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

図5

輸出先国（地域）別の輸出金額及び品目構成（輸出数量上位10か国）

（単位：百万円）



品目	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国	オーストラリア	シンガポール	香港	フランス	ロシア	カナダ	合計
清酒（特定名称酒）	1,150	1,148	7,260	2,684	261	543	1,613	256	32	546	15,494
清酒（特定名称酒を除く）	709	348	371	418	46	54	178	30	14	26	2,193
単式蒸留焼酎	132	68	459	518	7	55	46	12	2	5	1,305
ビール・発泡酒	4,078	1,378	1,090	574	745	510	407	99	156	110	9,147
ウイスキー	216	1,308	5,303	2,516	557	1,195	463	2,447	113	235	14,353
日本ワイン	4	15	6	23	0	8	12	0	0	0	69
スピリッツ	10	83	1,057	261	319	270	89	209	11	20	2,330
リキュール	84	990	1,015	1,356	166	324	620	39	10	68	4,672
合計	6,384	5,339	16,561	8,350	2,103	2,959	3,427	3,093	336	1,011	49,564

地域圏ごとの品目別輸出割合

品目	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国	オーストラリア	シンガポール	香港	フランス	ロシア	カナダ	合計
清酒（特定名称酒）	18.0%	21.5%	43.8%	32.1%	12.4%	18.3%	47.1%	8.3%	9.5%	54.0%	31.3%
清酒（特定名称酒を除く）	11.1%	6.5%	2.2%	5.0%	2.2%	1.8%	5.2%	1.0%	4.0%	2.6%	4.4%
単式蒸留焼酎	2.1%	1.3%	2.8%	6.2%	0.3%	1.9%	1.3%	0.4%	0.5%	0.5%	2.6%
ビール・発泡酒	63.9%	25.8%	6.6%	6.9%	35.4%	17.2%	11.9%	3.2%	46.3%	10.9%	18.5%
ウイスキー	3.4%	24.5%	32.0%	30.1%	26.5%	40.4%	13.5%	79.1%	33.5%	23.2%	29.0%
日本ワイン	0.1%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
スピリッツ	0.2%	1.6%	6.4%	3.1%	15.2%	9.1%	2.6%	6.8%	3.2%	2.0%	4.7%
リキュール	1.3%	18.5%	6.1%	16.2%	7.9%	11.0%	18.1%	1.3%	2.8%	6.8%	9.4%

品目ごとの各輸出先国（地域）向け輸出割合

品目	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国	オーストラリア	シンガポール	香港	フランス	ロシア	カナダ
清酒（特定名称酒）	7.4%	7.4%	46.9%	17.3%	1.7%	3.5%	10.4%	1.7%	0.2%	3.5%
清酒（特定名称酒を除く）	32.3%	15.9%	16.9%	19.1%	2.1%	2.5%	8.1%	1.4%	0.6%	1.2%
単式蒸留焼酎	10.1%	5.2%	35.2%	39.7%	0.5%	4.2%	3.5%	0.9%	0.1%	0.4%
ビール・発泡酒	44.6%	15.1%	11.9%	6.3%	8.1%	5.6%	4.4%	1.1%	1.7%	1.2%
ウイスキー	1.5%	9.1%	36.9%	17.5%	3.9%	8.3%	3.2%	17.1%	0.8%	1.6%
日本ワイン	5.8%	22.2%	9.0%	33.2%	0.6%	11.0%	17.4%	0.3%	0.4%	0.1%
スピリッツ	0.4%	3.6%	45.4%	11.2%	13.7%	11.6%	3.8%	9.0%	0.5%	0.9%
リキュール	1.8%	21.2%	21.7%	29.0%	3.6%	6.9%	13.3%	0.8%	0.2%	1.5%
合計	12.9%	10.8%	33.4%	16.8%	4.2%	6.0%	6.9%	6.2%	0.7%	2.0%

（注） 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュールには新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

ハ 品目別の輸出状況

品目別に輸出数量及び輸出金額が多い上位 10 か国（地域）を集計したものが表 17 及び表 18 である。輸出金額全体に占める割合が高い品目である清酒及びウイスキーについては、輸出数量及び輸出金額ともに、アメリカ合衆国向けが最大となった。また、輸出数量及び輸出金額から、地域圏別、輸出先国（地域）別に、品目ごとの平均取引単価を算出すると、表 19 及び表 20 のとおりとなる。

表 17 品目別の輸出数量上位 10 か国（地域）

品目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
清酒（特定名称酒）	アメリカ合衆国 6,598	中華人民共和国 2,439	大韓民国 1,167	香港 877	台湾 812	カナダ 724	シンガポール 362	オーストラリア 303	ドイツ 277	フランス 220
清酒（特定名称酒を除く）	大韓民国 2,193	台湾 1,660	中華人民共和国 1,018	アメリカ合衆国 465	香港 400	タイ 303	ベトナム 250	イタリア 191	ドイツ 159	シンガポール 131
単式蒸留焼酎	中華人民共和国 720	アメリカ合衆国 661	大韓民国 260	タイ 165	台湾 102	シンガポール 102	ベトナム 71	香港 68	フィリピン 28	アジア不明 19
ビール・発泡酒	大韓民国 48,681	台湾 14,114	オーストラリア 7,230	アメリカ合衆国 6,116	シンガポール 3,923	中華人民共和国 3,145	香港 2,024	ロシア 1,769	ニュージーランド 1,405	カナダ 983
ウイスキー	アメリカ合衆国 1,869	フランス 1,338	台湾 1,039	オランダ 746	中華人民共和国 731	シンガポール 466	大韓民国 214	ベトナム 207	オーストラリア 197	タイ 154
日本ワイン	中華人民共和国 20	西欧不明 9	台湾 8	香港 7	アジア不明 6	タイ 4	英国 4	ベトナム 3	アメリカ合衆国 3	大韓民国 2
スピリッツ	オランダ 835	アメリカ合衆国 741	シンガポール 311	オーストラリア 255	香港 221	英国 160	フランス 140	アフリカ 130	中華人民共和国 121	西欧その他 101
リキュール	中華人民共和国 1,536	アメリカ合衆国 1,128	台湾 938	香港 651	大韓民国 538	シンガポール 327	オーストラリア 156	タイ 105	ベトナム 95	マレーシア 74

（注） 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュールには新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

表 18 品目別の輸出金額上位 10 か国（地域）

品目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
清酒（特定名称酒）	百万円 アメリカ合衆国 7,260	百万円 中華人民共和国 2,684	百万円 香港 1,613	百万円 大韓民国 1,150	百万円 台湾 1,148	百万円 カナダ 546	百万円 シンガポール 543	百万円 オーストラリア 261	百万円 フランス 256	百万円 英国 247
清酒（特定名称酒を除く）	大韓民国 709	中華人民共和国 418	アメリカ合衆国 371	台湾 348	香港 178	ベトナム 91	タイ 70	英国 58	マレーシア 57	シンガポール 54
単式蒸留焼酎	中華人民共和国 518	アメリカ合衆国 459	大韓民国 132	タイ 107	台湾 68	ベトナム 56	シンガポール 55	香港 46	アジア不明 32	フィリピン 22
ビール・発泡酒	大韓民国 4,078	台湾 1,378	アメリカ合衆国 1,090	オーストラリア 745	中華人民共和国 574	シンガポール 510	香港 407	ロシア 156	ニュージーランド 134	カナダ 110
ウイスキー	アメリカ合衆国 5,303	中華人民共和国 2,516	オランダ 2,479	フランス 2,447	台湾 1,308	シンガポール 1,195	オーストラリア 557	香港 463	カナダ 235	英国 230
日本ワイン	中華人民共和国 23	台湾 15	香港 12	アジア不明 11	西欧不明 10	シンガポール 8	アメリカ合衆国 6	タイ 6	ベトナム 5	大韓民国 4
スピリッツ	アメリカ合衆国 1,057	オランダ 1,004	オーストラリア 319	シンガポール 270	中華人民共和国 261	フランス 209	英国 176	アフリカ 94	香港 89	台湾 83
リキュール	中華人民共和国 1,356	アメリカ合衆国 1,015	台湾 990	香港 620	シンガポール 324	オーストラリア 166	ベトナム 109	マレーシア 96	タイ 89	大韓民国 84

（注） 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュールには新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

表 19 輸出地域圏別の 1 L 当たり平均取引単価

品目	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	アフリカ	中東	全世界平均
	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L
清酒（特定名称酒）	1,284	1,068	890	925	1,015	913	631	1,348	1,140
清酒（特定名称酒を除く）	325	794	755	326	233	475	440	459	361
単式蒸留焼酎	685	702	926	1,125	870	1,202	670	890	703
ビール・発泡酒	98	169	100	176	95	208	239	343	105
ウイスキー	2,071	2,831	2,982	2,473	802	1,515	1,124	2,268	2,354
日本ワイン	1,620	2,057	1,769	1,115	2,625	1,458	3,285	2,640	1,560
スピリッツ	1,090	1,383	1,252	1,185	918	412	718	3,553	1,192
リキュール	863	910	1,010	1,164	1,209	1,734	809	1,224	889

(注) 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュールには新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

表 20 輸出先国（地域）別の 1 L 当たり平均取引単価（輸出数量上位 10 か国）

品目	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国	オーストラリア	シンガポール	香港	フランス	ロシア	カナダ
	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L	円/L
清酒（特定名称酒）	985	1,414	1,100	1,100	863	1,498	1,839	1,166	1,162	754
清酒（特定名称酒を除く）	323	209	798	411	1,056	412	445	495	272	740
単式蒸留焼酎	509	662	695	720	844	544	680	1,163	985	754
ビール・発泡酒	84	98	178	183	103	130	201	193	88	112
ウイスキー	1,011	1,259	2,837	3,442	2,826	2,564	3,688	1,828	764	2,377
日本ワイン	1,677	1,945	2,173	1,147	2,120	3,177	1,753	434	4,400	3,103
スピリッツ	4,205	2,403	1,426	2,163	1,249	869	404	1,492	908	524
リキュール	156	1,056	900	883	1,064	992	952	1,052	1,015	1,050

(注) 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュールには新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

二 清酒の輸出に占める特定名称酒の割合

特定名称酒及び特定名称酒以外の清酒について、それぞれ輸出数量及び輸出金額に占める割合を算出したものが図6である。輸出される特定名称酒については、数量及び金額ともに特定名称酒以外の清酒よりも多く、それぞれ 66.2%、86.1%を占めている。

特定名称酒及び特定名称酒以外の清酒について、輸出先地域圏別及び輸出先国（地域）別に、それぞれ輸出数量及び輸出金額に占める割合を算出したものが図7である。ほとんどの地域圏について、輸出金額に占める特定名称酒の割合が高くなっている。特に北米向けについては、特定名称酒が占める割合が輸出数量及び輸出金額ともに、9割を超えている。

図 6

清酒の輸出に占める特定名称酒の割合

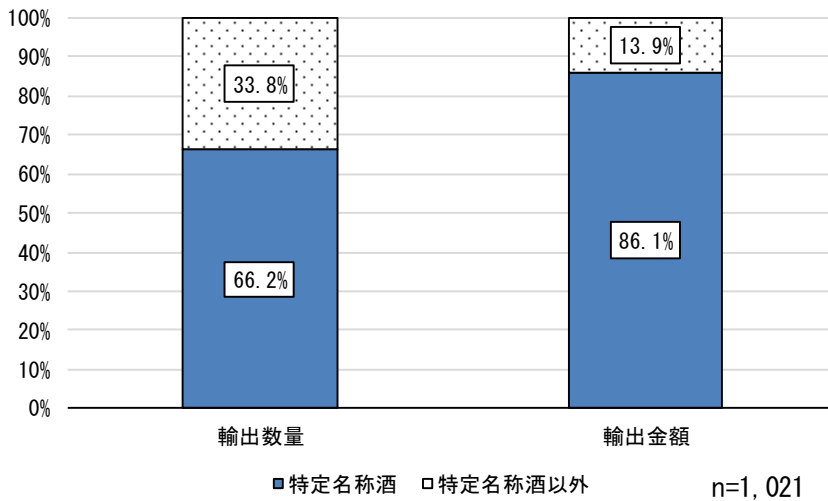
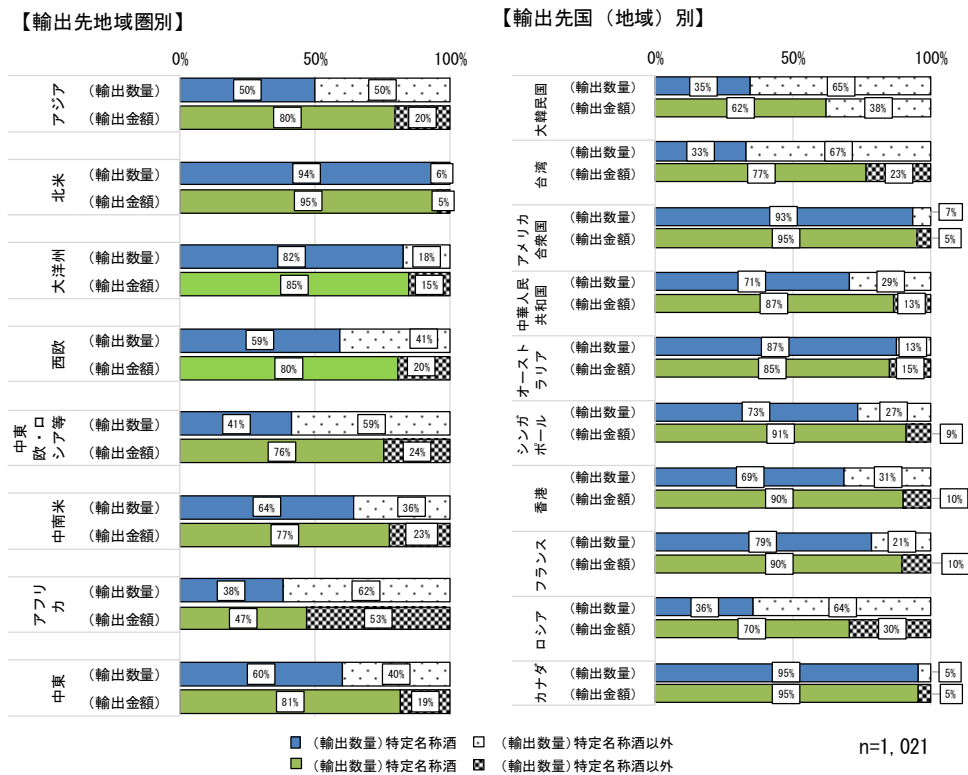


図 7

清酒の輸出に占める特定名称酒の割合（輸出先別）



(注) 輸出先国（地域）には、酒類の輸出数量が多い上位 10 か国を記載している。

ホ 都道府県別の輸出先国（地域）の比較

都道府県ごとに、輸出数量、輸出金額、主な輸出品目及び主な輸出先国（地域）を集計したものが表 21 である。主要品目の輸出先国（地域）として、アメリカ合衆国向けの輸出数量が最大となる都道府県の数最も多かった。

表 21 都道府県別の酒類の輸出状況

局所名	都道府県別	輸出事業者数	輸出数量 千	輸出金額 百万円	輸出数量上位3品目			主要品目の主な輸出先国(地域)		
					1	2	3	1	2	3
札幌	北海道	28	644	569	清酒	発泡酒	リキュール	中華人民共和国	アメリカ合衆国	シンガポール
仙台	青森	7	136	109	清酒	果実酒	リキュール	大韓民国	アメリカ合衆国	中華人民共和国
	岩手	16	427	177	清酒	ビール	リキュール	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	中華人民共和国
	宮城	19	100	288	清酒	リキュール	ビール	アメリカ合衆国	香港	シンガポール
	秋田	25	317	373	清酒	リキュール	ビール	アメリカ合衆国	大韓民国	中華人民共和国
	山形	37	325	448	清酒	リキュール	果実酒	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	イタリヤ
	福島	24	198	296	清酒	ウイスキー	リキュール	アメリカ合衆国	フランス	西欧その他
	計	128	1,503	1,691	清酒	リキュール	ウイスキー	アメリカ合衆国	台湾	大韓民国
関東信越	茨城	14	1,065	454	ビール	清酒	発泡酒	アメリカ合衆国	西欧その他	英国
	栃木	21	559	213	清酒	ウイスキー	リキュール	大韓民国	シンガポール	アメリカ合衆国
	群馬	7	88	61	ビール	清酒	リキュール	アメリカ合衆国	香港	タイ
	埼玉	17	1,212	1,053	清酒	ビール	ウイスキー	大韓民国	中華人民共和国	フランス
	新潟	61	2,439	1,849	清酒	ビール	ウイスキー	大韓民国	アメリカ合衆国	中華人民共和国
	長野	35	562	610	リキュール	清酒	ビール	香港	アメリカ合衆国	台湾
	計	155	5,926	4,240	清酒	ビール	リキュール	アメリカ合衆国	大韓民国	香港
東京	千葉	19	1,266	1,005	ビール	リキュール	清酒	アメリカ合衆国	アジア不明	西欧その他
	東京	92	101,927	30,358	ビール	ウイスキー	リキュール	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国
	神奈川	19	1,135	1,000	清酒	みりん	合成清酒	アメリカ合衆国	中華人民共和国	フランス
	山梨	19	86	104	清酒	果実酒	リキュール	タイ	ベトナム	中華人民共和国
	計	149	104,414	32,467	ビール	ウイスキー	リキュール	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国
金沢	富山	10	191	129	清酒	単式蒸留焼酎	みりん	大韓民国	中華人民共和国	台湾
	石川	17	150	197	清酒	リキュール	ビール	アメリカ合衆国	中華人民共和国	カナダ
	福井	16	209	397	清酒	リキュール	ビール	中華人民共和国	アメリカ合衆国	香港
	計	43	550	723	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	大韓民国	中華人民共和国	アメリカ合衆国
名古屋	岐阜	23	125	118	清酒	ウイスキー	リキュール	大韓民国	アメリカ合衆国	中華人民共和国
	静岡	14	402	398	清酒	ビール	リキュール	アメリカ合衆国	大韓民国	アメリカ合衆国
	愛知	29	926	1,308	清酒	リキュール	合成清酒	中華人民共和国	香港	大韓民国
	三重	13	42	60	清酒	リキュール	ビール	香港	中華人民共和国	大韓民国
	計	79	1,494	1,884	清酒	リキュール	合成清酒	中華人民共和国	アメリカ合衆国	大韓民国
大阪	滋賀	17	66	87	清酒	リキュール	ブランデー	アメリカ合衆国	大韓民国	中華人民共和国
	京都	25	4,016	2,304	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	アメリカ合衆国	台湾	大韓民国
	大阪	43	3,550	5,594	リキュール	ウイスキー	清酒	中華人民共和国	アメリカ合衆国	台湾
	兵庫	44	10,838	5,656	清酒	ウイスキー	ビール	アメリカ合衆国	中華人民共和国	台湾
	奈良	15	807	579	ブランデー	清酒	雑酒	アメリカ合衆国	中華人民共和国	台湾
	和歌山	14	290	280	リキュール	清酒	ウイスキー	中華人民共和国	香港	台湾
	計	158	19,566	14,500	清酒	リキュール	ウイスキー	アメリカ合衆国	中華人民共和国	台湾
広島	鳥取	9	246	822	ウイスキー	清酒	リキュール	アメリカ合衆国	中華人民共和国	西欧その他
	島根	14	60	77	リキュール	清酒	ビール	台湾	アメリカ合衆国	中華人民共和国
	岡山	9	78	112	清酒	ビール	リキュール	アメリカ合衆国	中華人民共和国	アジア不明
	広島	26	1,115	578	リキュール	ウイスキー	清酒	大韓民国	中華人民共和国	フランス
	山口	19	381	1,082	清酒	ビール	リキュール	アメリカ合衆国	台湾	香港
	計	77	1,880	2,670	リキュール	清酒	ウイスキー	大韓民国	中華人民共和国	アメリカ合衆国
高松	徳島	7	57	61	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	アメリカ合衆国	中華人民共和国	台湾
	香川	3	24	54	清酒	ビール	リキュール	中華人民共和国	大韓民国	アメリカ合衆国
	愛媛	17	46	88	リキュール	清酒	単式蒸留焼酎	台湾	タイ	ロシア
	高知	11	112	126	清酒	リキュール	スピリッツ	アメリカ合衆国	フランス	大韓民国
	計	38	239	328	清酒	リキュール	スピリッツ	アメリカ合衆国	台湾	大韓民国
福岡	福岡	32	791	1,167	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	中華人民共和国	アメリカ合衆国	大韓民国
	佐賀	15	117	141	清酒	単式蒸留焼酎	リキュール	アメリカ合衆国	中華人民共和国	大韓民国
	長崎	11	46	41	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	中華人民共和国	香港	台湾
	計	58	954	1,350	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	中華人民共和国	アメリカ合衆国	大韓民国
熊本	熊本	18	300	306	リキュール	単式蒸留焼酎	清酒	アメリカ合衆国	中華人民共和国	台湾
	大分	21	170	145	清酒	単式蒸留焼酎	リキュール	アメリカ合衆国	ベトナム	中華人民共和国
	宮崎	16	36	31	単式蒸留焼酎	発泡酒	リキュール	台湾	アメリカ合衆国	香港
	鹿児島	41	947	718	単式蒸留焼酎	ウイスキー	みりん	中華人民共和国	アメリカ合衆国	大韓民国
	計	96	1,453	1,201	単式蒸留焼酎	ウイスキー	リキュール	アメリカ合衆国	中華人民共和国	台湾
沖縄	沖縄	25	4,006	833	ビール	発泡酒	リキュール	台湾	アメリカ合衆国	香港
全国計		1,034	142,628	62,456	ビール	清酒	リキュール	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国

(注) 1 「輸出数量上位3品目」は、輸出数量が多い上位3品目、「主要品目の主な輸出先国」は、清酒、単式蒸留焼酎、ビール・発泡酒、ウイスキー、日本ワイン、スピリッツ及びリキュールの総輸出量の輸出先国上位3か国を記載している。
 2 品目中スピリッツにはR T D商品が含まれない。また、リキュールには新ジャンル及びR T D商品が含まれない。

II 個別調査項目

1 清酒製造業

清酒の製造免許を有している製造業者について、酒類業実態調査の集計結果を清酒製造業として取りまとめたものである。

(1) 都道府県別の事業者数等

都道府県別に事業者数、売上数量及び売上金額を集計したものが表 22 である。国内の売上数量の上位 3 位は兵庫県、京都府、新潟県となっており、同 3 府県の売上数量を合計すると国内の売上数量の 49.9%となる。また、同 3 府県の売上金額は、国内の売上金額全体の 42.2%となる。

輸出については、輸出数量の上位 3 位は兵庫県、京都府、新潟県であり、同 3 府県の輸出数量を合計すると、国内の輸出数量の 68.5%となる。また、輸出売上金額は、輸出金額全体の上位 3 位は兵庫県、京都府、山口県であり、同 3 府県の輸出金額の合計は、国内の輸出金額全体の合計 48.9%となる。

表 22

都道府県別の事業者数及び取引状況

局所名	都道府県別	事業者数	国内		輸出	
			売上数量	売上金額	売上数量	売上金額
札幌	北海道	13	4,110	4,391	236	284
仙台	青森	16	4,678	4,130	98	79
	岩手	21	4,855	4,321	129	162
	宮城	26	8,152	7,756	55	167
	秋田	33	14,838	11,733	292	347
	山形	49	9,277	10,195	313	395
	福島	56	13,825	11,323	115	123
	計	201	55,625	49,459	1,003	1,272
関東信越	茨城	36	4,485	3,969	83	95
	栃木	31	8,119	4,963	434	183
	群馬	16	1,741	1,640	33	41
	埼玉	27	18,748	12,128	210	95
	新潟	85	40,345	37,481	1,264	967
	長野	75	10,163	9,382	170	209
	計	270	83,601	69,563	2,194	1,591
東京	千葉	26	12,901	5,767	133	106
	東京	11	1,512	1,613	84	61
	神奈川	9	655	802	1	1
	山梨	11	1,008	1,164	1	1
	計	57	16,077	9,345	218	169
金沢	富山	17	3,809	3,877	30	45
	石川	22	11,496	5,537	132	168
	福井	25	3,000	4,193	192	368
	計	64	18,305	13,608	353	581
名古屋	岐阜	42	3,231	3,262	104	78
	静岡	28	3,956	4,226	307	305
	愛知	32	11,910	7,117	412	202
	三重	29	2,239	2,583	31	54
	計	131	21,336	17,188	855	639
大阪	滋賀	29	3,298	2,306	43	65
	京都	35	64,804	36,566	3,225	1,875
	大阪	15	915	1,141	42	222
	兵庫	60	107,477	58,568	7,241	3,097
	奈良	30	4,098	2,765	374	196
	和歌山	11	3,235	1,946	54	38
	計	180	183,826	103,293	10,979	5,494
広島	鳥取	17	821	960	18	34
	島根	27	2,157	2,411	20	22
	岡山	36	2,494	2,444	54	51
	広島	38	8,771	7,344	155	185
	山口	32	7,982	14,599	368	1,059
	計	150	22,225	27,758	615	1,351
高松	徳島	15	437	436	27	28
	香川	4	1,057	975	15	19
	愛媛	33	1,649	1,782	19	46
	高知	17	5,098	4,565	97	102
	計	69	8,240	7,757	158	196
福岡	福岡	44	4,093	4,036	335	552
	佐賀	20	3,216	3,375	66	98
	長崎	12	1,095	1,041	4	6
	計	76	8,404	8,452	404	656
熊本	熊本	9	1,106	1,093	31	44
	大分	27	2,726	2,001	66	60
	宮崎	2	X	X	X	X
	鹿児島	2	X	X	X	X
	計	40	X	X	X	X
沖縄	沖縄	1	X	X	X	X
全国		1,252	425,761	314,106	17,113	12,341

(2) 清酒製造業の経営状況

清酒製造業に係る経営状況を集計したものが表 23 及び表 24 である。清酒製造業者の 51.2%が欠損又は低収益となっている。

また、いずれの企業区分においても、清酒製造業の 1 者平均の売上総利益及び営業利益はプラスであった。

表 23 清酒製造業の欠損及び低収益事業者数

区分	事業者数	割合
清酒製造業者	1,252	100.0%
欠損又は低収益事業者	641	51.2
欠 損	522	41.7
低 収 益	119	9.5

表 24 清酒製造業の経営状況（1 者平均）

項目	企業区分	合計			
		大企業	中小企業	個人事業者	
事業者数		1,252	1,203	44	
売上高	課税売上高	268	9,696	39	
	未納税売上高	19	490	2	
	その他	12	50	2	
	計	298	10,236	43	
売上原価	課税売上原価	160	5,408	22	
	未納税売上原価	12	333	2	
	その他	9	49	0	
	計	181	5,790	24	
売上総利益		117	4,446	20	
販売費及び一般管理費		97	4,320	17	
営業利益		20	127	3	

(3) 清酒製造業に係る従業員数及び製造責任者の状況

清酒製造業者の企業区分別の従業員数を集計したものが表 25 である。大企業ではその他の従業員数の割合が高くなっている一方、中小企業及び個人事業者については、

各部門ほぼ同数となっている。

清酒製造業者の製造責任者の構成割合を集計したものが図8である。代表者親族又は社員杜氏が製造責任者である事業者がそれぞれ46.6%、42.7%となっており、杜氏制については、10.6%であった。また、製造責任者について、企業区分別に集計すると表26のとおりとなる。

表 25 清酒製造業の企業区分別の従業員数（1者平均）

企業区分	部門 事業者数	合計	部門		
			製造部門	詰口部門	その他
大企業	5	193人	41人	54人	98人
中小企業	1,203	13	4	4	4
個人事業者	44	4	2	1	1

図 8 清酒製造業の製造責任者の構成割合

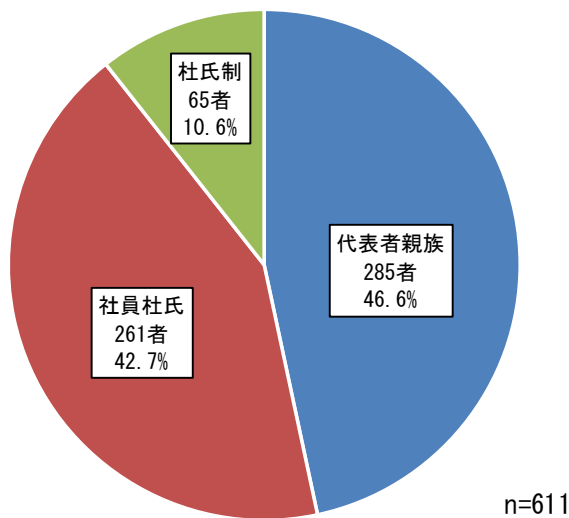


表 26 清酒製造業の企業区分別の製造責任者

企業区分	責任者 合計	責任者		
		代表者親族	杜氏制	社員杜氏
大企業	3人	1人	—	2人
中小企業	588	267	65	256
個人事業者	20	17	—	3

(4) 清酒の課税移出数量の地域別内訳

清酒の課税移出数量について、移出先ごとに集計したものが表 27 である。47 都道府県中 30 都道府県が、課税移出数量の 50%以上を自都道府県内に移出している。

表 27

都道府県別の清酒の課税移出数量

局所名	都道府県別	事業者数	地域別			課税移出 数量合計	地域別割合		
			自県	自局	他局		自県	自局	他局
札幌	北海道	12	3,612	—	579	4,191	86.2	—	13.8
仙台	青森	15	2,641	207	937	3,785	69.8	5.5	24.8
	岩手	20	3,089	193	888	4,170	74.1	4.6	21.3
	宮城	26	3,044	2,514	2,202	7,761	39.2	32.4	28.4
	秋田	32	5,468	2,895	9,214	17,578	31.1	16.5	52.4
	山形	49	3,725	698	4,579	9,003	41.4	7.8	50.9
	福島	55	5,843	873	5,731	12,448	46.9	7.0	46.0
	計	197	23,811	7,382	23,553	54,745	43.5	13.5	43.0
関東信越	茨城	33	1,604	163	1,158	2,925	54.8	5.6	39.6
	栃木	29	1,808	1,523	3,961	7,291	24.8	20.9	54.3
	群馬	16	1,274	77	290	1,641	77.7	4.7	17.7
	埼玉	26	3,971	1,317	14,588	19,876	20.0	6.6	73.4
	新潟	84	20,325	4,338	13,457	38,120	53.3	11.4	35.3
	長野	74	6,420	249	3,257	9,926	64.7	2.5	32.8
	計	262	35,401	7,666	36,711	79,779	44.4	9.6	46.0
東京	千葉	23	1,783	3,738	5,869	11,390	15.7	32.8	51.5
	東京	8	1,275	96	210	1,581	80.6	6.1	13.3
	神奈川	8	429	175	67	671	63.9	26.1	10.0
	山梨	11	630	263	132	1,025	61.5	25.6	12.9
	計	50	4,117	4,273	6,278	14,667	28.1	29.1	42.8
金沢	富山	16	2,446	691	800	3,937	62.1	17.6	20.3
	石川	21	2,855	225	1,975	5,055	56.5	4.5	39.1
	福井	23	1,340	59	1,470	2,869	46.7	2.1	51.2
	計	60	6,641	976	4,245	11,862	56.0	8.2	35.8
名古屋	岐阜	40	2,107	835	1,734	4,676	45.1	17.9	37.1
	静岡	26	2,225	93	1,086	3,403	65.4	2.7	31.9
	愛知	32	4,925	1,345	6,115	12,385	39.8	10.9	49.4
	三重	29	1,101	228	896	2,225	49.5	10.3	40.3
	計	127	10,359	2,501	9,831	22,690	45.7	11.0	43.3
大阪	滋賀	27	1,063	256	369	1,688	63.0	15.2	21.9
	京都	33	2,993	9,660	48,743	61,396	4.9	15.7	79.4
	大阪	14	707	107	77	891	79.3	12.1	8.6
	兵庫	55	20,792	18,931	75,853	115,576	18.0	16.4	65.6
	奈良	29	849	927	826	2,602	32.6	35.6	31.8
	和歌山	11	972	430	697	2,100	46.3	20.5	33.2
	計	169	27,376	30,311	126,566	184,252	14.9	16.5	68.7
広島	鳥取	17	528	41	236	805	65.5	5.1	29.3
	島根	26	1,304	167	603	2,074	62.9	8.1	29.1
	岡山	36	1,507	121	1,010	2,638	57.1	4.6	38.3
	広島	35	5,585	227	3,082	8,894	62.8	2.5	34.7
	山口	32	1,449	419	4,771	6,639	21.8	6.3	71.9
	計	146	10,374	975	9,702	21,051	49.3	4.6	46.1
高松	徳島	15	361	33	51	444	81.2	7.4	11.4
	香川	4	679	101	251	1,032	65.8	9.8	24.4
	愛媛	32	1,178	232	320	1,730	68.1	13.4	18.5
	高知	17	1,832	490	2,765	5,086	36.0	9.6	54.4
	計	68	4,049	856	3,386	8,292	48.8	10.3	40.8
福岡	福岡	40	2,766	125	1,250	4,140	66.8	3.0	30.2
	佐賀	20	2,013	351	735	3,099	64.9	11.3	23.7
	長崎	12	833	159	111	1,103	75.5	14.4	10.0
	計	72	5,611	635	2,096	8,342	67.3	7.6	25.1
熊本	熊本	9	833	29	250	1,113	74.9	2.6	22.5
	大分	27	1,466	104	873	2,443	60.0	4.3	35.7
	宮崎	2	X	X	X	X	X	X	X
	鹿児島	1	X	X	X	X	X	X	X
	計	39	X	X	X	X	X	X	
沖縄	沖縄	1	X	X	X	X	X	X	
全国		1,203	133,815	55,714	224,075	413,604	32.4	13.5	54.2

(5) 清酒の未納稅取引の状況

企業区分別に、未納稅移出数量及び未納稅移出先取引先数を集計したものが表 28、未納稅移入について集計したものが表 29 である。中小企業では、未納稅移出を行っている事業者数が未納稅移入を行っている事業者数よりも多いが、個人事業者では、未納稅移入を行っている事業者数が、未納稅移出を行っている事業者数よりも多い結果となった。

表 28 企業区分別の清酒の未納稅移出（自社間除く。）数量及び取引先数

企業区分	事業者数	未納稅移出製造者数	未納稅移出取引先数 (1 者平均)	未納稅移出数量 (全体合計)
大企業	5 ^者	4 ^者	37 ^者	5,508 ^{kl}
中小企業	1,203	555	5	75,651
個人事業者	44	8	2	224

表 29 企業区分別の清酒の未納稅移入（自社間除く。）数量及び取引先数

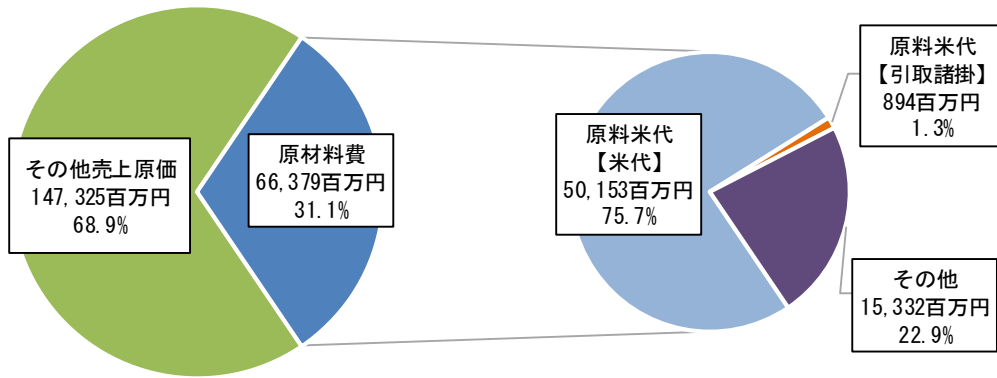
企業区分	事業者数	未納稅移入製造者数	未納稅移入取引先数 (1 者平均)	未納稅移入数量 (全体合計)
大企業	5 ^者	4 ^者	8 ^者	15,068 ^{kl}
中小企業	1,203	417	1	52,175
個人事業者	44	18	3	66

(6) 清酒の原材料費

清酒の製造原価を集計したものが図 9 である。清酒の生産費等製造原価のうち、原材料費が占める割合は 31.1% となり、原材料費のうち原料米代が占める割合は 75.7% となった。また、課稅移出数量規模別に、原材料費等を集計したものが表 30 である。課稅移出数量が 5,000kl 以下の事業者では、売上原価に占める原料米代の比率がおおむね 25% を超えている一方、課稅移出数量が 5,000kl を超 10,000kl 以下の事業者においては 22.0%、課稅移出数量が 10,000kl を超える事業者においては 15.0% となっている。

図 9

清酒原材料費の構成割合



n=1,020

表 30

課税移出数量規模別の清酒の原料米代（1者平均）

課税移出数量規模	事業者数	売上高	売上原価	原材料費	原料米代		
					米代	引取諸掛	
	者	千円	千円	千円	千円	千円	千円
100k l 以下	599	64,129	37,445	15,374	12,232	11,920	312
100k l 超 500k l 以下	325	288,982	162,932	56,407	44,350	43,244	1,106
500k l 超 1,000k l 以下	47	778,813	440,362	147,280	109,034	106,992	2,042
1,000k l 超 5,000k l 以下	39	2,050,784	1,289,303	417,125	338,049	333,840	4,209
5,000k l 超 10,000k l 以下	4	3,837,507	2,830,696	857,322	625,529	622,747	2,782
10,000k l 超	6	17,234,820	9,336,660	2,114,956	1,415,877	1,403,219	12,658
合計	1,020	360,467	209,515	65,540	50,046	49,170	876

2 単式蒸留焼酎製造業

単式蒸留焼酎の製造免許を有している製造業者について、酒類業実態調査の集計結果を単式蒸留焼酎製造業として取りまとめたものである。

(1) 単式蒸留焼酎製造業の経営状況

単式蒸留焼酎製造業に係る経営状況を集計したものが、表 31 及び表 32 である。単式蒸留焼酎製造業者の 50.8%が欠損又は低収益となっている。

表 31 単式蒸留焼酎製造業の欠損及び低収益事業者数

区分	事業者数	割合
単式蒸留焼酎製造業者	622	100.0%
欠損又は低収益事業者	316	50.8
欠 損	278	44.7
低 収 益	38	6.1

表 32 単式蒸留焼酎製造業の経営状況（1者平均）

項目		企業区分			
		全体	大企業	中小企業	個人事業者
事業者数		622	9	601	12
売上高	課税売上高	470	6,120	394	33
	未納税売上高	22	21	22	0
	その他	12	—	13	—
	計	504	6,141	429	33
売上原価	課税売上原価	293	3,071	257	6
	未納税売上原価	14	16	14	0
	その他	9	—	9	—
	計	316	3,087	281	6
売上総利益		188	3,054	148	27
販売費及び一般管理費		122	1,189	108	9
営業利益		66	1,865	40	18

(2) 単式蒸留焼酎製造業に係る従業員数及び製造責任者の状況

単式蒸留焼酎製造業者の企業区分別の従業員数を集計したものが表 33 である。大企業では、製造部門及び詰口部門の従業員の割合が高くなっている一方、中小企業及び個人事業者については、各部門がほぼ同数となっている。

単式蒸留焼酎製造業者の製造責任者の構成割合を集計したものが図 10 である。単式蒸留焼酎製造業では、社員杜氏が製造責任者となっている割合が 64.5%と最も高く、次いで代表者親族が 30.1%となっている。また、製造責任者について企業区分別に集計すると表 34 のとおりとなる。

表 33 単式蒸留焼酎製造業の企業区分別の従業員数（1 者平均）

企業区分	部門	事業者数	合計			
			製造部門	詰口部門	その他	
大企業		9	28人	12人	16人	1人
中小企業		601	12	4	4	4
個人事業者		12	4	1	1	1

図 10 単式蒸留焼酎製造業の製造責任者の構成割合

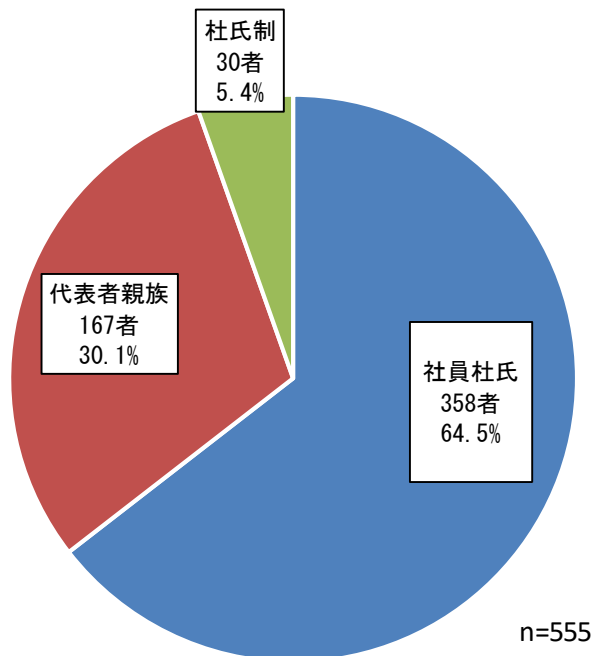


表 34 単式蒸留焼酎製造業の企業区分別の製造責任者

企業区分	責任者			
	合計	代表者親族	杜氏制	社員杜氏
大企業	7 者	1 者	— 者	6 者
中小企業	536	159	30	347
個人事業者	12	7	—	5

(3) 単式蒸留焼酎の未納税取引の状況

企業区分別に、未納税移出数量及び未納税移出先取引先数を集計したものが表 35、未納税移入について集計したものが表 36 である。中小企業においては、未納税移出を行っている製造業者数が、未納税移入を行っている製造業者数よりも高い結果となった。

表 35 企業区分別の単式蒸留焼酎の未納税移出（自社間除く。）数量及び取引先数（1者平均）

企業区分	事業者数	未納税移出製造者数	未納税移出取引先数 （1者平均）	未納税移出数量 （全体合計）
大企業	9 者	5 者	3 者	303 kl
中小企業	601	202	4	76,090
個人事業者	12	2	2	8

表 36 企業区分別の単式蒸留焼酎の未納税移入（自社間除く。）数量及び取引先数（1者平均）

企業区分	事業者数	未納税移入製造者数	未納税移入取引先数 （1者平均）	未納税移入数量 （全体合計）
大企業	9 者	5 者	6 者	5,252 kl
中小企業	601	168	2	63,482
個人事業者	12	—	—	—

(4) 単式蒸留焼酎の原材料別製成数量、売上数量及び売上金額

単式蒸留焼酎の原材料別に製成数量を集計したものが図 11、原材料別に国内の売上数量を集計したものが図 12、売上金額を集計したものが図 13 である。製成数量については、原材料のうち、芋と麦が占める割合が大きく、それぞれ 45.2%と 39.9%となっている。

国内の売上数量及び売上金額についても製成数量と同様、芋と麦の占める割合が大きく、芋については国内取引数量及び金額のそれぞれ 41.5%と 44.9%を、麦についてはそれぞれ 38.7%と 37.0%を占めている。

図 11

単式蒸留焼酎の原材料別製成数量

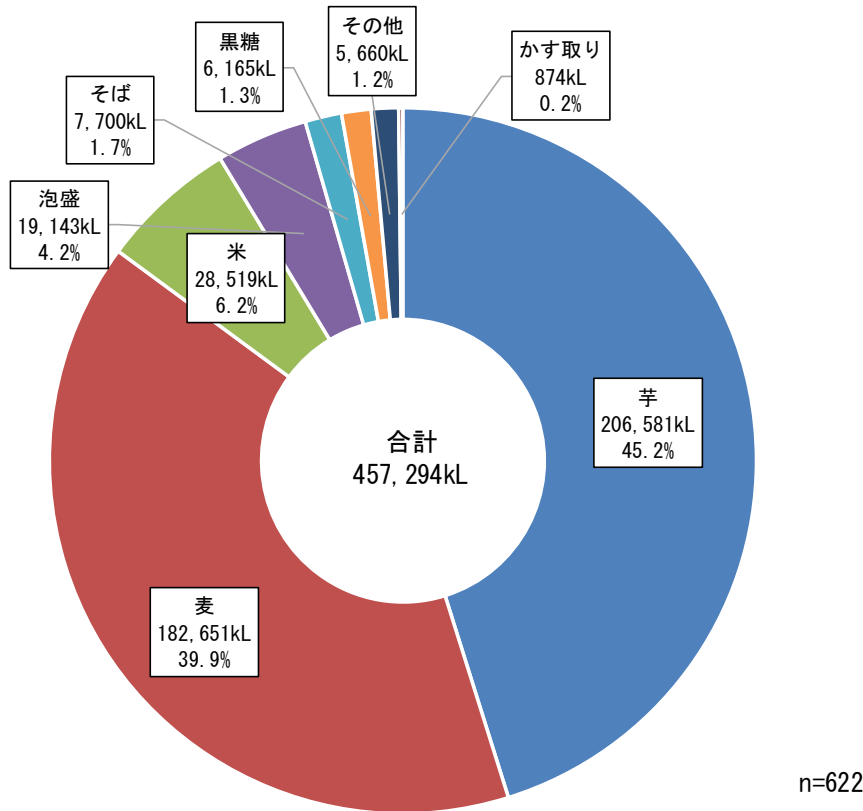


図 12

単式蒸留焼酎の原材料別売上数量

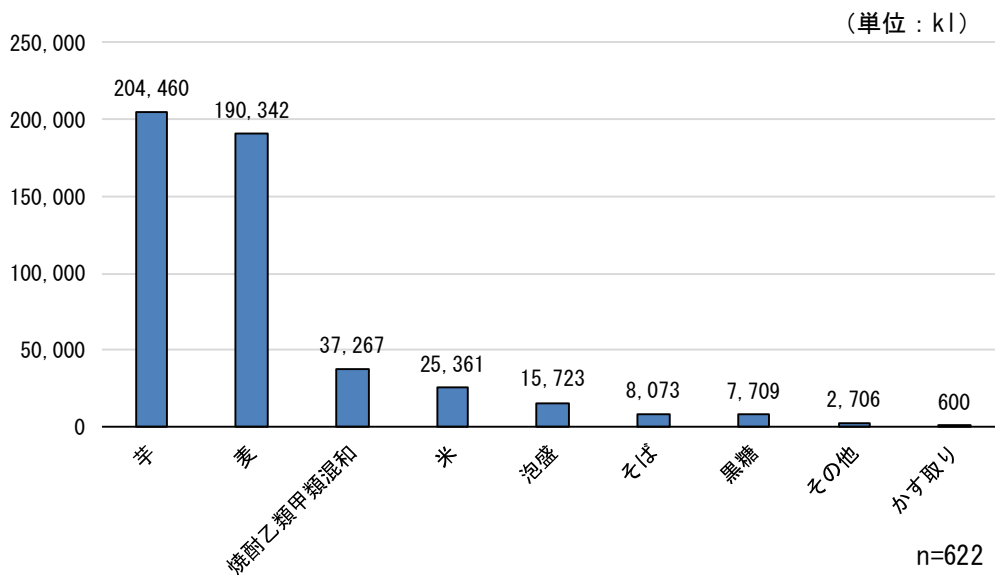
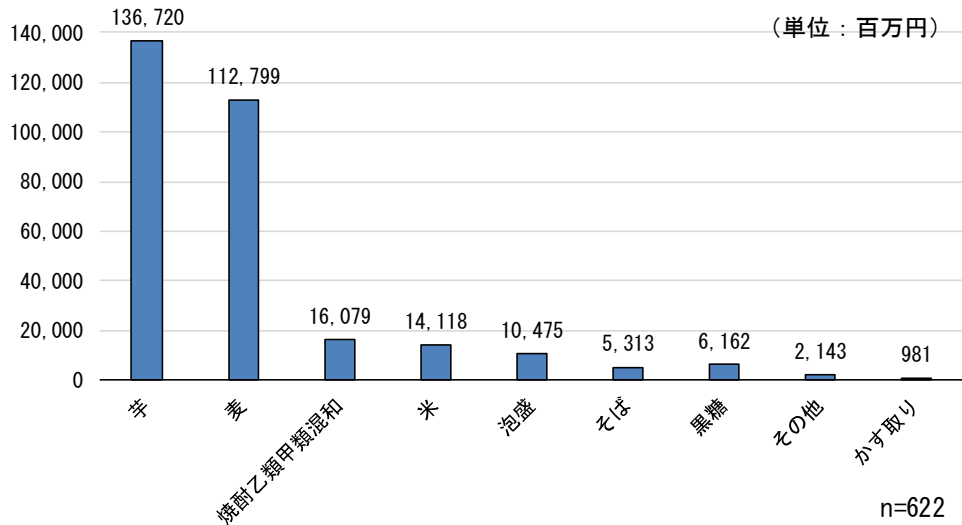


図 13 単式蒸留焼酎の原材料別売上金額



(5) 単式蒸留焼酎の原材料別輸出数量及び輸出金額

単式蒸留焼酎の原材料別に輸出数量を集計したものが図 14、輸出金額を集計したものが図 15 である。輸出数量及び金額については、芋、米及び麦を原材料とする単式蒸留焼酎の割合が高く、それぞれ輸出数量全体の 26.6%、23.7%、23.3%となっている。

輸出金額についても、芋、米及び麦を原材料とするものの割合が高く、それぞれ単式蒸留焼酎の輸出金額全体の、32.6%、20.4%、27.5%を占めている。

図 14 単式蒸留焼酎の原材料別輸出数量

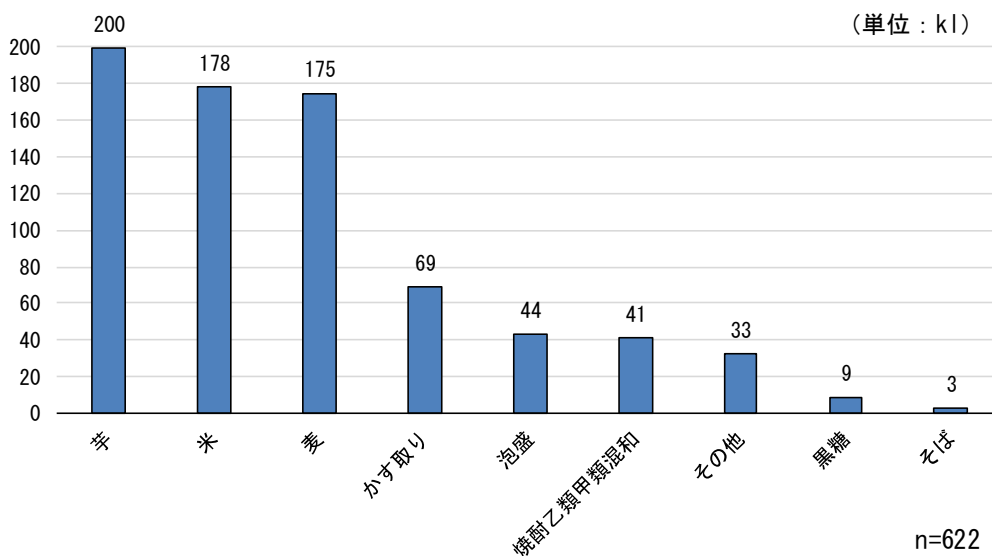
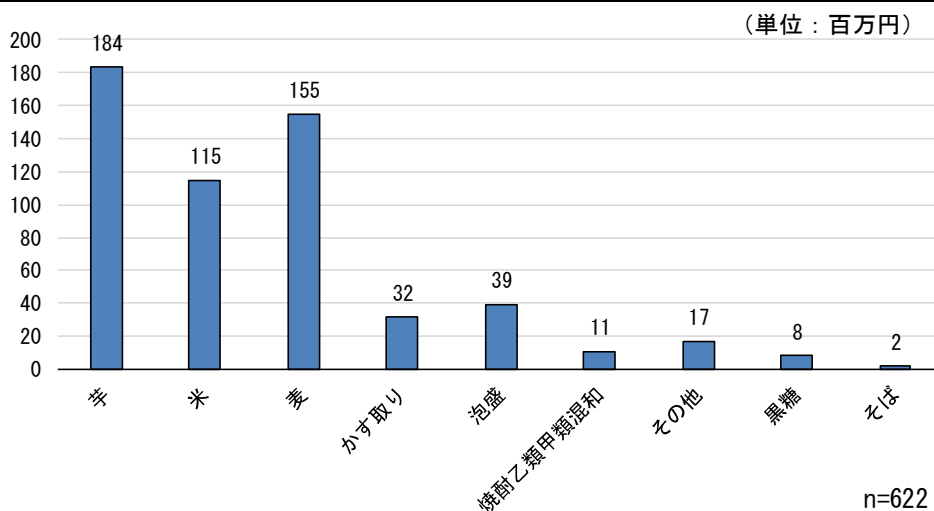


図 15 単式蒸留焼酎の原材料別輸出金額



(6) 九州地方における単式蒸留焼酎の原料別製成数量等

九州地方における単式蒸留焼酎の原料別製成数量を集計したものが表 37、国内売上数量及び売上金額を集計したものが表 38、輸出数量及び輸出金額を集計したものが表 39 である。売上数量及び金額が最も多い芋を主原料にした焼酎については、製成数量、国内売上数量及び金額が最も多いのは宮崎県であり、輸出数量及び輸出金額について最も多いのは鹿児島県となった。

表 37 九州地方における単式蒸留焼酎の主要原料別製成数量

地域	県	事業者数	芋	米	麦	そば	黒糖	かす取り	泡盛	その他	合計
九州	福岡	32	87	374	8,213	-	-	153	-	282	9,108
	佐賀	9	-	51	2,422	-	-	X	-	X	2,528
	長崎	20	143	22	924	-	-	1	-	18	1,109
	熊本	32	447	18,618	729	X	-	X	-	X	19,813
	大分	31	34	550	63,452	X	-	9	-	X	64,093
	宮崎	32	127,378	602	13,123	5,310	-	-	-	2,674	149,086
	鹿児島	100	72,041	4,196	41,018	-	6,165	-	X	X	123,522
	計	256	200,130	24,412	129,881	5,373	6,165	196	X	X	369,260
沖縄	沖縄	44	X	-	-	-	-	-	19,053	X	19,416
その他地域		66	X	4,107	52,770	2,327	-	678	X	2,303	68,618
合計		622	206,581	28,519	182,651	7,700	6,165	874	19,143	5,660	457,294

表 38 九州地方における単式蒸留焼酎の主要原料別売上数量及び売上金額

地域	県	事業者数	項目	芋	米	麦	そば	黒糖	かす取り	泡盛	その他	乙類甲類混和	合計	
九州	福岡	32	数量	267 _{kl}	221 _{kl}	5,882 _{kg}	7 _{kg}	- _{kg}	117 _{kg}	- _{kg}	663 _{kg}	590 _{kg}	7,747 _{kg}	
			金額	201 _{百万円}	79 _{百万円}	2,191 _{百万円}	1 _{百万円}	- _{百万円}	58 _{百万円}	- _{百万円}	398 _{百万円}	132 _{百万円}	- _{百万円}	3,060 _{百万円}
	佐賀	9	数量	1,270 _{kl}	32 _{kl}	2,872 _{kg}	X	- _{kg}	21 _{kg}	- _{kg}	8 _{kg}	- _{kg}	X	4,509 _{kg}
			金額	999 _{百万円}	29 _{百万円}	1,553 _{百万円}	X	- _{百万円}	23 _{百万円}	- _{百万円}	13 _{百万円}	- _{百万円}	X	2,750 _{百万円}
	長崎	20	数量	175 _{kl}	19 _{kl}	1,064 _{kg}	1 _{kg}	- _{kg}	2 _{kg}	- _{kg}	35 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	1,296 _{kg}
			金額	189 _{百万円}	16 _{百万円}	994 _{百万円}	1 _{百万円}	- _{百万円}	3 _{百万円}	- _{百万円}	40 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	1,243 _{百万円}
	熊本	32	数量	515 _{kl}	17,762 _{kl}	875 _{kg}	X	- _{kg}	X	- _{kg}	4 _{kg}	- _{kg}	X	19,346 _{kg}
			金額	473 _{百万円}	10,072 _{百万円}	302 _{百万円}	X	- _{百万円}	X	- _{百万円}	6 _{百万円}	- _{百万円}	X	10,948 _{百万円}
	大分	31	数量	206 _{kl}	584 _{kl}	86,952 _{kg}	56 _{kg}	- _{kg}	4 _{kg}	- _{kg}	2 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	87,804 _{kg}
			金額	182 _{百万円}	232 _{百万円}	61,378 _{百万円}	14 _{百万円}	- _{百万円}	4 _{百万円}	- _{百万円}	2 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	61,813 _{百万円}
宮崎	32	数量	109,412 _{kl}	667 _{kl}	12,674 _{kg}	5,472 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	542 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	128,768 _{kg}	
		金額	75,170 _{百万円}	378 _{百万円}	8,583 _{百万円}	3,755 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	283 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	88,168 _{百万円}	
鹿児島	100	数量	82,663 _{kl}	2,958 _{kl}	43,391 _{kg}	256 _{kg}	7,709 _{kg}	X	X	- _{kg}	556 _{kg}	X	137,551 _{kg}	
		金額	51,712 _{百万円}	1,217 _{百万円}	16,701 _{百万円}	101 _{百万円}	6,162 _{百万円}	X	X	- _{百万円}	438 _{百万円}	X	76,344 _{百万円}	
計	256	数量	194,509 _{kl}	22,243 _{kl}	153,711 _{kg}	5,808 _{kg}	7,709 _{kg}	153 _{kg}	- _{kg}	1,810 _{kg}	1,078 _{kg}	X	387,022 _{kg}	
		金額	128,927 _{百万円}	12,023 _{百万円}	91,702 _{百万円}	3,890 _{百万円}	6,162 _{百万円}	104 _{百万円}	- _{百万円}	1,180 _{百万円}	340 _{百万円}	X	244,327 _{百万円}	
沖縄	沖縄	44	数量	9 _{kl}	- _{kl}	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	15,677 _{kg}	X	- _{kg}	X	
			金額	11 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	10,429 _{百万円}	X	465 _{百万円}	X	
その他地域	66	数量	9,941 _{kl}	3,118 _{kl}	36,632 _{kg}	2,265 _{kg}	X	447 _{kg}	46 _{kg}	894 _{kg}	36,189 _{kg}	X		
		金額	7,783 _{百万円}	2,095 _{百万円}	21,098 _{百万円}	1,424 _{百万円}	X	877 _{百万円}	45 _{百万円}	961 _{百万円}	15,274 _{百万円}	X		
合計	622	数量	204,460 _{kl}	25,361 _{kl}	190,342 _{kg}	8,073 _{kg}	X	600 _{kg}	15,723 _{kg}	X	37,267 _{kg}	X	492,241 _{kg}	
		金額	136,720 _{百万円}	14,118 _{百万円}	112,799 _{百万円}	5,313 _{百万円}	X	981 _{百万円}	10,475 _{百万円}	X	16,079 _{百万円}	X	304,792 _{百万円}	

表 39 九州地方における単式蒸留焼酎の主要原料別輸出数量及び輸出金額

地域	県	事業者数	項目	芋	米	麦	そば	黒糖	かす取り	泡盛	その他	乙類甲類混和	合計	
九州	福岡	32	数量	4 _{kl}	0 _{kl}	7 _{kg}	X	- _{kg}	X	- _{kg}	7 _{kg}	- _{kg}	X	
			金額	3 _{百万円}	0 _{百万円}	6 _{百万円}	X	- _{百万円}	X	- _{百万円}	5 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	X
	佐賀	9	数量	2 _{kl}	0 _{kl}	19 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	0 _{kg}	- _{kg}	X	X	36 _{kg}	
			金額	1 _{百万円}	0 _{百万円}	16 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	0 _{百万円}	- _{百万円}	X	X	25 _{百万円}	
	長崎	20	数量	0 _{kl}	0 _{kl}	1 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	X	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	X	
			金額	0 _{百万円}	0 _{百万円}	1 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	X	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	X
	熊本	32	数量	6 _{kl}	90 _{kl}	2 _{kg}	X	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	X	- _{kg}	99 _{kg}	
			金額	5 _{百万円}	84 _{百万円}	1 _{百万円}	X	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	X	- _{百万円}	90 _{百万円}
	大分	31	数量	5 _{kl}	- _{kl}	67 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	X	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	X	82 _{kg}
			金額	3 _{百万円}	- _{百万円}	48 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	X	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	X	53 _{百万円}
宮崎	32	数量	17 _{kl}	0 _{kl}	8 _{kg}	2 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	2 _{kg}	- _{kg}	29 _{kg}	
		金額	11 _{百万円}	0 _{百万円}	8 _{百万円}	2 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	2 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	23 _{百万円}
鹿児島	100	数量	129 _{kl}	80 _{kl}	44 _{kg}	X	9 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	X	- _{kg}	- _{kg}	263 _{kg}	
		金額	82 _{百万円}	21 _{百万円}	35 _{百万円}	X	8 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	X	- _{百万円}	- _{百万円}	146 _{百万円}	
計	256	数量	164 _{kl}	170 _{kl}	148 _{kg}	3 _{kg}	9 _{kg}	0 _{kg}	- _{kg}	24 _{kg}	10 _{kg}	X	529 _{kg}	
		金額	106 _{百万円}	105 _{百万円}	115 _{百万円}	2 _{百万円}	8 _{百万円}	0 _{百万円}	- _{百万円}	14 _{百万円}	2 _{百万円}	X	353 _{百万円}	
沖縄	沖縄	44	数量	- _{kl}	- _{kl}	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	42 _{kg}	- _{kg}	- _{kg}	42 _{kg}	
			金額	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	38 _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	- _{百万円}	38 _{百万円}
その他地域	66	数量	36 _{kl}	7 _{kl}	27 _{kg}	0 _{kg}	- _{kg}	69 _{kg}	X	8 _{kg}	X	X	180 _{kg}	
		金額	78 _{百万円}	10 _{百万円}	40 _{百万円}	0 _{百万円}	- _{百万円}	32 _{百万円}	X	3 _{百万円}	X	X	173 _{百万円}	
合計	622	数量	200 _{kl}	178 _{kl}	175 _{kg}	3 _{kg}	9 _{kg}	69 _{kg}	X	33 _{kg}	X	X	751 _{kg}	
		金額	184 _{百万円}	119 _{百万円}	155 _{百万円}	2 _{百万円}	8 _{百万円}	32 _{百万円}	X	17 _{百万円}	X	X	564 _{百万円}	

(7) 単式蒸留焼酎の原材料費等

単式蒸留焼酎の製造原価に占める原材料費等の割合を集計したものが図 16 である。原材料費に占める原料代の割合は、84.6%となった。また、課税移出数量規模別に、原材料費等を集計したものが表 40 である。課税移出数量が 5,000kl 以下の規模では原材料費に占める原料代の割合はおおむね 7 割弱から 8 割弱であり、課税移出数量が 5,000kl を超える規模では、原料代の割合が 9 割以上となった。

焼酎粕の処理費を集計したものが表 41 である。1 トン当たりの平均処理単価は 7,999 円であり、1 者当たりの平均処理費は 43,479 千円となった。

図 16 単式蒸留焼酎の原材料費の構成比

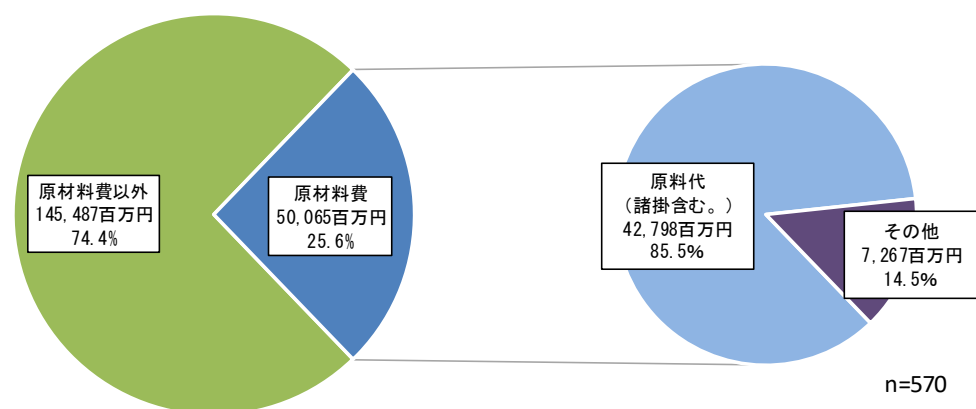


表 40 単式蒸留焼酎製造業の課税移出数量規模別の原材料費 (1 者平均)

課税移出数量規模	事業者数	売上高	売上原価	原材料費	
				千円	千円
100kl 以下	402	38,713	23,434	4,127	3,044
100kl 超 500kl 以下	92	246,204	151,298	39,867	28,614
500kl 超 1,000kl 以下	26	498,354	292,967	114,434	77,086
1,000kl 超 5,000kl 以下	33	1,416,155	990,554	273,694	212,983
5,000kl 超 10,000kl 以下	5	3,625,234	2,433,633	755,909	686,054
10,000kl 超	12	16,169,629	9,978,278	2,412,637	2,206,571
合計	570	543,975	343,075	87,834	75,084

表 41 焼酎粕の処理費

平均処理単価	平均処理費
円/トン	千円
7,999	43,479

3 ワイン製造業

果実酒の製造免許を有し、ぶどう（濃縮果汁を含む。以下同じ。）を原料とした果実酒を製造している製造業者の集計結果を、ワイン製造業として取りまとめたもの。

(1) 国内のワイナリー数

令和2年1月1日現在のワイナリー数を都道府県別に集計したものが表42である。全国のワイナリー数は369場であり、前回調査時（平成31年3月31日現在）に対して38場増加している（令和2年3月31日現在における果実酒製造場は488場（令和元年度国税庁統計年報による。）である。）。

都道府県別にみると、上位3地域（山梨県、長野県、北海道）で全体の49.3%を占めている。

表 42 都道府県別のワイナリー数

順位	都道府県	ワイナリー数(場)	順位	都道府県	ワイナリー数(場)	
1	山梨	85	25	群馬	3	
2	長野	55	25	神奈川	3	
3	北海道	42	25	石川	3	
4	山形	17	25	兵庫	3	
5	岩手	11	25	福岡	3	
6	新潟	10	25	熊本	3	
7	岡山	9	31	富山	2	
8	栃木	8	31	岐阜	2	
8	静岡	8	31	三重	2	
8	愛知	8	31	滋賀	2	
8	大阪	8	31	京都	2	
12	青森	7	31	和歌山	2	
12	福島	7	31	山口	2	
12	広島	7	31	愛媛	2	
15	茨城	6	31	高知	2	
15	宮崎	6	40	福井	1	
17	千葉	5	40	徳島	1	
17	大分	5	40	香川	1	
19	宮城	4	40	長崎	1	
19	秋田	4	40	鹿児島	1	
19	埼玉	4	45	奈良	-	
19	東京	4	45	佐賀	-	
19	鳥取	4	45	沖縄	-	
19	島根	4	全	国	計	369

表 43

都道府県別果実酒個別個表の対象者（場）及び回答者（場）数

局名	都道府県別	製造免許場						製造免許者					
		果実酒製造免許場数			実態調査 対象場数	回答 場数	内 日本 ワイン	果実酒製造免許者数			実態調査 対象者数	回答 者数	
		内 試験免許	内 ぶどう原料ワイン の製造又は移出無	場				内 試験免許	内 ぶどう原料ワイン の製造又は移出無	者			
札幌	北海道	56	9	5	42	31	31	49	6	3	40	31	
仙台	青森	17	3	7	7	6	6	14	3	4	7	6	
	岩手	15	1	3	11	9	9	15	1	3	11	9	
	宮城	5	-	1	4	4	4	4	-	-	4	4	
	秋田	8	2	2	4	2	2	8	2	2	4	2	
	山形	19	1	1	17	16	16	19	1	1	17	16	
	福島	9	1	1	7	7	7	9	1	1	7	7	
	計	73	8	15	50	44	44	69	8	11	50	44	
関東信越	茨城	10	3	1	6	5	4	7	1	-	6	5	
	栃木	12	3	1	8	6	5	10	2	1	7	5	
	群馬	7	1	3	3	2	2	7	1	3	3	2	
	埼玉	8	1	3	4	2	2	8	1	3	4	2	
	新潟	17	5	2	10	9	9	16	5	1	10	9	
	長野	72	6	11	55	52	50	60	4	8	48	45	
	計	126	19	21	86	76	72	108	14	16	78	68	
東京	千代田	9	1	3	5	4	1	8	5	2	5	4	
	東京都	16	10	2	4	2	2	40	19	10	11	7	
	神奈川	12	6	3	3	3	2	2	-	-	2	2	
	山梨	98	3	10	85	67	63	81	2	6	73	58	
	計	135	20	18	97	76	68	131	22	18	91	71	
金沢	富山	5	1	2	2	1	1	5	1	2	2	1	
	石川	6	3	-	3	1	1	6	3	-	3	1	
	福井	2	1	-	1	1	1	2	1	-	1	1	
	計	13	5	2	6	3	3	13	5	2	6	3	
名古屋	岐阜	13	6	5	2	1	1	10	3	5	2	1	
	静岡県	13	3	2	8	7	4	10	1	2	7	6	
	愛知	16	3	5	8	7	3	15	3	4	8	7	
	三重	8	3	3	2	2	2	5	1	2	2	2	
	計	50	15	15	20	17	10	40	8	13	19	16	
大阪	滋賀	4	2	-	2	2	2	3	1	-	2	2	
	京都	8	4	2	2	1	1	7	3	2	2	1	
	大阪府	19	7	4	8	8	7	17	8	3	6	6	
	兵庫県	11	2	6	3	3	1	9	1	5	3	3	
	奈良	4	2	2	-	-	-	3	1	2	-	-	
	和歌山	8	2	4	2	2	1	8	2	4	2	2	
	計	54	19	18	17	16	12	47	16	16	15	14	
広島	鳥取	9	3	2	4	4	3	8	2	2	4	4	
	島根	9	3	2	4	4	4	8	2	2	4	4	
	岡山	15	5	1	9	8	7	15	6	1	8	7	
	広島	17	6	4	7	6	5	16	5	4	7	6	
	山口	3	1	-	2	1	1	3	1	-	2	1	
	計	53	18	9	26	23	20	50	16	9	25	22	
高松	徳島	3	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	
	香川県	2	1	-	1	1	1	2	1	-	1	1	
	愛媛	4	2	-	2	2	2	4	2	-	2	2	
	高知	3	1	-	2	2	1	3	1	-	2	2	
	計	12	5	1	6	6	5	12	5	1	6	6	
福岡	福岡	10	5	2	3	2	2	9	4	1	4	2	
	佐賀	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	
	長崎	3	2	-	1	1	1	3	2	-	1	1	
	計	15	9	2	4	3	3	14	8	1	5	3	
熊本	熊本	9	3	3	3	2	2	7	3	2	2	1	
	大分	8	1	2	5	4	4	7	1	1	5	4	
	宮崎	9	3	-	6	3	3	9	3	-	6	3	
	鹿児島	3	-	2	1	-	-	3	-	2	1	1	
	計	29	7	7	15	9	9	26	7	5	14	9	
沖縄	沖縄	7	4	3	-	-	-	6	3	3	-	-	
	全国計	623	138	116	369	304	277	565	118	98	349	287	

- (注) 1 令和2年1月1日現在の製造免許場数及び製造免許者数である。
- 2 他の酒類において試験製造免許以外の免許を有している製造者が、果実酒製造免許は試験製造免許のみを有している場合は、試験製造免許者として集計している。
- 3 回答場数及び回答者数は、令和2年酒類業実態調査の、果実酒に係る個別項目について回答があった場（者）の数である。
- 4 「内 日本ワイン」の項目は、回答者のうち、日本ワインの製成数量がある場（者）の数を示している。

(2) ワイン製造業の専門割合

事業者の総売上高に占めるワインの売上高の比率（以下「専門割合」という。）について集計したものが図 17 である。専門割合が 100%の者は 39 者（全体の 13.6%）となった。

ワイン製造業者について、製成数量別に専門割合ごとに事業者数を集計したものが表 44 である。専門割合が 100%の者は全て製成数量が 100kl 未満の事業者となった。

図 17 専門割合別構成比

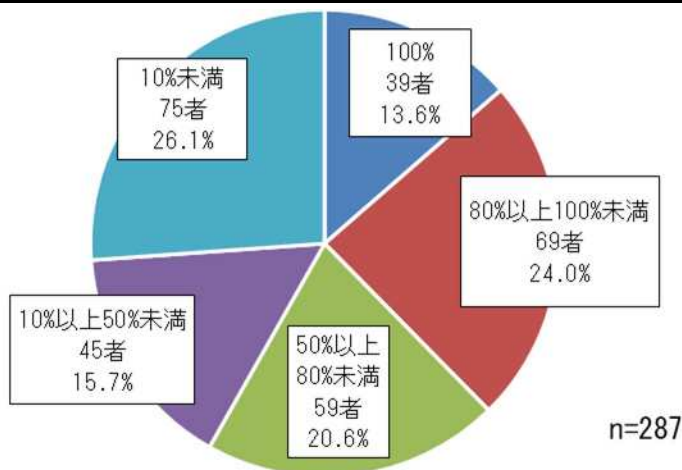


表 44 製成数量規模別の専門割合

製成数量規模	専門割合					合計
	10%未満	10%以上 50%未満	50%以上 80%未満	80%以上 100%未満	100%	
100kl 未満	68	41	43	51	39	242
100kl 以上 300kl 未満	3	3	10	8	0	24
300kl 以上 1,000kl 未満	2	0	3	8	0	13
1,000kl 以上	2	1	3	2	0	8
合計	75	45	59	69	39	287

(3) ワイン製造業の経営状況

ワイン製造業に係る経営状況及びワインの売上状況について集計したものが表 45 である。ワイン製造者の 48.4%が欠損又は低収益となっている。

また、製成数量が少ない製造者ほど売上高原料費率や売上高販売費・一般管理費率が高い傾向にあり、製成数量が100kl未満の製造者については、全体の営業利益がマイナスとなっている。一方、製成数量が1,000klを超える製造者については、営業利益率が24.5%となっている。

期限付免許者（※）のうち、免許付与後3年までの新規製造者の経営状況及びワインの売上状況について集計したものが表46である。新規製造者については、売上高原材料費率やワインの売上高販売費・一般管理費率が高くなる傾向にあり、新規製造者全体としてはワイン製造業に係る営業利益がマイナスとなっている。

※ 製造者以外の者又は他の酒類の製造者が新たに果実酒の製造免許を受ける場合には、原則として3年間、免許に期限が付与される。

表 45 ワイン製造者の経営状況及びワインの売上状況

項目	製成数量規模				
	合計	100kl未満	300kl未満	1,000kl未満	1,000kl以上
	者	者	者	者	者
事業者数	287	242	24	13	8
欠損又は低収益事業者数	139	133	3	1	2
割合	48.4%	55.0%	12.5%	7.7%	25.0%
欠損企業	102	96	3	1	2
割合	35.5%	39.7%	12.5%	7.7%	25.0%
低収益企業	37	37	-	-	-
割合	12.9%	15.3%	-	-	-
売上高	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	83,152	10,339	6,371	8,430	58,011
日本ワイン	22,551	6,954	5,472	4,061	6,063
製造原価	47,950	6,275	3,470	4,967	33,237
原料費	9,063	2,757	1,234	1,499	3,573
売上総利益	35,202	4,064	2,900	3,463	24,774
販売費・一般管理費	19,897	4,222	2,421	2,683	10,571
営業利益	15,305	△ 158	479	781	14,203
売上高製造原価率	%	%	%	%	%
	57.7	60.7	54.5	58.9	57.3
原料費率	10.9	26.7	19.4	17.8	6.2
売上高売上総利益率	42.3	39.3	45.5	41.1	42.7
売上高販売費・一般管理費率	23.9	40.8	38.0	31.8	18.2
売上高営業利益率	18.4	△ 1.5	7.5	9.3	24.5

(注) 製造原価及び販売費・一般管理費については事業年度を調査対象期間としているが、売上高については暦年で回答した事業者を含む。

表 46 新規製造者の経営状況及びワインの売上状況

項 目	製成数量規模		合計	
			10kl未満	100kl未満
事業者数		者	者	者
		57	44	13
欠損又は低収益事業者数		37	29	8
	割合	64.9%	65.9%	61.5%
	欠損	29	22	7
	割合	50.9%	50.0%	53.8%
	低収益	8	7	1
	割合	14.0%	15.9%	7.7%
売上高		百万円	百万円	百万円
		364	206	158
	日本ワイン	335	182	154
製造原価		302	155	147
	原料費	132	72	60
売上総利益		62	51	11
販売費・一般管理費		272	142	130
営業利益		△ 210	△ 91	△ 119
売上高製造原価率		%	%	%
		83.1	75.3	93.1
	売上高原料費率	36.2	34.8	37.9
売上高売上総利益率		16.9	24.7	6.9
売上高販売費・一般管理費率		74.7	69.1	81.9
売上高営業利益率		△ 57.7	△ 44.4	△ 75.0

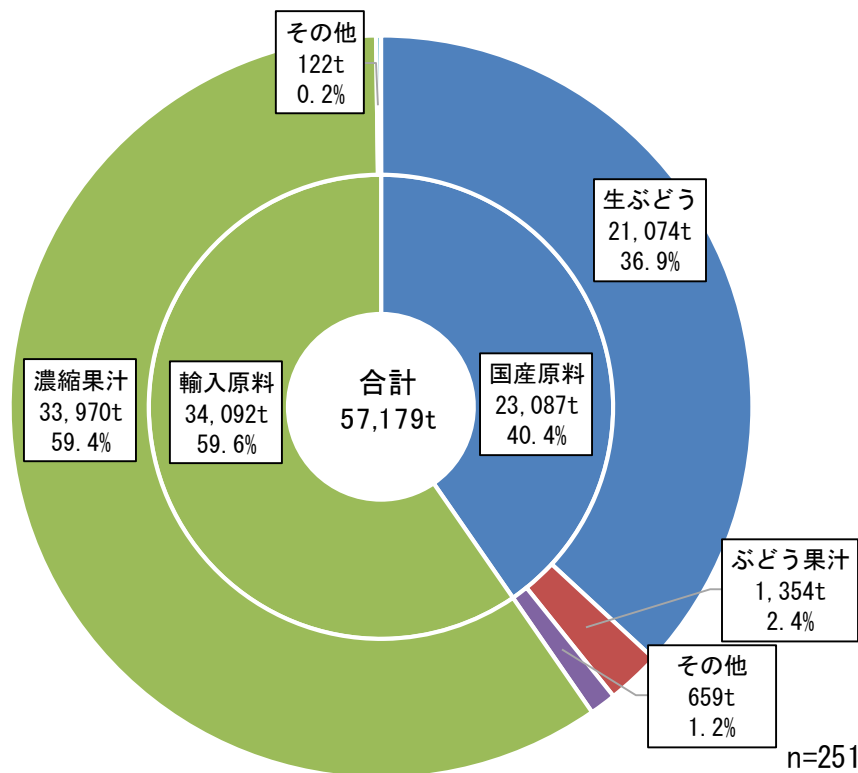
(注) 製造原価及び販売費・一般管理費については事業年度を調査対象期間としているが、売上高については暦年で回答した事業者を含む。

(4) 国内製造ワインの生産及び出荷状況

イ 国内製造ワインの原料について

国内製造ワインの原料を集計したものが図 18 である。ワイン製造に使用された原料のうち、国産原料の割合は 40.4%であった。また、国産の生ぶどうを使用している割合は 36.9%であり、輸入した濃縮果汁を使用している割合は 59.4%となった。

図 18 国内製造ワインの使用原料比

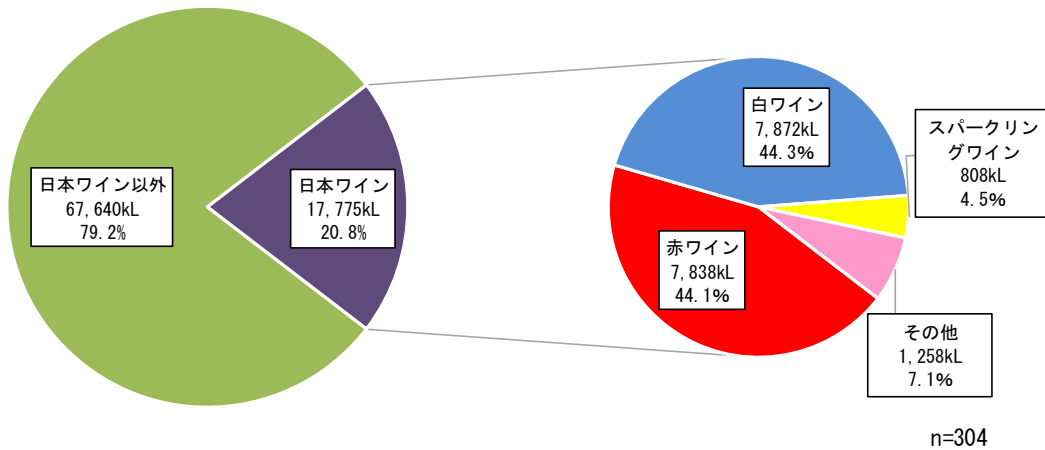


(注) 輸入原料中「その他」には、輸入した生ぶどうが含まれる。

ロ 国内製造ワインの構成比

国内製造ワインについて、日本ワインと日本ワイン以外のワインごとに集計し、さらに日本ワインについて種類別に構成比を集計したものが図 19 である。国内製造ワインのうち日本ワインの製成数量は 20.8%となっている。そのうち、赤ワインと白ワインがそれぞれ 44.1%、44.3%を占めている。

図 19 国内製造ワインの製成数量構成比及び種類別構成比



ハ 日本ワインの製成数量等について

日本ワインについて、都道府県別の製成数量上位3地域とその他の地域に分け集計したものが図20である。上位3地域で日本ワイン製成数量の69.7%を占めている。

日本ワインの製成数量上位3地域について、製成している種類別の構成比を集計すると図21のとおりとなる。山梨県と北海道では白ワインの製成割合が高く、長野県では赤ワインの製成割合が高い。

図20 日本ワイン製成数量上位3地域の構成比

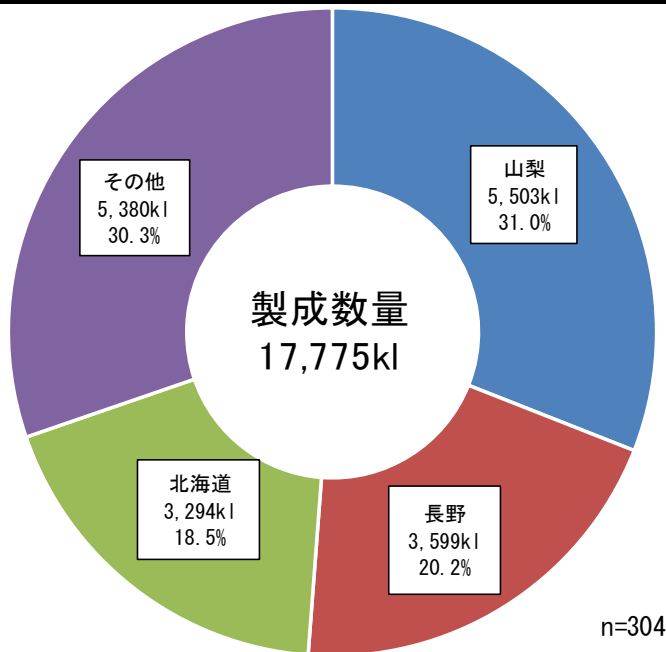
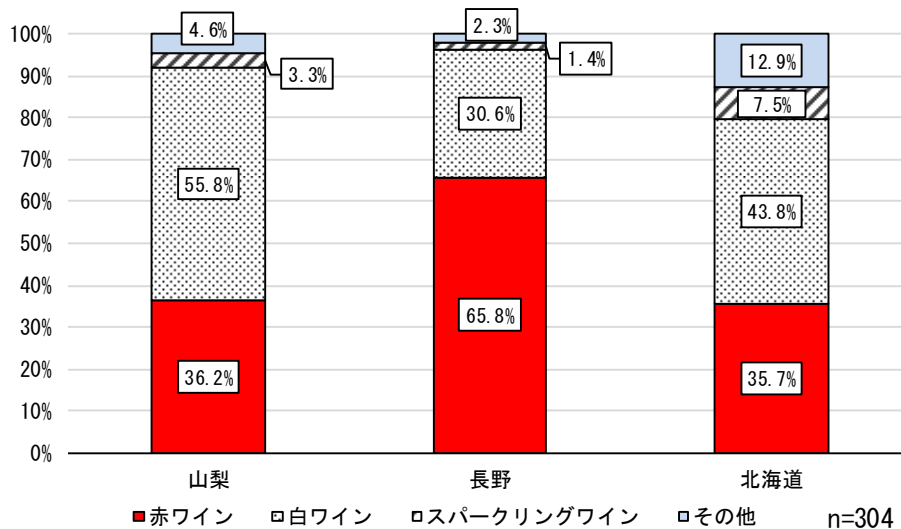


図21 日本ワイン製成数量上位3地域の種類別の製成数量割合



二 国内製造ワインの製成数量等について

国内製造ワインの製成数量及び出荷量について、都道府県別に集計したものが表 47 である。

また、製成数量規模別に使用原料数量等を集計したものが表 48 である。日本ワインについては、主な原料は生ぶどうであり、使用原料全体の 91.4%を占めている。日本ワイン以外のワインについては、使用原料全体の 99.3%が輸入原料であり、そのうち 99.6%が濃縮果汁となっている。

表 47 都道府県別の製成数量及び出荷量

局名	都道府県別	対象場数 (回答場数)	製成数量		出荷量	
				内 日本ワイン		内 日本ワイン
札幌	北海道	42 (31)	3,455	3,294	2,692	2,415
仙台	青森	7 (6)	112	76	95	62
	岩手	11 (9)	596	585	596	557
	宮城	4 (4)	X	X	X	X
	秋田	4 (2)	X	X	X	X
	山形	17 (16)	1,416	1,370	1,044	998
	福島	7 (7)	73	62	47	42
	計	50 (44)	2,303	2,194	1,849	1,725
関東信越	茨城	6 (5)	32	29	12	12
	栃木	8 (6)	29,029	281	22,318	221
	群馬	3 (2)	X	X	X	X
	埼玉	4 (2)	X	X	X	X
	新潟	10 (9)	515	514	454	450
	長野	55 (52)	4,098	3,599	4,479	3,774
	計	86 (76)	33,769	4,509	27,477	4,549
東京	千葉	5 (4)	82	X	1,614	2
	東京	4 (2)	X	X	X	X
	神奈川	3 (3)	X	X	X	X
	山梨	85 (67)	14,086	5,503	19,705	3,648
	計	97 (76)	39,646	5,534	69,718	3,670
金沢	富山	2 (1)	X	X	X	X
	石川	3 (1)	X	X	X	X
	福井	1 (1)	X	X	X	X
	計	6 (3)	160	160	128	128
名古屋	岐阜	2 (1)	X	X	X	X
	静岡	8 (7)	52	50	1,637	68
	愛知	8 (7)	520	20	468	18
	三重	2 (2)	X	X	X	X
	計	20 (17)	579	77	2,112	93
大阪	滋賀	2 (2)	X	X	X	X
	京都	2 (1)	X	X	X	X
	大阪	8 (8)	189	188	786	216
	兵庫	3 (3)	X	X	X	X
	奈良	- (-)	-	-	-	-
	和歌山	2 (2)	X	X	X	X
	計	17 (16)	703	591	1,341	661
広島	鳥取	4 (4)	X	X	X	X
	島根	4 (4)	287	287	210	209
	岡山	9 (8)	3,748	391	6,544	358
	広島	7 (6)	156	144	206	114
	山口	2 (1)	X	X	X	X
	計	26 (23)	4,241	872	7,009	731
高松	徳島	1 (1)	X	X	X	X
	香川	1 (1)	X	X	X	X
	愛媛	2 (2)	X	X	X	X
	高知	2 (2)	X	X	X	X
	計	6 (6)	30	24	23	24
福岡	福岡	3 (2)	X	X	X	X
	佐賀	- (-)	-	-	-	-
	長崎	1 (1)	X	X	X	X
	計	4 (3)	27	27	14	13
熊本	熊本	3 (2)	X	X	X	X
	大分	5 (4)	135	130	130	125
	宮崎	6 (3)	X	X	X	X
	鹿児島	1 (-)	-	-	-	-
	計	15 (9)	501	493	449	443
沖縄	沖縄	- (-)	-	-	-	-
合計		369 (304)	85,415	17,775	112,812	14,452

表 48 製成数量規模別の使用原料数量、製成数量及び出荷量

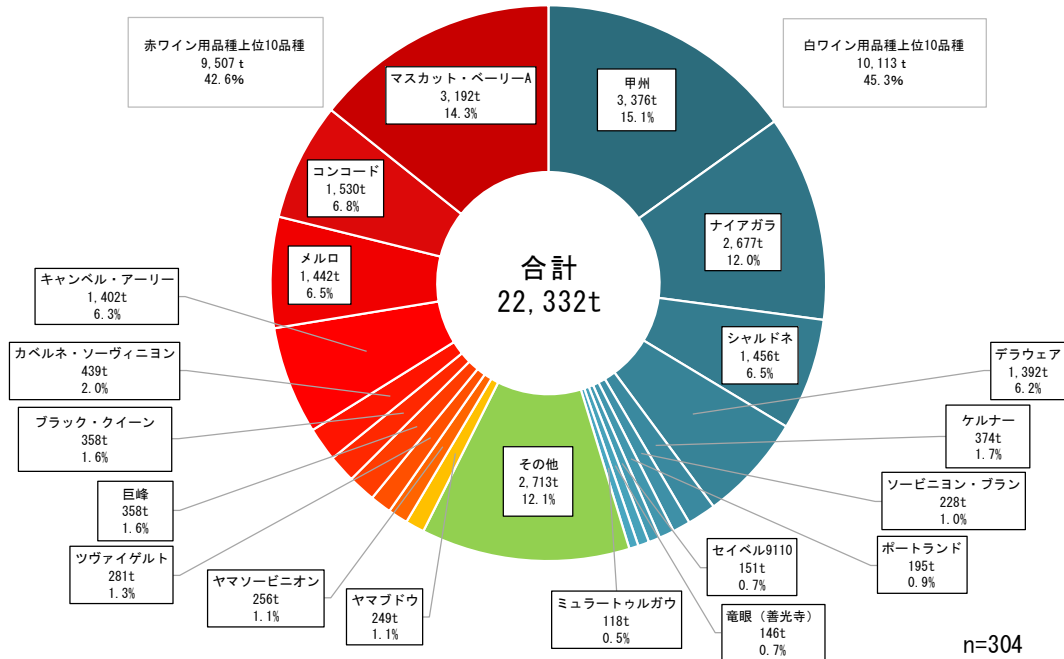
製成数量規模 項目		製成数量規模				
		合計	100kl未満	100kl以上 300kl未満	300kl以上 1,000kl未満	1,000kl以上
ワイナリー数		251 ^場	208 ^場	24 ^場	13 ^場	6 ^場
日本 ワイン	使用原料	22,850 ^t	6,651 ^t	4,908 ^t	5,178 ^t	6,113 ^t
	国産原料	22,850	6,651	4,908	5,178	6,113
	生ぶどう	20,962	6,340	4,781	5,120	4,722
	ぶどう果汁	1,313	208	1	8	1,096
	その他	575	104	125	51	295
	製成数量	16,525 ^{kl}	3,904 ^{kl}	3,639 ^{kl}	4,089 ^{kl}	4,892 ^{kl}
日本 ワイン 以外	使用原料	34,329 ^t	347 ^t	293 ^t	2,491 ^t	31,198 ^t
	国産原料	237	159	9	16	52
	生ぶどう	112	112	-	-	-
	ぶどう果汁	41	1	-	-	41
	その他	84	47	9	16	11
	輸入原料	34,092	188	284	2,475	31,146
	濃縮果汁	33,970	161	233	2,437	31,139
	生ぶどう	45	7	-	38	-
	その他	77	19	51	-	6
	製成数量	38,887 ^{kl}	290 ^{kl}	268 ^{kl}	3,533 ^{kl}	34,795 ^{kl}
輸入数量		26,844 ^{kl}	2,274 ^{kl}	775 ^{kl}	5,023 ^{kl}	18,772 ^{kl}
原料用		10,070	2,239	760	1,121	5,950
販売用		16,774	35	15	3,902	12,822
課税移出数量		82,214	6,542	3,834	5,545	66,294
日本ワイン		13,769	3,978	2,845	2,838	4,106
未納税移出数量		11,441	1,322	1,011	6,546	2,563
日本ワイン		2,188	457	838	703	190

(5) ワイン原料用国産生ぶどうの生産状況について

ワイン原料用国産生ぶどうの生産量（赤ワイン及び白ワインそれぞれ上位 10 品種）について集計したものが図 22 である。国内で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではマスカット・ベリーA、白ワイン用では甲州となった。

ワイン原料用生ぶどうの生産量が多い品種について、赤ワイン用及び白ワイン用それぞれ上位 10 品種について、主要生産地域を集計したものが表 49 及び表 50 である。また、ワイン原料用生ぶどうの主要産地（上位 5 地域）について、品種ごとに生産量を集計すると表 51 のとおりとなる。

図 22 ワイン原料用国産生ぶどうの生産量（赤白上位 10 品種）



(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどうの数量を品種別に集計したものであり、実際にワインの原料に使用した数量とは符合しない。

表 49 赤ワイン用生ぶどう上位 10 品種の主要産地

国内生産数量順位	品種名	地域別生産量順位		1		2		3		他	合計
		1	2	1	2	1	2				
1	マスカット・ベリーA	山梨	1,773t	山形	634t	長野	275t	511t	3,192t		
2	コンコード	長野	1,530t	-	-	-	-	-	1,530t		
3	メルロ	長野	847t	山形	138t	山梨	134t	323t	1,442t		
4	キャンベル・アーリー	北海道	921t	宮崎	176t	岩手	167t	137t	1,402t		
5	カベルネ・ソーヴィニヨン	山梨	108t	長野	106t	山形	91t	135t	439t		
6	ブラック・クイーン	長野	247t	山形	57t	山梨	41t	14t	358t		
7	巨峰	山梨	202t	長野	93t	福岡	14t	50t	358t		
8	ツヴァイゲルト	北海道	252t	岩手	13t	新潟	7t	10t	281t		
9	ヤマソービニオン	山形	87t	石川	76t	長野	28t	65t	256t		
10	ヤマブドウ	岩手	84t	北海道	54t	長野	45t	66t	249t		

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を生産地及び品種別に集計したものである。

表 50 白ワイン用生ぶどう上位 10 品種の主要産地

国内生産 数量順位	品種名	地域別 生産量順位		1		2		3		他	合計
		州									
1	甲	山梨	3,198t	島根	116t	山形	31t	31t	3,376t		
2	ナイアガラ	北海道	1,186t	長野	995t	山形	313t	184t	2,677t		
3	シャルドネ	長野	492t	山形	252t	兵庫	128t	584t	1,456t		
4	デラウェア	山形	657t	山梨	503t	北海道	72t	160t	1,392t		
5	ケルナー	北海道	335t	長野	17t	新潟	12t	11t	374t		
6	ソービニオン・ブラン	長野	121t	北海道	24t	島根	19t	65t	228t		
7	ポートランド	北海道	188t	岩手	4t	秋田	2t	2t	195t		
8	セイベル 9110	長野	66t	山形	55t	新潟	24t	6t	151t		
9	竜眼（善光寺）	長野	145t	青森	1t	—	—	—	146t		
10	ミュラートウルガウ	北海道	114t	岩手	3t	長野	1t	0t	118t		

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を生産地及び品種別に集計したものである。

表 51 主要ぶどう産地（上位5地域）の品種別ぶどう生産量

山梨県 生産量 6,623t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	1,773	26.8%	甲州	3,198	48.3%	449	6.8%
巨峰	202	3.1%	デラウェア	503	7.6%		
メルロ	134	2.0%	シャルドネ	98	1.5%		
ベリー・アリカントA	110	1.7%	ナイアガラ	27	0.4%		
カベルネ・ソーヴィニオン	108	1.6%	セミヨン	21	0.3%		
計	2,327	35.1%	計	3,847	58.1%	6,623	100.0%

長野県 生産量 5,289t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
コンコード	1,530	28.9%	ナイアガラ	995	18.8%	466	8.8%
メルロ	847	16.0%	シャルドネ	492	9.3%		
マスカット・ベリーA	275	5.2%	竜眼（善光寺）	145	2.7%		
ブラック・クイーン	247	4.7%	ソービニオン・ブラン	121	2.3%		
カベルネ・ソーヴィニオン	106	2.0%	セイベル9110	66	1.3%		
計	3,004	56.8%	計	1,819	34.4%	5,289	100.0%

北海道 生産量 4,350t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	921	21.2%	ナイアガラ	1,186	27.3%	899	20.7%
ツヴァイゲルト	252	5.8%	ケルナー	335	7.7%		
ロンド	138	3.2%	ポートランド	188	4.3%		
山幸	111	2.6%	ミュラートウルガウ	114	2.6%		
ピノ・ノワール	105	2.4%	バッカス	102	2.3%		
計	1,527	35.1%	計	1,924	44.2%	4,350	100.0%

山形県 生産量 2,543t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	634	24.9%	デラウェア	657	25.8%	229	9.0%
メルロ	138	5.4%	ナイアガラ	313	12.3%		
カベルネ・ソーヴィニオン	91	3.6%	シャルドネ	252	9.9%		
ヤマソービニオン	87	3.4%	セイベル9110	55	2.2%		
ブラック・クイーン	57	2.2%	甲州	31	1.2%		
計	1,007	39.6%	計	1,308	51.4%	2,543	100.0%

岩手県 生産量 512t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	167	32.7%	リースリング・リオン	81	15.8%	47	9.2%
ヤマブドウ	84	16.5%	ナイアガラ	74	14.4%		
メルロ	24	4.7%	シャルドネ	5	1.0%		
ツヴァイゲルト	13	2.5%	ポートランド	4	0.7%		
ロースラー	10	1.9%	ミュラートウルガウ	3	0.6%		
計	299	58.3%	計	166	32.5%	512	100.0%

(注) ワインの原料とするために受け入れた品種別のぶどうの数量を産地別に集計したものであり、実際にワインの原料に使用した数量とは符合しない。

(6) ワイン原料用国産生ぶどうの栽培状況について

国内におけるワイン原料用生ぶどうの栽培方法について集計したものが図 23 である。棚栽培での生産が全体の 69.7%となった。

棚栽培及び垣根栽培により生産されたワイン原料用生ぶどうの生産量について、赤ワイン及び白ワイン用の品種それぞれ上位 5 種の生産割合を集計したものが図 24 である。棚栽培で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではマスカット・ベリー A、白ワイン用ではナイアガラであり、垣根栽培で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではメルロ、白ワイン用ではシャルドネとなった。

また、赤ワイン用及び白ワイン用別に、棚栽培及び垣根栽培ごとの生産量が多い上位 5 品種の主要生産地及び生産量を集計すると表 52 のとおりとなる。

図 23 ワイン原料用国産生ぶどうの栽培方法

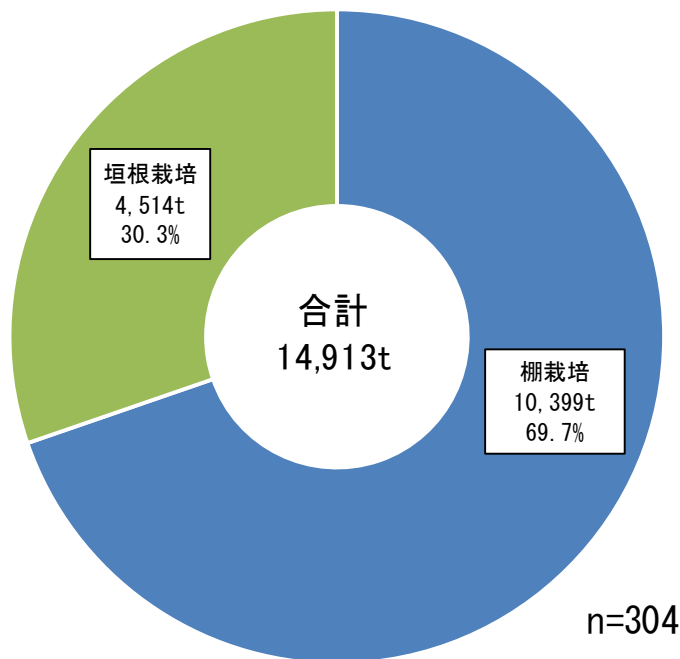
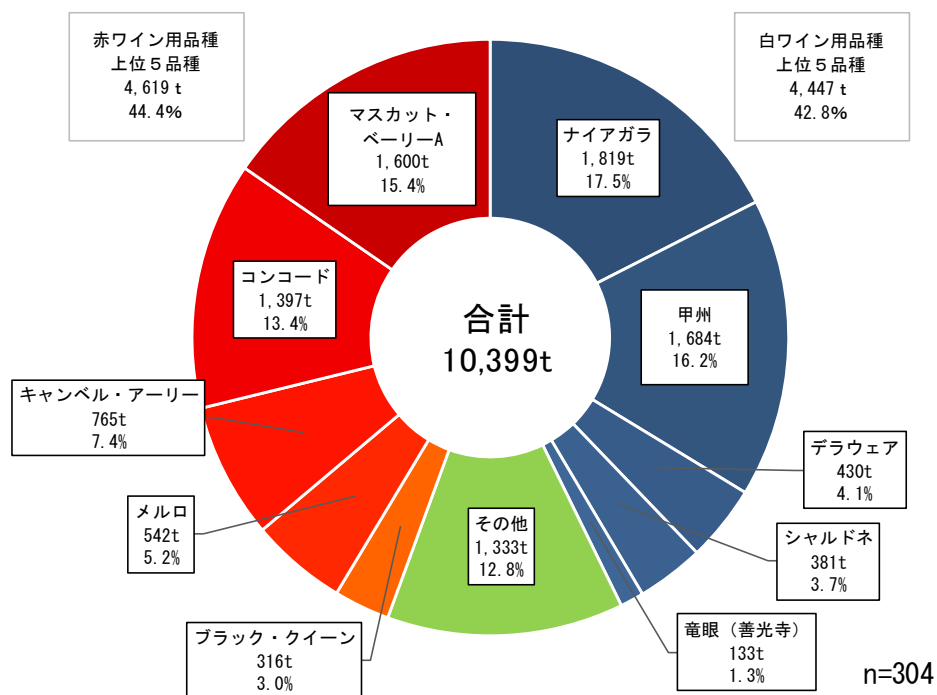
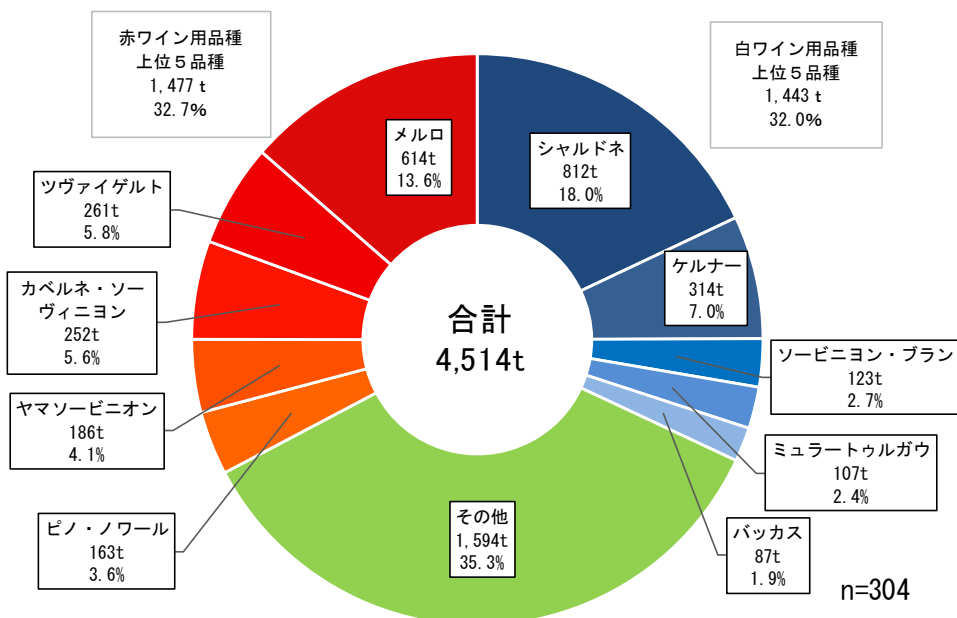


図 24 棚栽培及び垣根栽培のぶどう品種別生産割合（赤白上位5種）

【棚栽培】



【垣根栽培】



(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を品種別に集計したものである。

表 52 棚栽培及び垣根栽培のぶどう品種別主要産地及び生産量（赤白上位5種）

種類	栽培方法	国内生産数量順位	産地別生産量順位 品種名	1		2		3		他	合計
					t		t		t		
赤ワイン用品種	棚栽培	1	マスカット・ベリーA	山梨	716	山形	390	長野	192	301	1,600
		2	コンコード	長野	1,397	-	-	-	-	-	1,397
		3	キャンベル・アーリー	北海道	613	宮崎	111	岩手	33	8	765
		4	メルロ	長野	360	山形	76	山梨	49	57	542
		5	ブラック・クイーン	長野	221	山形	54	山梨	31	11	316
	垣根栽培	1	メルロ	長野	344	兵庫	66	山梨	64	141	614
		2	ツヴァイゲルト	北海道	240	岩手	9	新潟	7	6	261
		3	カベルネ・ソーヴィニオン	長野	85	兵庫	61	山梨	47	59	252
		4	ヤマソービニオン	山形	80	石川	76	福島	11	19	186
		5	ピノ・ノワール	北海道	86	長野	35	青森	12	29	163
白ワイン用品種	棚栽培	1	ナイアガラ	北海道	884	長野	847	大分	34	54	1,819
		2	甲州	山梨	1,521	島根	116	山形	22	24	1,684
		3	デラウェア	山梨	188	山形	120	大阪	67	55	430
		4	シャルドネ	山形	166	福島	53	長野	41	120	381
		5	竜眼（善光寺）	長野	133	-	-	-	-	-	133
	垣根栽培	1	シャルドネ	長野	360	熊本	109	兵庫	99	244	812
		2	ケルナー	北海道	295	新潟	9	長野	6	4	314
		3	ソービニオン・ブラン	長野	87	北海道	15	山梨	5	15	123
		4	ミュラートウルガウ	北海道	103	岩手	3	長野	0	0	107
		5	パツカス	北海道	87	長野	1	-	-	-	87

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を生産地及び品種別に集計したものである。

(7) ワイン原料用国産ぶどうの受入の状況

ワイン原料用生ぶどうの受入形態を集計したものが図 25 である。受入形態として最も多いのは契約栽培であり、全体の 50.6% となった。生産規模別に受入形態を集計したものが表 53 である。生産規模が 100kl 未満の事業者においては自営農園の割合が最も高くなっている。生産規模が 100kl を超える事業者においては、自営農園はほとんどなく、契約栽培や購入の割合が高い。

都道府県別に、ワイン原料用国産ぶどうの品種別受入数量を集計すると表 54、ワイン原料用生ぶどうの品種別に、受入形態と主要産地を集計すると表 55 のとおりとなる。さらに、ワイン原料用生ぶどうの生産量上位 6 地域について、ワイン原料用生ぶどうの生産量及び出荷状況を集計すると表 56 のとおりとなる。

図 25 ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別構成比

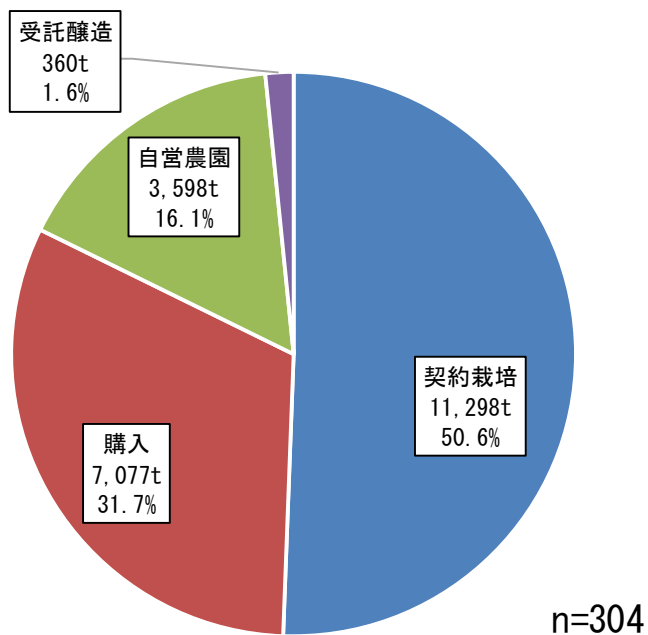


表 53 製成数量規模別のワイン原料用国産生ぶどうの最多受入形態別製造場数

受入形態	製成数量規模				合計
	100kL未満	100kL以上 300kL未満	300kL以上 1,000kL未満	1,000kL以上	
自営農園	85	2	-	-	87
契約栽培	51	18	5	2	76
受託醸造	17	-	-	-	17
購入	71	6	7	4	88
受入なし	20	-	2	1	23
合計	244	26	14	7	291

表 54

都道府県別のワイン原料用国産生ぶどうの品種別受入数量

局所名	都道府県	対象場数 (回答場数)	甲州	マスカット・ ペーリーヌ	ナイアガラ	コンコード	シャルドネ	メルロ	キャンベル・ アーリー	デラウェア	カベルネ・ ソーヴィニヨン	ケルナー
		t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
札幌	北海道	42 (31)	9	20	1,094	-	77	33	984	193	3	192
仙台	青森	7 (6)	3	2	20	-	1	4	6	-	-	1
	岩手	11 (9)	-	24	107	-	5	24	171	14	5	3
	宮城	4 (4)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	秋田	4 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	山形	17 (16)	28	555	167	-	168	74	14	405	25	-
	福島	7 (7)	2	16	0	-	8	5	0	2	4	0
	計	50 (44)	49	621	306	-	195	114	190	444	34	4
関東信越	茨城	6 (5)	-	3	-	-	1	2	-	2	0	-
	栃木	8 (6)	58	39	4	-	36	17	2	8	33	53
	群馬	3 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	埼玉	4 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	新潟	10 (9)	23	197	27	10	77	81	9	42	28	16
	長野	55 (52)	42	335	1,045	1,486	379	665	15	9	87	17
	計	86 (76)	184	609	1,077	1,497	493	767	26	61	149	86
東京	千葉	5 (4)	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	東京	4 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	神奈川	3 (3)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	山梨	85 (67)	2,893	1,423	102	27	238	312	22	423	153	6
	計	97 (76)	2,894	1,428	105	27	244	316	22	452	156	6
金沢	富山	2 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	石川	3 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	福井	1 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	6 (3)	8	68	13	-	23	21	-	4	5	-
名古屋	岐阜	2 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	静岡	8 (7)	29	3	3	-	15	2	-	-	2	-
	愛知	8 (7)	-	7	-	-	3	1	-	4	2	-
	三重	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	20 (17)	29	15	4	-	24	9	-	11	4	-
大阪	滋賀	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	京都	2 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	大阪	8 (8)	15	44	8	3	19	25	9	102	8	-
	兵庫	3 (3)	-	-	-	-	99	66	-	-	61	-
	奈良	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	17 (16)	15	70	19	3	123	105	14	148	71	0
広島	鳥取	4 (4)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	島根	4 (4)	116	59	-	-	29	24	-	-	5	-
	岡山	9 (8)	65	86	-	3	36	5	4	30	1	85
	広島	7 (6)	-	67	-	-	29	16	-	10	0	-
	山口	2 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	26 (23)	185	241	-	3	98	48	4	41	10	85
高松	徳島	1 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	香川	1 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	愛媛	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	高知	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	6 (6)	1	7	1	-	1	0	-	7	-	-
福岡	福岡	3 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	佐賀	- (-)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	長崎	1 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	4 (3)	-	9	3	-	1	1	4	0	0	0
熊本	熊本	3 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	大分	5 (4)	1	21	34	-	50	18	4	21	-	-
	宮崎	6 (3)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	鹿児島	1 (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	15 (9)	2	102	56	-	177	27	157	31	7	-
沖縄	沖縄	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国		369 (304)	3,376	3,192	2,677	1,530	1,456	1,442	1,402	1,392	439	374

表 55

ワイン原料用生ぶどう品種別の受入形態の明細及び主要産地

品種名	受入形態						購入	受託醸造	合計	主要産地	
	自営農園計	棚	垣根	契約栽培計	棚	垣根				都道府県	数量
マスカット・ベリーA	228	212	16	1,451	1,388	63	1,466	47	3,192	山梨	1,773
巨峰	22	11	10	63	63	0	267	6	358	山梨	202
コンコード	191	190	1	1,207	1,207	-	130	1	1,530	長野	1,530
キャンベル・アーリー	42	32	10	775	733	42	582	2	1,402	北海道	921
メルロ	473	101	373	683	441	242	258	27	1,442	長野	847
カベルネ・ソーヴィニオン	152	16	136	193	77	116	82	12	439	山梨	108
ツヴァイゲルト	52	6	45	223	7	216	5	1	281	北海道	252
ヤマソービニオン	72	7	66	148	28	121	29	7	256	山形	87
ヤマブドウ	16	12	4	177	39	138	35	21	249	岩手	84
セイベル13053 (清見)	9	-	9	71	-	71	22	0	102	北海道	102
山幸	70	0	69	34	-	34	2	7	112	北海道	111
ブラック・クイーン	73	72	1	245	245	1	38	2	358	長野	247
カベルネ・フラン	49	14	35	20	16	3	4	3	76	長野	40
ピノ・ノワール	118	25	93	73	3	70	20	9	219	北海道	105
プティ・ヴェルド	37	8	29	5	4	1	0	0	43	山梨	30
シラー	54	8	46	7	7	1	2	1	64	長野	36
アジロンダック	1	1	-	66	66	-	20	8	97	山梨	97
甲斐ノワール	3	3	1	40	39	0	11	1	55	山梨	53
甲州	199	181	18	1,520	1,503	17	1,601	57	3,376	山梨	3,198
竜眼 (善光寺)	7	7	0	126	126	-	13	-	146	長野	145
ナイアガラ	145	140	4	1,686	1,679	7	838	9	2,677	北海道	1,186
デラウェア	65	64	1	369	366	3	938	20	1,392	山形	657
シャルドネ	486	96	389	707	285	422	234	29	1,456	長野	492
ケルナー	52	16	36	303	25	278	18	1	374	北海道	335
ミュラートウルガウ	40	0	40	67	0	67	11	0	118	北海道	114
バッカス	26	2	24	71	7	63	6	-	103	北海道	102
リースリング・リオン	11	3	7	77	19	58	0	-	88	岩手	81
ソービニオン・ブラン	109	17	92	51	21	30	52	15	228	長野	121
ピノ・ブラン (ヴァイスブルグンダー)	33	1	32	18	15	3	-	0	51	北海道	24
ピノ・グリ	18	6	11	2	-	2	1	3	24	北海道	12
ポートランド	3	1	2	121	116	4	70	2	195	北海道	188
セイベル9110	5	3	2	121	106	15	26	-	151	長野	66
セイベル5279	1	-	1	35	-	35	-	-	36	北海道	36

表 56

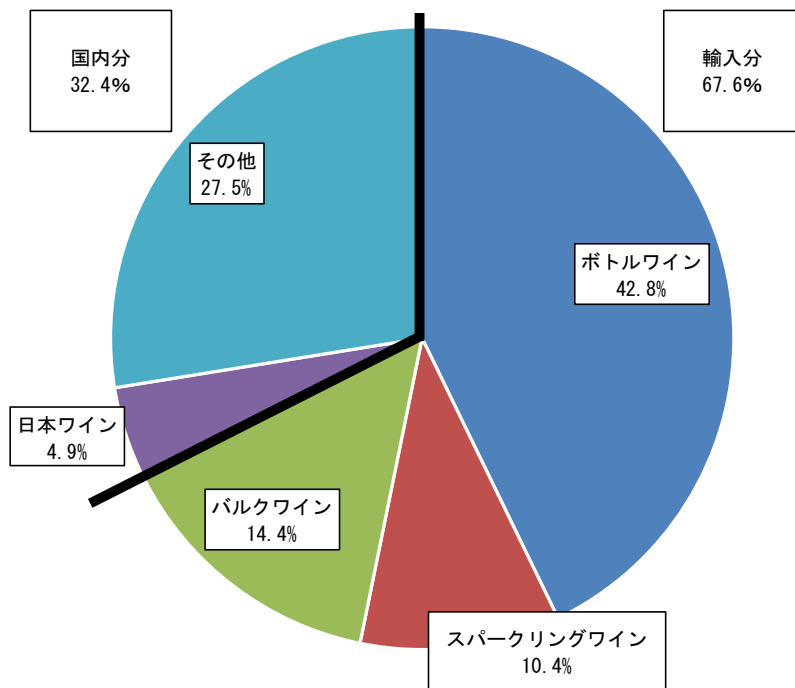
ワイン原料用生ぶどう生産量上位6地域のワイン原料用国産ぶどう受入状況

ぶどう産地	ワイン原料用ぶどう生産量 (ぶどう産地別)	自県ワイナリーの 出荷数量 (ワイナリー所在地別)	他県ワイナリーへの 出荷数量	出荷先都道府県											
				長野	山梨	岡山	新潟	栃木	鳥取	石川	北海道	大阪	山形		
山梨県	(100.0%) 6,623	(86.0%) 5,695	(14.0%) 927	140	140	140	103	98	82						
長野県	(100.0%) 5,289	(90.0%) 4,759	(10.0%) 530	357	61	50	21	15							
北海道	(100.0%) 4,350	(91.5%) 3,982	(8.5%) 368	155	118	63	10	10							
山形県	(100.0%) 2,543	(66.3%) 1,686	(33.7%) 857	207	128	100	73	67							
岩手県	(100.0%) 512	(85.7%) 439	(14.3%) 73	30	15	12	9	5							
新潟県	(100.0%) 319	(99.4%) 317	(0.6%) 2	1	1	0	-	-							
全国計	(100.0%) 22,365	(85.3%) 19,072	(14.7%) 3,293												

(8) 国内におけるワインの流通状況

国内市場におけるワインの流通量について、財務省貿易統計及び本調査結果から推計したものが図 26 である。国内流通量に占める輸入ワインの割合が 67.6%となっている。また、日本ワインの流通量は国内流通量の 4.9%となっている。

図 26 国内市場におけるワイン流通量の構成比（令和元年度推計値）

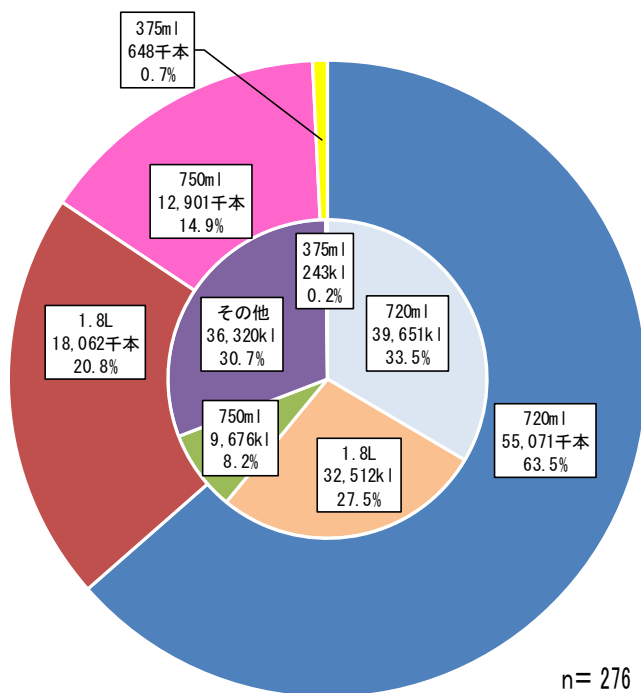


- (注) 1 国内分・輸入分の構成比は、令和元年度国税庁統計年報による果実酒の課税数量比である。
- 2 輸入分の内訳は、財務省貿易統計の輸入数量比である。
- 3 国内分の構成割合は、令和 2 年酒類業実態調査を基に推計している。

(9) ワインの容器容量別販売状況

国内で製成されたワインについて、容器容量別に集計したものが図 27 である。720ml 容器による販売本数が最も多く、国内販売本数に占める割合は 63.5%であり、国内の販売数量に占める割合は 33.5%となった。

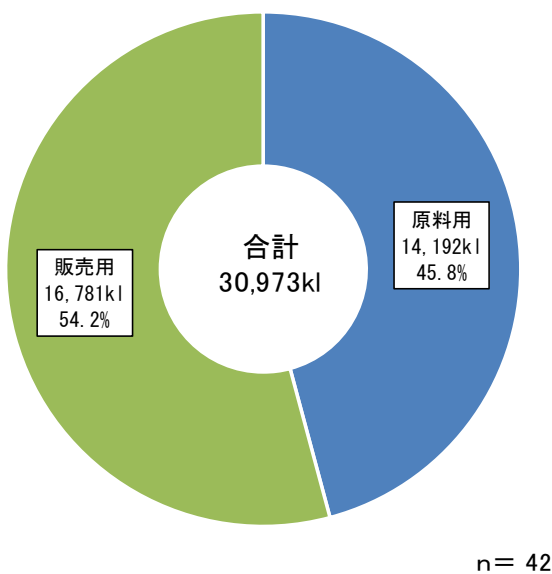
図 27 ワインの容器容量別の販売本数構成比



(10) 外国産ワインの用途別輸入状況

輸入した外国産ワインの用途について集計したものが図 28 である。ワインの原料用が 45.8%、販売用（そのまま販売容器に充填して販売するもの）が 54.2%となった。

図 28 外国産ワインの用途別割合



(11) 果実酒の生産・出荷・消費量の都道府県ランキング

果実酒の製成数量、出荷量及び販売数量を集計し、それぞれ上位 10 都道府県を並べたものが表 57 である。果実酒全体の製成数量は神奈川県が最も多く、内日本ワインについては山梨県の製成数量が最も多くなった。

一人当たりの販売数量については、東京都が 1 位となった他、製成数量が多い産地における販売数量が比較的多い結果となった。

表 57 果実酒の製成数量・出荷量・消費量の上位 10 都道府県

順位	製成数量			出荷量			販売 (消費) 数量	成人 一人当たり
	果実酒	ワイン		果実酒	ワイン			
		日本ワイン	日本ワイン					
1	神奈川県	栃木県	山梨県	神奈川県	神奈川県	長野県	東京都	東京都
2	栃木県	神奈川県	長野県	栃木県	栃木県	山梨県	神奈川県	山梨県
3	山梨県	山梨県	北海道	山梨県	山梨県	北海道	大阪府	長野県
4	長野県	長野県	山形県	岡山県	岡山県	山形県	埼玉県	京都府
5	岡山県	岡山県	岩手県	長野県	長野県	岩手県	北海道	和歌山県
6	北海道	北海道	新潟県	大阪府	北海道	新潟県	福岡県	福岡県
7	山形県	山形県	岡山県	北海道	静岡県	岡山県	愛知県	北海道
8	青森県	岩手県	島根県	千葉県	千葉県	栃木県	千葉県	神奈川県
9	千葉県	愛知県	栃木県	静岡県	山形県	大阪府	兵庫県	大阪府
10	広島県	新潟県	大阪府	山形県	大阪府	島根県	静岡県	沖縄県

(参考) ワイン製造業に関する用語について

ワイン製造業について使用している用語の意味は次表のとおりである。

用語	意味
国内製造ワイン	国内で製造されたワイン
ワイナリー	果実酒の製造免許を有し、ワインを製造している製造場のうち、平成31年1月1日～令和元年12月31日においてワインの生産又は出荷の事績がある製造場
生ぶどう	ぶどうのうち、ぶどう果汁以外の生果のもの
赤ワイン	赤ワインのうち、発泡性のないもの（スティルワイン）
白ワイン	白ワインのうち、発泡性のないもの（スティルワイン）
スパークリングワイン	赤ワイン、白ワイン、ロゼワイン等に関わらず、発泡性のあるもの
その他ワイン	赤ワイン、白ワイン、スパークリングワインに該当しないもの
自営農園	自社栽培、自社管理農場、役員の農園及び関連法人の運営するぶどう農園
契約栽培	農家との契約により原料ぶどうの栽培を委託しているもの
委託醸造	農家等の依頼者から原料ぶどうを受け入れて醸造を行い、その依頼者に製造したワインを引き渡すこと

Ⅲ アンケート調査結果

1 酒類製造者等及び酒類卸売業者に対するアンケート調査結果

令和2年酒類業実態調査の調査対象者に対し、輸出の取組等に関するアンケートを実施し、その回答結果を取りまとめたものである。

(1) 外国人観光客（インバウンド）向けの取組の実施状況

外国人観光客向けの取組状況を集計したものが図 29 であり、具体的な取組内容を集計したものが図 30 である。キャッシュレス決済の導入や、外国語によるパンフレット等の作成に取り組んでいる事業者が多かった。

図 29 外国人観光客（インバウンド）向け取組の実施割合

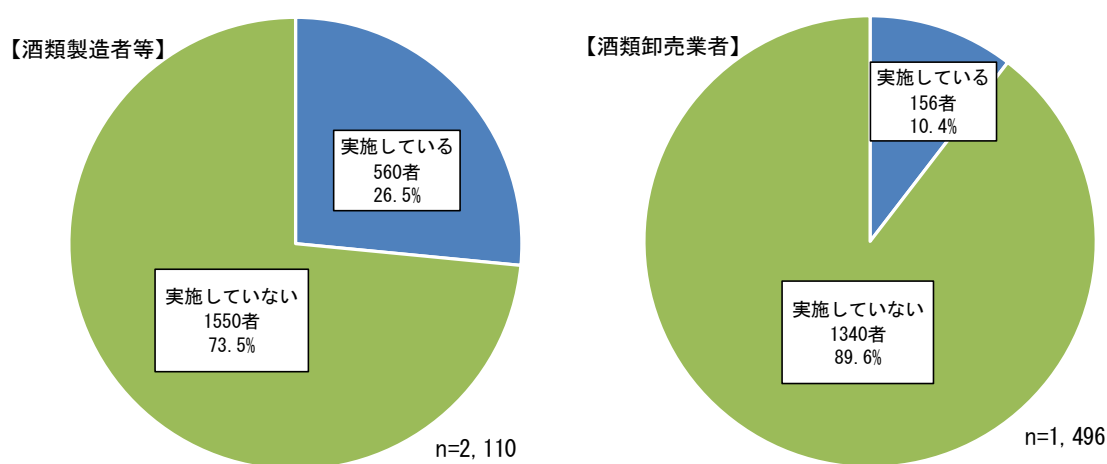
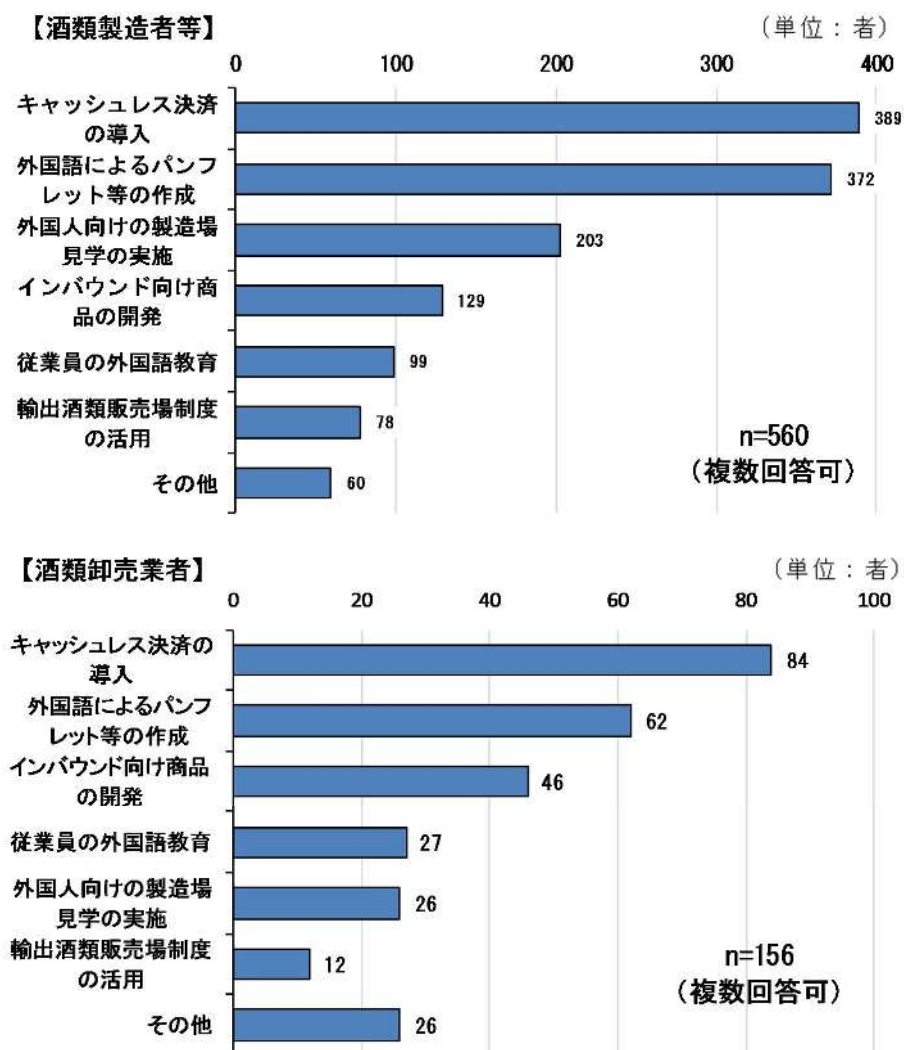


図 30 外国人観光客（インバウンド）向け取組の内容



(2) 輸出を行っていない酒類業者の状況等

輸出を行っていない事業者について、今後の輸出に関する検討状況を集計したものが図 31 である。1 年以内又は将来的に輸出を開始することを検討している事業者の割合は 33.5% であった。

輸出を行っていない理由を集計したものが図 32 である。理由として最も多かったのが「国内販売を優先している」であり、次いで多かったのが、「きっかけがない」、「忙しくて余裕がない」であった。

今後輸出を検討している国（地域）の上位 10 か国を集計したものが表 58 である。アジア向けの輸出を検討している事業者が多く、中でも台湾及び中華人民共和国向けの輸出を検討していると回答した事業者が多かった。

図 31 今後の輸出に関する考え

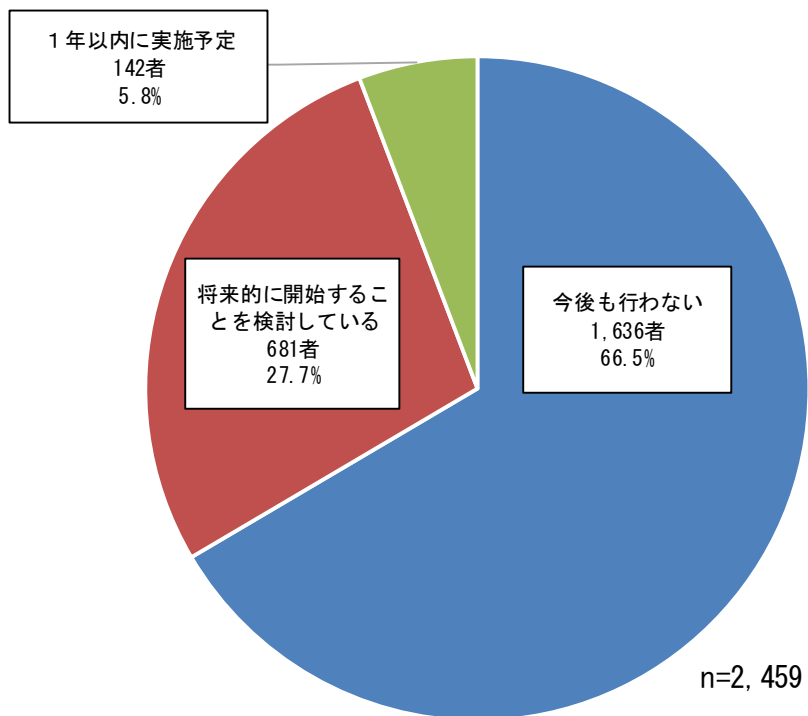


図 32 輸出を行っていない理由

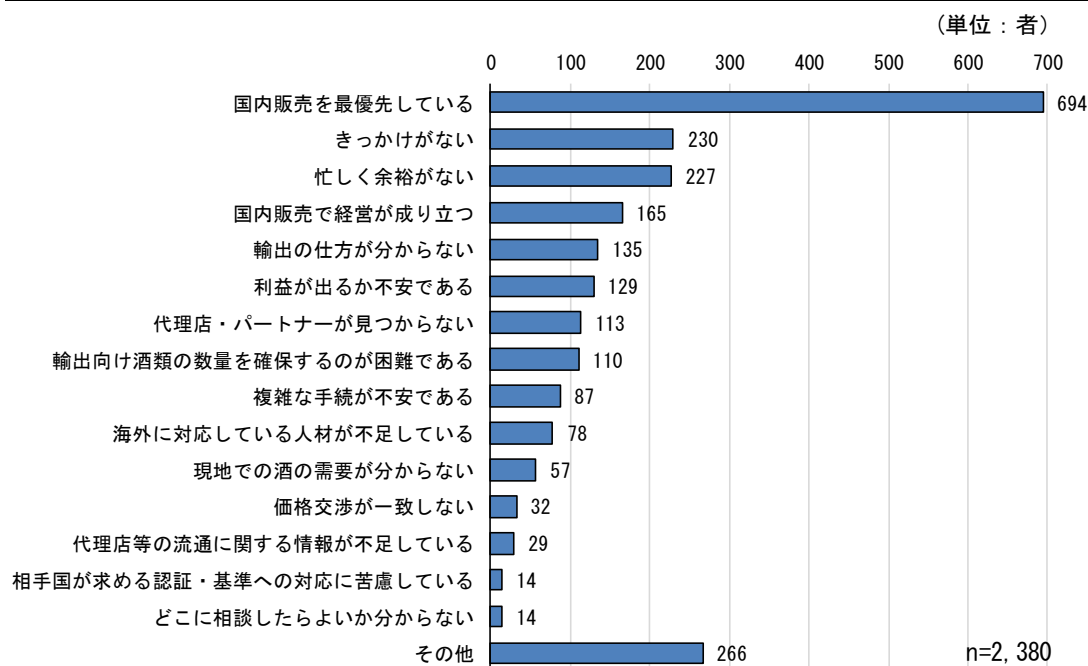


表 58 今後、輸出を検討している国・地域（上位 10 か国（地域））

順位	国名	回答者数	順位	国名	回答者数
1	台湾	259者	6	フランス	65者
2	中華人民共和国	245者	7	ベトナム	56者
3	アメリカ合衆国	152者	8	大韓民国	51者
4	香港	148者	9	英国	44者
5	シンガポール	116者	10	タイ	43者

n=687
(3か国まで回答可)

(3) 輸出を行っている酒類業者の状況等

イ 取引状況等

輸出先国での主な販売先について集計したものが図 33 である。飲食店向けの販売が 45.5%と最も多かった。輸出に当たって注意している点又は工夫している点について集計したものが図 34 である。「商品企画（ラベル等）」、「商談（プレゼンテーション）」、「商品の発送」について注意又は工夫しているとの回答が多い結果となった。

図 33 輸出先国での主な販売先

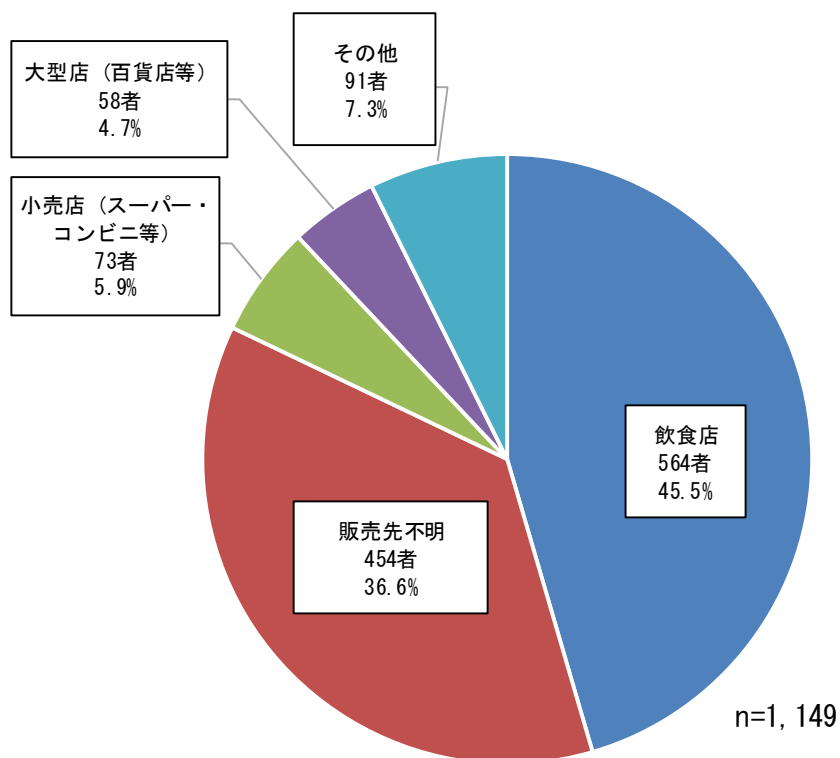
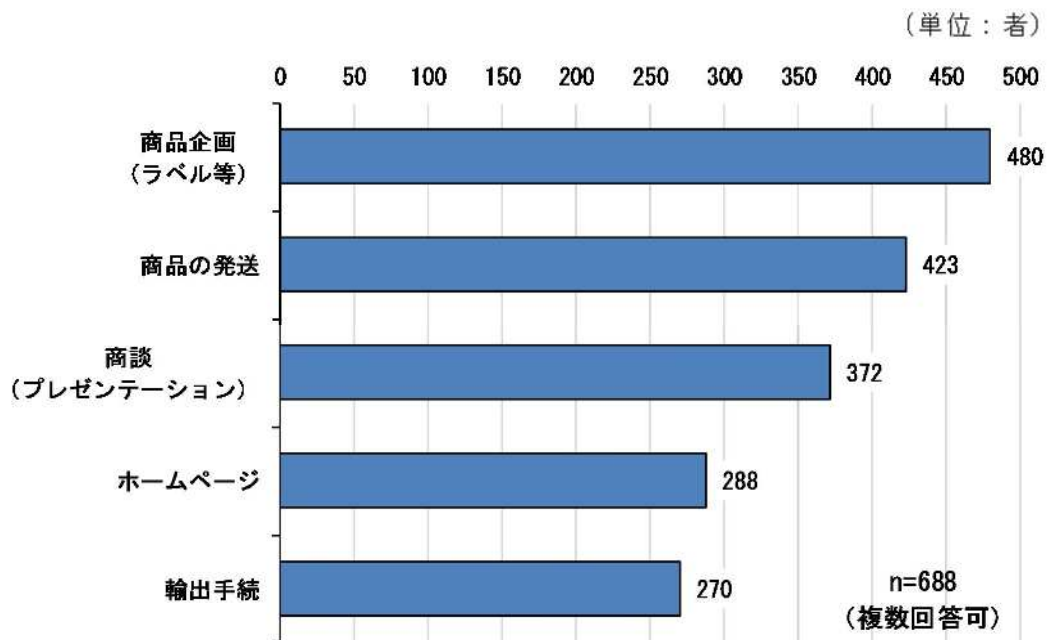


図 34 輸出に当たって注意又は工夫している項目



□ 輸出の取組の障害等

輸出先国 (地域) 別に、法制度上最も障害になっている事項を、回答数の多かった上位5か国について集計したものが図 35 である。いずれの国 (地域) についても、証明書等の

書類の提出が障害となっていると回答した割合が最も高くなっており、関税や輸出手続きの煩雑性についても、比較的障害と回答した割合が高かった。

輸出先国（地域）の法制度以外で障害となっていることについて集計したものが図 36 である。代理店・パートナー探し及び販路開拓が障害となっていると回答した割合が高かった。

図 35 輸出先国（地域）別の法制度上の障害（回答数の多かった上位5国）

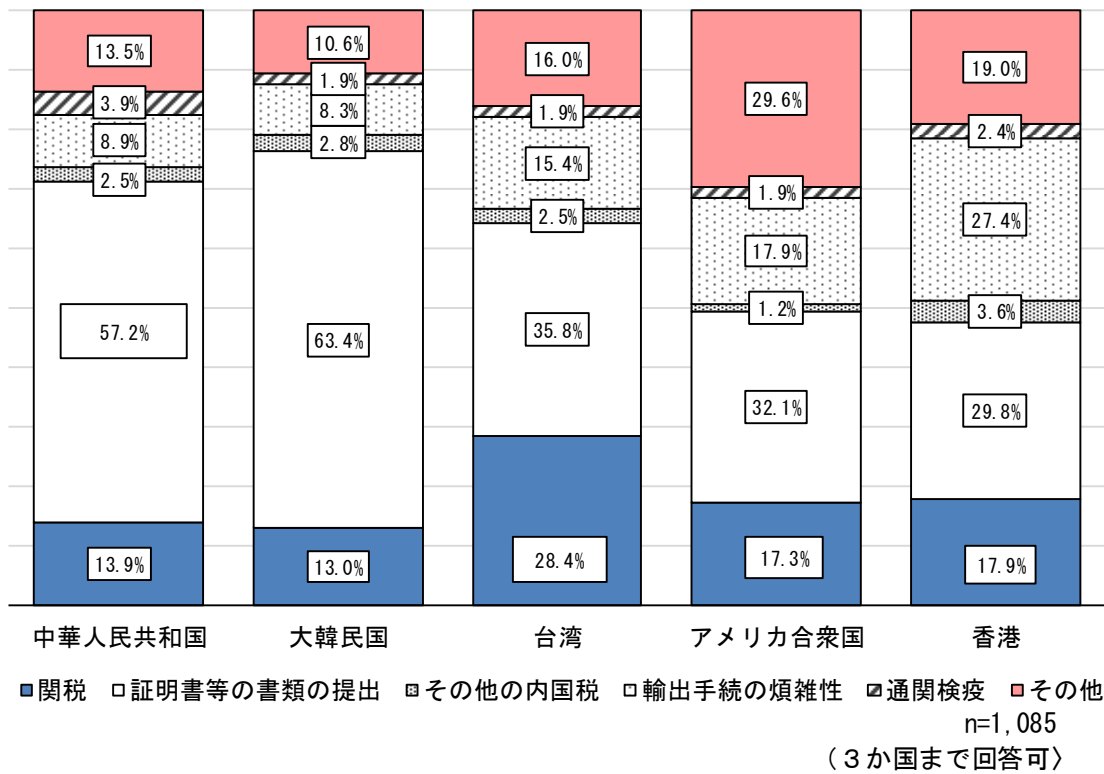
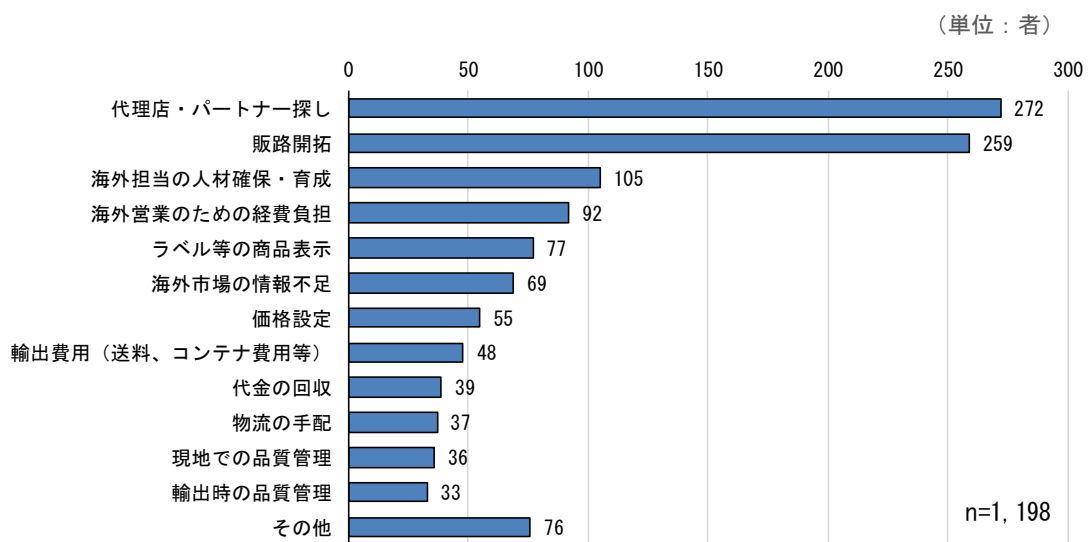


図 36 輸出先国（地域）の法制度以外の障害



ハ 今後の取引等

今後商談をしたいと考えている国（地域）について集計し、上位5か国をまとめたものが表 59 である。今後商談をしたいと回答した数が最も多いのはアメリカ合衆国であり、次いで中華人民共和国、台湾の順となった。

表 59 今後、海外バイヤーと商談をしたいと考えている国（地域）（上位5位）

順位	国名	回答者数	順位	国名	回答者数
1	アメリカ合衆国	257者	6	英国	89者
2	中華人民共和国	248者	7	香港	88者
3	台湾	156者	8	ベトナム	84者
4	フランス	114者	9	オーストラリア	62者
5	シンガポール	90者	10	インド	49者

n=891
(3か国まで回答可)

(5) 各機関の輸出関連情報（HP等）の活用（閲覧）状況等

各機関の輸出関連情報の利用状況等について集計したものが図 37 及び図 38 である。閲覧したことがあるとの回答が最も多いのは、日本貿易振興機構となった。

図 37 各機関の輸出関連情報（HP等）の閲覧者数

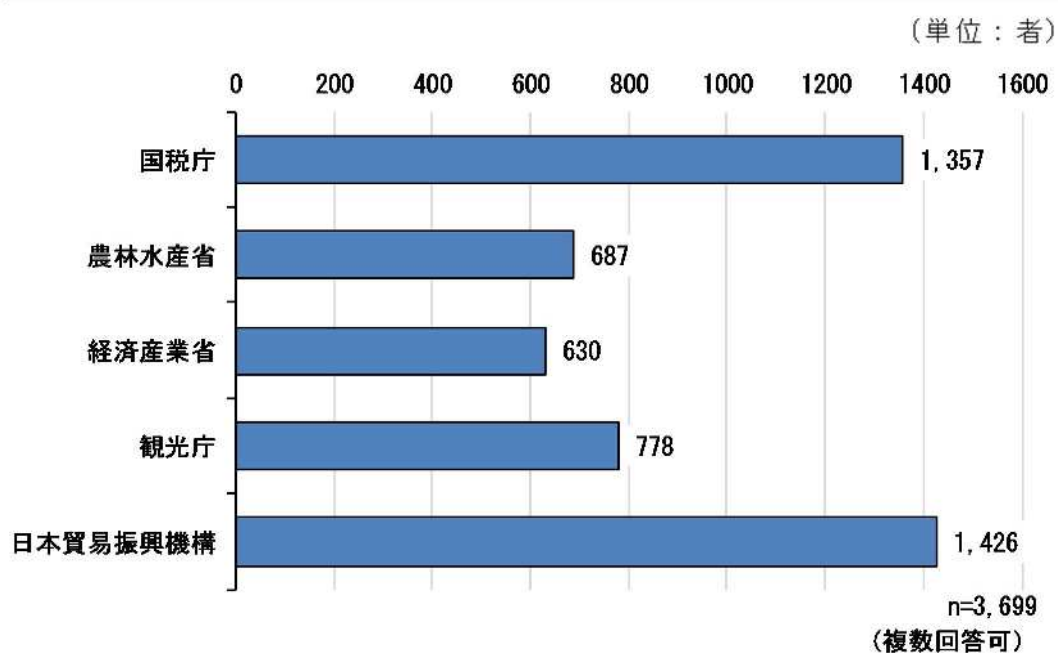
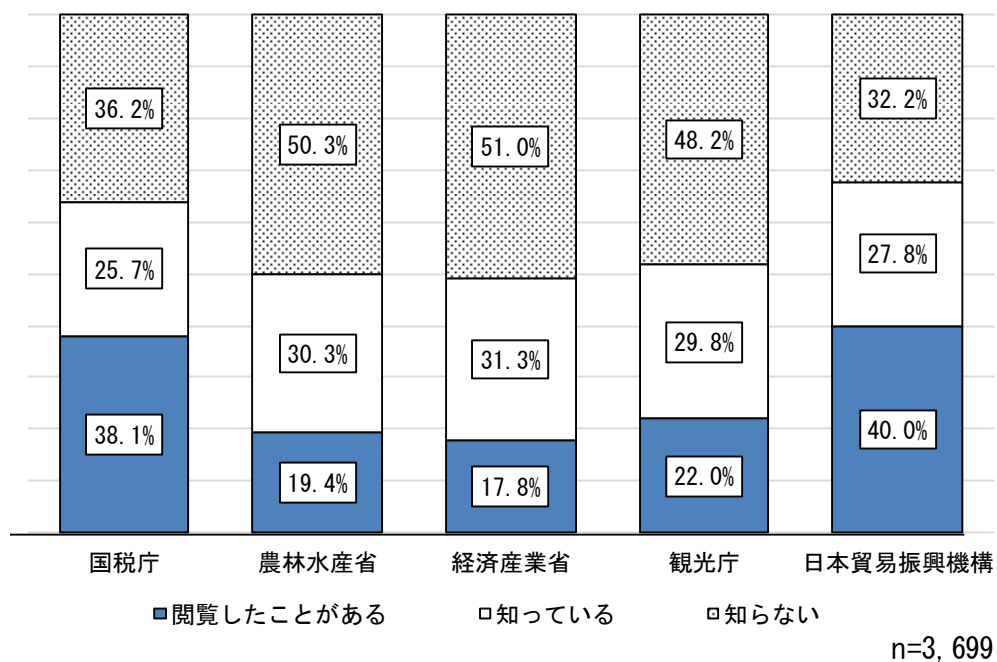


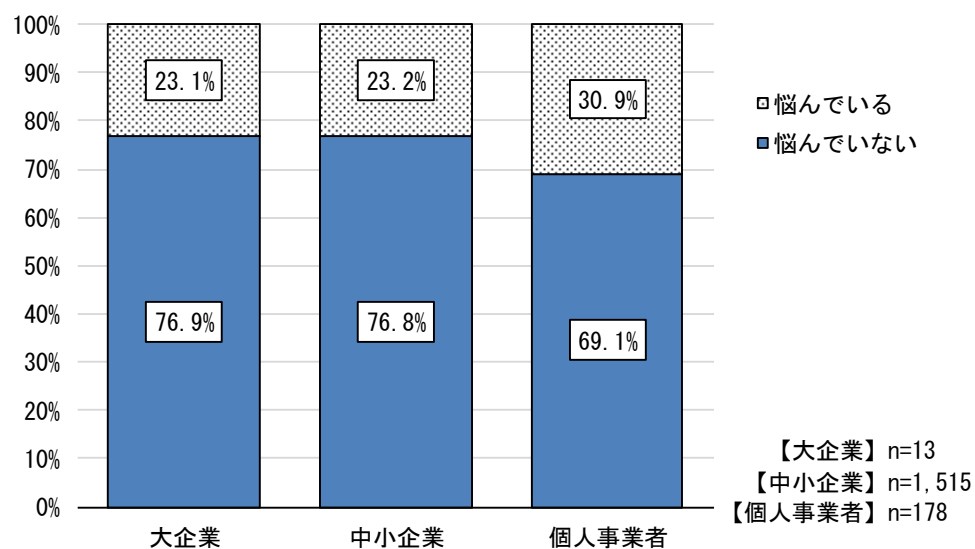
図 38 各機関の輸出関連情報（HP等）の認知状況



2 酒類製造者に対するアンケート調査結果

令和2年酒類業実態調査の調査対象者のうち、酒類製造者等に対して後継者に関する悩みについてアンケート調査を行い、その結果を集計したものが図39である。個人事業者について、後継者について悩んでいると回答した割合が他の企業区分よりもやや高い結果となった。

図39 企業区分別の後継者問題で悩んでいる者の割合



付録 令和2年酒類業実態調査表

令和2年調査
酒類実態調査表B

調査対象期間
事業年度（個人は令和元年分）

氏名又は名称	調査対象期間
	自 年 月 日
	至 年 月 日

1 令和2年1月1日の直前に終了した事業年度（個人は令和元年分）における確定した決算の額を記入してください。

令和2年1月1日の直前に終了した事業年度（個人は令和元年分）における確定した決算の額	内 酒 類 事 業										卸 売					小 売				
	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126		
売上高（千円）																				
売上原価（千円）																				
販売費及び一般管理費（千円）																				
税引前当期純利益（千円）																				
受取りレポート（千円）																				
支払レポート（千円）																				
資本金（千円）																				

(注) 同一の者が酒類製造者等と卸売業者の双方に該当する場合は、122～125以外は、1者としての回答を酒類製造業者等の調査表に記入してください。

122～125は酒類製造者等と卸売業者としての取引を区分していただき、それぞれの調査表に記入してください。

2 従業員数を原則年平均で記入してください。年間を通じて大きい変動がない場合（季節雇用の従業員がいないなど）は、事業年度末（個人は、令和元年末）の人数を記入していただいても構いません。

従業員数	年 平 均																	
	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136								

令和2年調査
酒類実態調査表C

調査対象期間
暦年（平成31年1月1日から令和元年12月31日） ※ 調査表Aを暦年以外で記入した場合は、調査表Aの右上に記入した調査対象期間

氏名又は名称

「清酒」について、取引ごとに別紙4「輸出取引のパターン分け」を参照し、輸出取引となっている取引について調査対象期間の合計を記入してください。

○ 清酒（特定名称酒）

○ 清酒（特定名称酒を除く）

地理圏	国番号	国・地域名	129	輸出数量 (リットル)	130	輸出金額 (千円)	
アジア	103	大韓民国					
	105	中華人民共和国					
	106	台湾					
	108	香港					
	110	ベトナム					
	111	タイ					
	112	シンガポール					
	113	マレーシア					
	117	フィリピン					
	129	マカオ					
		その他					
		不明					
西欧	205	英国					
	207	オランダ					
	210	フランス					
	213	ドイツ					
	220	イタリア					
			その他				
		不明					
中東欧・ロシア等	224	ロシア					
		その他					
北米	302	カナダ					
	304	アメリカ合衆国					
		その他					
		不明					
中南米	305	メキシコ					
	407	ペルー					
	409	チリ					
	410	ブラジル					
		その他					
		不明					
大洋州	601	オーストラリア					
	606	ニュージーランド					
		その他					
		不明					
中 東							
ア フ リ カ							
合 計							

地理圏	国番号	国・地域名	131	輸出数量 (リットル)	132	輸出金額 (千円)	
アジア	103	大韓民国					
	105	中華人民共和国					
	106	台湾					
	108	香港					
	110	ベトナム					
	111	タイ					
	112	シンガポール					
	113	マレーシア					
	117	フィリピン					
	129	マカオ					
		その他					
		不明					
西欧	205	英国					
	207	オランダ					
	210	フランス					
	213	ドイツ					
	220	イタリア					
			その他				
		不明					
中東欧・ロシア等	224	ロシア					
		その他					
北米	302	カナダ					
	304	アメリカ合衆国					
		その他					
		不明					
中南米	305	メキシコ					
	407	ペルー					
	409	チリ					
	410	ブラジル					
		その他					
		不明					
大洋州	601	オーストラリア					
	606	ニュージーランド					
		その他					
		不明					
中 東							
ア フ リ カ							
合 計							

令和2年調査
酒類実態調査表D

調査対象期間
 暦年（平成31年1月1日から令和元年12月31日）
 ※ 調査表Aを暦年以外で記入した場合は、調査表Aの右上に記入した調査対象期間

氏名又は名称

「単式蒸留焼酎」又は「ビール・発泡酒」について、取引ごとに別紙4「輸出取引のパターン分け」を参照し、輸出取引となっている取引について調査対象期間の合計を記入してください。

○ 単式蒸留焼酎

地理圏	国番号	国・地域名	133	輸出数量 (リットル)	134	輸出金額 (千円)
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他				
		不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
			その他			
		不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他				
		不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ペルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
		その他				
		不明				
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
		その他				
		不明				
中東						
アフリカ						
合計						

○ ビール・発泡酒

地理圏	国番号	国・地域名	135	輸出数量 (リットル)	136	輸出金額 (千円)
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他				
		不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
			その他			
		不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他				
		不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ペルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
		その他				
		不明				
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
		その他				
		不明				
中東						
アフリカ						
合計						

令和2年調査
酒類実態調査表E

調査対象期間
 暦年（平成31年1月1日から令和元年12月31日）
 ※ 調査表Aを暦年以外で記入した場合は、調査表Aの右上に記入した調査対象期間

氏名又は名称

「ウイスキー」又は「日本ワイン」について、取引ごとに別紙4「輸出取引のパターン分け」を参照し、輸出取引となっている取引について調査対象期間の合計を記入してください。

○ ウイスキー

地理圏	国番号	国・地域名	137	輸出数量 (リットル)	138	輸出金額 (千円)
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他				
		不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
			その他			
		不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他				
		不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ペルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
		その他				
		不明				
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
		その他				
		不明				
中東						
アフリカ						
合計						

○ 日本ワイン

地理圏	国番号	国・地域名	139	輸出数量 (リットル)	140	輸出金額 (千円)
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他				
		不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
			その他			
		不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他				
		不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ペルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
		その他				
		不明				
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
		その他				
		不明				
中東						
アフリカ						
合計						

令和2年調査
酒類業実態調査表 F

調査対象期間
暦年（平成31年1月1日から令和元年12月31日）
 ※ 調査表Aを暦年以外で記入した場合は、調査表Aの右上に記入した調査対象期間

氏名又は名称

「スピリッツ」又は「リキュール」について、取引ごとに別紙4「輸取引のパターン分け」を参照し、輸取引となっている取引について調査対象期間の合計を記入してください。
 ○ スピリッツ（RTD商品を除く） ○ リキュール（新ジャンル及びRTD商品を除く）

地理圏	国番号	国・地域名	141	輸出数量 (リットル)	142	輸出金額 (千円)	
アジア	103	大韓民国					
	105	中華人民共和国					
	106	台湾					
	108	香港					
	110	ベトナム					
	111	タイ					
	112	シンガポール					
	113	マレーシア					
	117	フィリピン					
	129	マカオ					
			その他				
		不明					
西欧	205	英国					
	207	オランダ					
	210	フランス					
	213	ドイツ					
	220	イタリア					
			その他				
		不明					
中東欧・ロシア等	224	ロシア					
		その他					
北米	302	カナダ					
	304	アメリカ合衆国					
		その他					
		不明					
中南米	305	メキシコ					
	407	ペルー					
	409	チリ					
	410	ブラジル					
			その他				
			不明				
大洋州	601	オーストラリア					
	606	ニュージーランド					
		その他					
		不明					
中東							
アフリカ							
合計							

地理圏	国番号	国・地域名	143	輸出数量 (リットル)	144	輸出金額 (千円)	
アジア	103	大韓民国					
	105	中華人民共和国					
	106	台湾					
	108	香港					
	110	ベトナム					
	111	タイ					
	112	シンガポール					
	113	マレーシア					
	117	フィリピン					
	129	マカオ					
			その他				
		不明					
西欧	205	英国					
	207	オランダ					
	210	フランス					
	213	ドイツ					
	220	イタリア					
			その他				
		不明					
中東欧・ロシア等	224	ロシア					
		その他					
北米	302	カナダ					
	304	アメリカ合衆国					
		その他					
		不明					
中南米	305	メキシコ					
	407	ペルー					
	409	チリ					
	410	ブラジル					
			その他				
			不明				
大洋州	601	オーストラリア					
	606	ニュージーランド					
		その他					
		不明					
中東							
アフリカ							
合計							

令和2年調査
酒類業実態調査表 G①

調査対象期間
暦年（平成31年1月1日から令和元年12月31日）

氏名又は名称

個別項目（清酒）

1 清酒の海外生産をしている方（現地法人によるものを含む。）はこちらも記入してください。

201	生産国	202	生産者（現地法人）	203	主な銘柄	204	売上数量 (リットル)	205	売上金額 (日本円の場合は千円単位)	206	207	生産国からの輸出	
										現地通貨	桁	208	209
												日本への輸出の有無	日本以外の輸出先国

2 清酒製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

210	1 代表者親族 2 杜氏制 3 社員杜氏
-----	----------------------

令和2年調査
酒類業実態調査表G②

調査対象期間
事業年度 (個人は令和元年分)

氏名又は名称	調査対象期間
	自 年 月 日
	至 年 月 日

個別項目 (清酒)

3 清酒製造業に係る以下の項目を記入してください。

損益計算書 (千円)				清酒の生産費等製造原価 (千円)				清酒製造業の従業員数 (人)					
課税売上高	211							製造部門	223				
未納税売上高	212							詰口部門	224				
その他	213							その他	225				
計	214							計	226				
課税売上原価	215												
未納税売上原価	216												
その他	217												
計	218												
販売費及び一般管理費	219												

4 課税移出数量の地域別内訳を記入してください。

区分	実数量 (リットル)
自 県 分	227
自県以外の自局分	228
他 局 分	229
合 計	230

5 自社間の移出入を除く未納税移出入数量及び取引先数について記入してください。

区分	実数量 (リットル)	取引先数 (者)
未納税移出	231	233
未納税移入	232	234

令和2年調査
酒類業実態調査表H①

調査対象期間
暦年 (平成31年1月1日から令和元年12月31日)

氏名又は名称

個別項目 (単式蒸留焼酎)

1 原材料別に記入してください。

原材料別	301 製成数量 (リットル) (25度換算)	302 売上数量 (リットル) (国内取引)	303 売上金額 (千円) (国内取引) (税抜)	304 輸出处数 (リットル)	305 輸出处金額 (千円)
芋 焼 酎					
米 焼 酎					
麦 焼 酎					
そば 焼 酎					
黒糖 焼 酎					
かす取り 焼 酎					
泡 盛					
その他の単式蒸留焼酎					
焼酎乙類甲類混和					
合 計					

2 単式蒸留焼酎製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

306	1 代表者親族 2 杜氏制 3 社員杜氏
-----	----------------------

令和2年調査
酒類業実態調査表H②

調査対象期間
事業年度 (個人は令和元年分)

氏 名 又 は 名 称	調 査 対 象 期 間
	自 年 月 日
	至 年 月 日

個別項目（単式蒸留焼酎）

3 単式蒸留焼酎製造業に係る以下の項目を記入してください。

損 益 計 算 書 (千円)				単式蒸留焼酎の生産費等製造原価 (千円)				単式蒸留焼酎製造業の (人)			
課税売上高	307			原材料代(諸掛含む)	316			製造部門	320		
未納税売上高	308			その他	317			詰口部門	321		
その他	309			焼酎粕の処理費				その他	322		
計	310			総額(千円)	318			計	323		
課税売上原価	311			トン当たりの処理単価(円)							
未納税売上原価	312										
その他	313										
計	314										
販売費及び一般管理費	315										

4 自社の移出入を除く未納税移入数量及び取引先数について記入してください。

区 分	数 量 (25度換算) (リットル)	取 引 先 数 (者)
未納税移出	324	326
未納税移入	325	327

5 自社の移出入を除く未納税移入の状況を製造場ごとに原材料別の数量を上位5場について記入してください。

328	移 出 先 製 造 場 名	329	原 材 料 別	330	未 納 税 移 出 数 量 (リットル) (25度換算)	331	単 価 (円)	332	移 入 元 製 造 場 名	333	原 材 料 別	334	未 納 税 移 入 数 量 (リットル) (25度換算)	335	単 価 (円)

令和2年調査
酒類業実態調査表I

調査対象期間
暦年(平成31年1月1日から令和元年12月31日)

氏 名 又 は 名 称

個別項目（ビール）

ビールの海外生産をしている方（現地法人によるものを含む。）はこちらも記入してください。

401	生 産 国	402	生 産 者 (現地法人)	403	主 な 銘 柄	404	売 上 数 量 (リットル)	405	売 上 金 額 (日本円の場合は千円単位)	406 407 生 産 国 からの 輸 出		
										現 地 通 貨	408 日 本 へ の 輸 出 の 有 無	409 日 本 以 外 の 輸 出 先 国

令和2年調査
酒類業実態調査表J

調査対象期間
事業年度（個人は令和元年分）

氏名又は名称	調査対象期間
	自 年 月 日 至 年 月 日

個別項目（果実酒）

日本ワイン以外とは、ぶどう（濃縮果汁含む）を原料（ぶどう以外の果実を用いたものを含む）とした果実酒で日本ワイン以外のものであって、果実酒のうち、その他（ぶどう以外の果実のみを用いたもの、例えば、りんごを100%使用したシードル）に分類されるものを含みません。

1 日本ワイン及び日本ワイン以外のものに係る、令和2年1月1日の直前に終了した事業年度（個人は令和元年分）における確定した決算の額を記入してください。

売上原価	501	千円
内 原料費	502	千円
販売費及び一般管理費	503	千円

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のもの販売数量について容量別に記入してください（調査対象期間は上記1と同様です）。

容量別	販売数量	(リットル)
375ml	504	
720ml	505	
750ml	506	
1.8L	507	
その他	508	

令和2年調査
酒類業実態調査表K

調査対象期間
平成31年4月1日から 令和2年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

1 外国産ワインの輸入数量

原料用	(リットル)	販売用	(リットル)
		(そのまま販売容器に充填して移出するために輸入したワイン)	
509		510	

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のもの課税移出数量及び未納税移出数量

区分	数量 (リットル)		
	合計		内 日本ワイン
課税移出数量	511		512
未納税移出数量	513		514

令和2年調査
酒類業実態調査表L

調査対象期間
平成31年4月1日から 令和2年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

日本ワイン及び日本ワイン以外のもの自社製造状況

※ この表には、平成31年4月1日から令和2年3月31日の間、①自社において生ぶどう等を発酵させて最初に製成した日本ワインの数量及び②自社において原料を発酵させて最初に製成した日本ワイン以外のものの数量を記入してください。

区分	① 日本ワイン									② 日本ワイン以外のもの								
	数量									数量								
	赤ワイン	白ワイン	スパークリングワイン	その他ワイン (ロゼワインを含む)	合計				合計									
製成数量	515 (リットル)	516 (リットル)	517 (リットル)	518 (リットル)	519 (リットル)	(リットル)				524 (リットル)								
国産 用	生ぶどう	/							520 (キログラム)	525 (キログラム)								
	ぶどう果汁								521 (リットル)	526 (リットル)								
	その他								522 (キログラム)	527 (キログラム)								
	糖度20度換算								523 (キログラム)	528 (キログラム)								
原輸 料入	濃縮果汁								/									529 (リットル)
	糖度20度換算																	530 (キログラム)
	生ぶどう																	531 (キログラム)
	その他																	532 (キログラム)
糖度20度換算	533 (キログラム)																	

令和2年調査
酒類業実態調査表M

調査対象期間
平成31年4月1日から 令和2年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

① 自営農園による国産ぶどうの受入状況等

品 種 名 (番号を記入した場合は品種名の記入は不要です)	ぶどうの産地 都道府県名	圃 栽 培	
		収 穫 量 (キログラム)	収 穫 量 (キログラム)
番号			
計		534	535

② 契約栽培による国産ぶどうの受入状況等

品 種 名 (番号を記入した場合は品種名の記入は不要です)	ぶどうの産地 都道府県名	圃 栽 培	
		収 穫 量 (キログラム)	収 穫 量 (キログラム)
番号			
計		536	537

酒類の製造に関するアンケート表Q

氏名又は名称

○ 酒類を製造している方にお尋ねします。

Q 1 「酒類における有機の表示基準」(平成12年12月26日国税庁告示第7号)に基づき「有機」又は「オーガニック」の表示をする酒類の数量を記入してください。(対象期間は暦年です)。

品目	有機		無機		状況	
	数量	税免	数量	課税	移出	数量
清酒						
合成清酒						
連続式蒸留焼酎						
単式蒸留焼酎						
みりん						
ビール						
果実酒						
甘味果実酒						
ウイスキー						
ブランデー						
原料用アルコール						
発泡酒						
その他の醸造酒						
スピリッツ						
リキュール						
粉末酒						
雑酒						
合計						

Q 2 事業の後継者に関するお悩みはありますか。

- 1:悩んでいる 2:悩んでいない

--

Q 3 酒類行政に関する御意見等があれば記入してください。

--

輸出に関するアンケート表P

氏名又は名称

※ 同一の者が酒類製造業者等と卸売業者の双方に該当する場合は、1者としての回答を酒類製造業者等のアンケート表に記入してください。

○ 現在、輸出を行っている方(卸売業者等を通じて輸出を行っている方も含みます。)にお尋ねします。

Q 8 貴社(あなた)が輸出に取り組む上で、相手国の法制度上、最も障害になったこと(なっていること)は何ですか。相手国を別紙7「国一覧」から選んで国番号及び国・地域名を記入した上、最大3か国について下記の番号を記入してください。

- 1:関税 2:証明書等の書類の提出 3:その国の内国税 4:輸出手続の煩雑性 5:通関検疫 6:その他(具体的な内容を記入)

国番号	国・地域名	番号

Q 9 貴社(あなた)が輸出に取り組む上で、Q 8以外で最も障害になったこと(なっていること)は何ですか。

- 1:海外担当の人材確保・育成 2:販路開拓 3:代理店・パートナー探し 4:代金の回収 5:物流の心配 6:海外市場の情報不足 7:海外営業のための経費負担 8:ラベル等商品表示 9:現地での品質管理 10:価格設定 11:輸出費用(送料、コンテナ費用等) 12:輸出時の品質管理 13:その他(具体的な内容を記入)

--

13:その他を選択した場合、下記に具体的な内容を記入してください

--

Q 10 輸出の取引形態について、別紙4「輸出取引のパターン分け」のパターン1～パターン4のうち、主な取引形態を選択してください。

- 1:パターン1 2:パターン2 3:パターン3 4:パターン4

--

Q 11 今後、どの国の海外バイヤーと商談をしたいと考えていますか。別紙7「国一覧」から最大3か国選んで国番号及び国・地域名を記入してください。

また、その国・地域と商談したい理由も記入してください。

国番号	国・地域名	理由

Q 12 輸出先国での主な販売先を教えてください。

- 1:飲食店 2:百貨店等の大型店 3:スーパー・コンビニ等の小売店 4:流通業者に一任しているため、販売先不明 5:その他(具体的な内容を記入) 6:その他(具体的な内容を記入)

番号	内容

Q 13 輸出するにあたって、次の1～5において、注意している点、又は工夫している点があれば記入してください。注意している点、又は工夫している点

番号	内容
1	商品企画(ラベル等)
2	商談(プレゼンテーション)
3	商品の発送
4	輸出手続
5	ホームページ